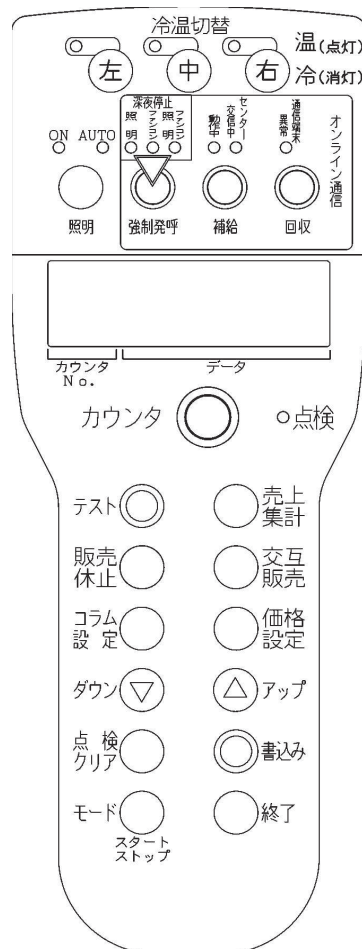


富士電機缶・パック併売自動販売機

パックVTS－P6A

2021年度仕様



はじめに

このたびは弊社自動販売機をお買い上げいただきありがとうございました。

お求めの自動販売機を正しく使っていただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。

なお、お読みになったあとは、必ず保管してください。

自動販売機の正しい製品知識と取扱により、末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。

本機の概要と特長

設定項目及び標準データ、コラムNo.は各機種間で多少異なります。詳細な内容につきましては、
各機種の技術マニュアルをご覧ください。

技術マニュアルの見方(専用キー)

本書ではリモコン操作方法を各機能ごとに手順を追って解説しています。
操作説明の文中には、わかりやすいようにリモコンのボタンを図示しています。

各機能の名称です。

専用キーの機能を表しています。

2 専用キーの操作のしかた

ここでは、テストキー、売上集計キーや価格キーなど専用キーによる設定・確認やクリアのしかたについて説明しています。

単品テスト販売

メインドアの選択ボタンを押して、商品が1個ずつ正しく販売されるかをテストします。

1 **テスト** を押す。

全コラムの販売可能ランプが点灯します。

デジタル表示 リモコン液晶表示

2 **選択ボタン** を押す。

押したボタンの販売可能ランプが点灯し、該当コラムの商品を1個販売します。販売が終了するまで他の販売可能ランプは消灯します。

3 **アップ** (**ダウン**) を押す。

コラム番号を指定します。押し続けると速く変わります。(例 CL8:J548)

4 **モード** (**スタート** / **ストップ**) を押す。

現在表示中のコラムの商品を1個販売します。別のコラムの単品テストをするときは手順3に戻ってください。

5 **終了** を押す。

待機状態に戻ります。

機能の概略を説明しています。

操作中のデジタル表示部の表示内容です。

操作中の液晶表示部の表示内容です。

補足

- 選択ボタンを押してコラム指定を行うときは、手順3、4は不要です。
- 【アップ(ダウン)】キーでコラムを指定するときは、手順2は不要です。
- 手順3で【アップ(ダウン)】キーを押してコラムを指定すると、手順2の選択ボタンによる販売はできません。
- 手順3で【アップ(ダウン)】キーを押す毎にコラム番号を昇順(降順)に表示します。最後のコラムまで表示すると最初のコラムに戻ります。

2-1

各項目に対する補足項目です。

補足 . . . この表示は、操作及び機能設定をする上で知っておくと便利な事項や、操作のアドバイスを表記してあります。

[!] . . . この表示は、操作及び機能設定をする上で重要な事項を表記してあります。操作をする前に必ず確認してください。

技術マニュアルの見方(モードキー)

4 モードキー操作(選択モード)

ここでは、選択モードについて操作の説明をします。

コラム－セレクション配線パターン切換の設定・確認

コラム－セレクション配線とは、選択ボタンを押すとどのコラムが動作するかボタンとコラムの関連付けを言います。あらかじめコラム－セレクションの配線をパターンとして設定し、一括で変更します。パターンは最大4種類設定できます。

- | | モード
スタート
ストップ | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|---|--|--------|----------|
| 1 | モードスタートストップを押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 | 0-01 | 0-01 |
| 2 | アップ(ダウン)を押す。
モード番号を1にします。押し続けると速く変わります。 | 1-01 | 1-01 |
| 3 | 書込みを押す。
手順2で選択したモード番号1を確認します。
項目番号入力待ちの状態になります。 | 1-01 | 1-01 |
| 4 | 書込みを押す。
コラム－セレクション配線パターン切換の設定項目になり、現在設定されているパターン番号を表示します。 | 1 | 1 |
| 5 | アップ(ダウン)を押す。
パターン番号を変更します。 | 2 | 2 |
| 6 | 書込みを押す。
パターン番号を確認します。 | 2 | 2 |
| 7 | 終了を押す。
待機状態に戻ります。 | 123456 | 123456 |

補足

- コラム－セレクション配線は「パターン1」「パターン2」「パターン3」「パターン4」「出荷時パターン」の5つのパターンがあり、通常はパターン1、2、3、4を季節毎に切り換える等してお使いください。
- パターン切換で、「出荷時パターン」に切り換える時だけは、暗証番号が必要になります。
- 設定範囲
1：パターン1(夏) 3：パターン3(春) 99：出荷時パターン(暗証番号設定)
2：パターン2(冬) 4：パターン4(秋)

モード機能の項目番号
を表しています。

点滅を表しています。

操作に使うボタンを
表しています。

も く じ

設定したい項目に対するもくじ(索引まとめ)	0 - 1
設定したい項目に対するもくじ(索引)	0 - 3

1. 操作の前に

リモコン各部の名称とはたらき	1 - 1
基本的な操作のしかた	1 - 2
専用キーの機能項目とデータ範囲	1 - 5
モードキーの機能項目とデータ範囲	1 - 9
カウンタ値の確認のしかた	1 - 22

2. 専用キーの操作のしかた

単品テスト販売	2 - 1
コインテスト販売	2 - 2
連続テスト販売（選択ボタンを押してコラムを指定する場合）	2 - 3
連続テスト販売（リモコンを操作してコラムを指定する場合）	2 - 4
高速連続テスト販売（選択ボタンを押してコラムを指定する場合）	2 - 5
高速連続テスト販売（リモコンを操作してコラムを指定する場合）	2 - 6
順送りテスト販売	2 - 7
単品チェックテスト販売	2 - 8
販売復帰テスト販売	2 - 9
トータル売上個数、コラム別売上個数の確認・クリア（コラム別売上操作不可のとき）	2 - 10
トータル売上個数、コラム別売上個数の確認・クリア（コラム別売上操作可能のとき）	2 - 11
トータル売上金額、コラム別売上金額の確認・クリア（コラム別売上操作不可のとき）	2 - 12
トータル売上金額、コラム別売上金額の確認・クリア（コラム別売上操作可能のとき）	2 - 13
グループ別売上個数の確認・クリア	2 - 14
グループ別売上金額の確認・クリア	2 - 15
価格別売上個数の確認・クリア	2 - 16
価格別売上金額の確認・クリア	2 - 17
テスト販売個数の確認・クリア	2 - 18
ルーレット当たり個数の確認・クリア	2 - 19
ルーレット当たり金額の確認・クリア	2 - 19
割引合計個数の確認・クリア	2 - 20
割引合計金額の確認・クリア	2 - 20
累計売上個数の確認	2 - 21
現金累計売上個数の確認	2 - 21
現金以外累計売上個数の確認	2 - 21
累計売上金額の確認	2 - 22
現金累計売上金額の確認	2 - 22
現金以外累計売上金額の確認	2 - 22
累計売上のオールクリア	2 - 23
フリーベンド合計個数・コラム別個数の確認・クリア（コラム別売上操作不可のとき）	2 - 24
フリーベンド合計個数・コラム別個数の確認・クリア（コラム別売上操作可能のとき）	2 - 25
フリーベンド合計金額・コラム別金額の確認・クリア（コラム別売上操作不可のとき）	2 - 26
フリーベンド合計金額・コラム別金額の確認・クリア（コラム別売上操作可能のとき）	2 - 27
カード(期間)売上個数の確認・クリア	2 - 28
カード(期間)売上金額の確認・クリア	2 - 29
カード(累計)売上個数の確認・クリア	2 - 30
カード(累計)売上金額の確認・クリア	2 - 31
販売休止時間A／コラムの設定・確認	2 - 32
全コラム販売休止モードの設定・確認	2 - 33
販売休止時間B／コラムの設定・確認	2 - 34
販売休止時間C／コラムの設定・確認	2 - 35
ヘルスコード有効コラムの設定・確認	2 - 36
交互販売コラムの設定・確認	2 - 37
コラム－セレクション配線の設定・確認	2 - 38

も く じ

2. 専用キーの操作のしかた(つづき)

コラムーセレクション配線の出荷時設定戻し	2 - 39
品質保持期限の設定・確認	2 - 40
販売個数(直積ラック)の設定・確認	2 - 41
現金価格の設定・確認	2 - 42
カード価格の設定・確認	2 - 43
プライス別カウンタの設定・確認	2 - 44
カード 1 ～ 8 価格設定	2 - 45
現在故障の確認	2 - 46
ヘルスコード動作日時の確認	2 - 47
異常データの確認	2 - 48
異常データの印字操作	2 - 49
販売異常発生時の返金履歴の確認	2 - 50
販売異常発生時の返金履歴のクリア	2 - 52
販売異常発生時の返金履歴の印字操作	2 - 53

3. モードキー操作(統一モード)

売行き判断キャンセル操作	3 - 1
加温期間日数の設定・確認／手動リセット操作	3 - 2
売行き不調時充てん数の設定・確認	3 - 3
サービスモードの設定・確認	3 - 4

4. モードキー操作(選択モード)

コラムーセレクション配線パターン切換の設定・確認	4 - 1
コラムーセレクション配線パターン切換の設定・確認 (出荷時パターンに切換える場合)	4 - 2
グループ集計コラムの設定・確認	4 - 3
つづけ買い個数の設定・確認	4 - 5
交互販売コラムの設定・確認	4 - 6
満杯収容数の設定・確認	4 - 8
外部表示の設定・確認	4 - 9
割引対象個数／コラムの設定・確認	4 - 11
割引金額の設定・確認	4 - 13
自動返金時間の設定・確認	4 - 14
フリーベンドの設定	4 - 15
過去故障の確認・クリア	4 - 16
補給数リセット操作	4 - 17
加温可能日数の設定・確認	4 - 18
扉開閉日時の確認	4 - 19
販売履歴の確認・クリア	4 - 20
売行き判断キャンセル操作	4 - 23
加温期間日数の設定・確認／手動リセット操作	4 - 24
売行き不調時充てん数の設定・確認	4 - 25
サービスモードの設定・確認	4 - 26
ポイント合計数の確認・クリア	4 - 27
ポイントカード発行枚数の確認・クリア	4 - 28
ポイントクリア操作	4 - 29
消音モードの設定・確認	4 - 30
出荷時データへのプリセット操作	4 - 31
デジタル表示器のスクリーンセーバの設定・確認	4 - 32
売切ランプ点灯原因の確認	4 - 33
販売可能ランプ消灯原因の確認	4 - 35
冷温切替ガイダンス表示の設定・確認	4 - 37
照明年間カレンダーの設定・確認	4 - 38

も く じ

4. モードキー操作(選択モード)(つづき)

売行き確認モニタ機能の設定・確認	4-39
コラム別フリーベンドの設定・確認	4-41
照打消灯原因確認	4-42
らくらく賞味期限 管理本数の設定・確認	4-44
らくらく賞味期限 賞味期限期間の設定・確認	4-45
らくらく賞味期限 販売停止動作の設定・確認	4-46
らくらく賞味期限 設定方法補足	4-47
マスタ5V電源出力リセット有無の設定・確認	4-48
リモコン操作規制の設定・確認	4-49
エコモード表示の設定・確認	4-51
10円釣切れランプ点灯・消灯の設定・確認	4-52
選択ボタン調光率の設定・確認	4-53
照明調光率の設定・確認	4-54
温度表示有無の設定・確認	4-55
らくらく賞味期限 動作設定する／しない設定・確認	4-56
らくらく賞味期限 賞味期限動作の確認	4-57
らくらく賞味期限 販売本数表示の確認	4-59
選択ボタン7セグ調光率の設定・確認	4-61
選択ボタン冷温ピクト表示の設定・確認	4-62
価格自動表示の消灯設定・確認(4桁価格対応)	4-63
オールクリア操作	4-64

5. モードキー操作(タイマモード)

スクールタイマ時間帯／コラムの設定・確認	5-1
スクールタイマ曜日別パターンの設定・確認	5-4
照明節電時間帯の設定・確認	5-5
現在時刻の設定・確認	5-7
現在月日の設定・確認	5-8
現在年の設定・確認	5-9
庫内ファンコントロールの設定・確認	5-10
照打消灯条件の設定・確認	5-11
ビルバリデータ禁止時間帯の設定・確認	5-12
照打消灯曜日の設定・確認	5-14
割引時間帯の設定・確認	5-15
インベントリ禁止時間帯の設定・確認	5-17
調光時間帯の設定・確認	5-19
選択ボタンイルミネーション動作時間帯の設定・確認	5-20
照明年間カレンダー基準月の確認	5-21
販売期限タイマの設定・確認	5-22
らくらく賞味期限 賞味期限間近表示日数の設定・確認	5-24
らくらく賞味期限 販売期間日数の設定・確認	5-25
マスタ5V電源出力リセット時刻の設定・確認	5-26
人感センサON確定保持時間の設定・確認	5-27
連続テスト制限	5-28
予約価格の設定・確認	5-29
夜間扉開時ブザー制御時間帯の設定・確認	5-32
夜間扉開時ブザー継続時間の設定・確認	5-34

6. モードキー操作(機種固有設定モード)

2本売り防止スイッチ指定コラムの設定・確認	6-1
取出口表示ランプNo指定コラムの設定・確認	6-2
売切後1本販売の設定・確認	6-3
オプションカウンタ仕様の設定・確認	6-4

も く じ

6. モードキー操作(機種固有設定モード)(つづき)

庫内温度レベルの設定・確認	6-5
加温管理機能動作モードの設定・確認	6-7
選択ボタンイルミネーション番号の設定・確認	6-8
偽造コイン対応の設定・確認	6-9
構造モードの設定・確認	6-10
出荷時データのセット操作	6-11
売上データクリア操作切換モードの設定・確認	6-12
通信速度の設定・確認	6-13
複数コラム割付の設定・確認	6-14
2コラム可能設定(1Lペット対応)の設定・確認	6-16
室外ファン逆転制御の設定・確認	6-18
選択ボタンイルミネーション表示速度の設定・確認	6-19
照明自動点滅器感度/ブザー音量の設定・確認	6-20
選択ボタン連動の設定	6-22
寒冷地仕様の設定・確認	6-23
補助ボタン開始No.の設定・確認	6-24
トータル/コラム別キーカウンタ売上個数の確認・クリア	6-25
グループ制御実行時間の設定・確認	6-27
扉開時の省エネ解除の設定・確認	6-28
冷却庫内ON/OFF温度の設定・確認	6-29
加温庫内ON/OFF温度の設定・確認	6-31
トークン別コラムの設定・確認	6-33
トークン別売上個数の確認・クリア	6-34
選択ボタンイルミネーション表示パターンの設定・確認	6-36
コイン投入時照明点灯の設定・確認	6-37
価格自動切替え表示の設定・確認	6-38
子機構造モード番号の設定・確認	6-39
デバイス・アピールユニットの設定・確認	6-40
価格自動切替えの顔文字表示の設定・確認	6-41
販売不可コラムの設定・確認	6-42
ダストボックス接続の設定・確認	6-44
人感センサの設定・確認	6-45
人感センサ感度の設定・確認	6-46
人感センサ離反動作の設定・確認	6-47
募金有効コラム数の設定・確認	6-49
冷温AP売切れ・準備中ランプ読み替えの設定・確認	6-50
イルミネーション不可ボタン数の設定・確認	6-51
連続テスト販売間隔の設定・確認	6-52
ディスプレイ接続の設定・確認	6-53
一件明細バックアップ機能の設定・確認	6-54
通信端末間の通信モードの設定・確認	6-56
端末認証鍵の設定・確認	6-57
VTSビルバリ紙幣挿入枚数の設定・確認	6-59

7. モードキー操作(釣銭合わせモード)

釣銭合わせの確認・払出し動作	7-1
釣銭合わせ枚数の設定・確認	7-3
釣銭合わせモードの設定・確認	7-5

も く じ

8. モードキー操作(ルーレットモード)

ルーレット当たり確率／コラムの設定・確認	8-1
選択ボタンルーレットの設定・確認	8-2
トータル／コラム別ルーレット当たり個数の確認・クリア	8-3
ルーレット動作対象コラムの設定・確認	8-5

9. モードキー操作(カードモード)

現金／カード同時投入可否の設定・確認	9-1
カード返却モードの設定・確認	9-2
ＩＤカード発行月の設定・確認	9-3
ＩＤカード発行年の設定・確認	9-4
テストＩＤカード有効Noの設定・確認	9-5
無効部署別ＩＤカードNoの設定・確認	9-7
選択ボタン先選択有効時間の設定・確認	9-9
モバイル決済履歴のプリンタ印字出力起動	9-10
現金グループ別売上個数の確認・クリア	9-11
現金以外グループ別売上個数の確認・クリア	9-13
現金グループ別売上金額の確認・クリア	9-15
現金以外グループ別売上金額の確認・クリア	9-17
現金価格別売上個数の確認・クリア	9-19
現金以外価格別売上個数の確認・クリア	9-21
現金価格別売上金額の確認・クリア	9-23
現金以外価格別売上金額の確認・クリア	9-25
現金投入時の先選択解除の設定・確認	9-27
モバイル再タッチ時間の設定・確認	9-28
カード別状態モニタ確認	9-29
カード別一時休止設定	9-30
マネーブランド登録削除	9-31
価格自動表示価格の設定・確認	9-32
先選択表示価格の設定・確認	9-33

10. モードキー操作(プリンタモード)

プリンタ印字切換えの設定・確認	10-1
機種番号の設定・確認	10-2
商品コードの設定・確認	10-4
トータル売上のクリア操作	10-6
コラム別売上のクリア操作	10-7
締め操作連動の設定・確認	10-8
カード別印字確認(コラム)	10-9
カード別印字確認(グループ)	10-10
カード別印字確認(価格)	10-11
プリンタボタン切換え選択の設定・確認	10-12
カード接続時の印字フォーマット切換え設定・確認	10-13

11. モードキー操作(サービスモード)

サービスモードの操作	11-1
コンプレッサ強制運転機能	11-3
コンデンサファン強制運転機能	11-5
庫内ファン強制運転機能	11-7
電磁弁強制運転機能	11-8
ヒータ強制運転機能	11-9
電子膨張弁強制運転機能	11-10

も く じ

12. モードキー操作(メンテナンスモード)(つづき)

コンプレッサ稼働時間の確認・クリア	12-1
庫内ファン稼働時間の確認・クリア	12-2
コインメカニズムの投入／排出枚数の確認・クリア	12-3
ビルバリデータの識別回数の確認・クリア	12-4
ベンドメカ動作回数の確認・クリア	12-5
故障発生日時の確認	12-7
オフライン通信履歴の確認	12-8
オフライン収集履歴の確認	12-10
取出口自動扉の故障発生日時の確認	12-12
取出口自動扉の強制運転	12-15
除霜制御の設定・確認	12-16
冷却交互運転の設定・確認	12-18
同期制御の設定・確認	12-20
同期待ちファン制御の設定・確認	12-23
通信端末間の状態確認	12-25
冷却加温自己診断の設定・確認	12-27
冷却加温自己診断の結果表示	12-30
冷却加温自己診断結果印字確認	12-33
電源ON回数の確認	12-34
電源ON累積時間の確認	12-35
ドア開閉回数の確認	12-36
総累計ベンドメカ動作回数の確認	12-37
常時冷温パワーモードの設定・確認	12-38

13. モードキー操作(加温モード)

投入本数(一括)の設定・確認	13-1
加温規定日数の設定・確認	13-2
投入本数(個別)の設定・確認	13-3
加温経過日数／本数表示の確認	13-5
投入可能本数／加温規定日数経過本数の確認・プリセット	13-7
販売停止モードの設定・確認	13-11
マルチラック棚交換テスト販売	13-12

14. モードキー操作(環境モード)

保温温度の設定・確認	14-1
保温制御の設定・確認	14-3
バッテリー動作開始時刻の設定・確認	14-4
バッテリー動作可能時間の設定・確認	14-5
バッテリー充電開始時刻の設定・確認	14-6
バッテリー動作回数・時間の確認・クリア	14-7
バッテリー動作履歴の確認	14-9
エコスリープ機能の設定・確認	14-11
バッテリー強制充電機能	14-13
E r 解除無操作時間の設定・確認	14-14
パワー運転モード設定・確認	14-15

15. ISS選択ボタン

I S S 選択ボタンの初期設定	15-1
I S S 選択ボタンの確認	15-2
I S S 選択ボタンの交換	15-3

も く じ

16. 売上データのカウント及びクリア条件

カウント条件	16－ 1
クリア条件	16－ 2

17. 故障コードとその内容

故障コード一覧表	17－ 1
----------------	-------

1

操作の前に

ここでは、リモコンを使う上で覚えていただきたい基本的な操作や知識について説明しています。

リモコン各部の名称とはたらき

このリモコンのキーには、1または複数の項目を操作する機能があります。
名称とはたらきは次の通りです。

冷温切替

庫内の冷却・加温の設定を切り替えます。

カウンタ

商品の販売本数やプライス毎の販売本数を確認するときに使用します。

テスト

各種テストを行うときに使用します。

販売休止

販売休止時間、コラム販売休止モードを設定・確認するときに使用します。

コラム設定

コラムセレクトの設定、確認および一括コピーするときに使用します。

ダウン

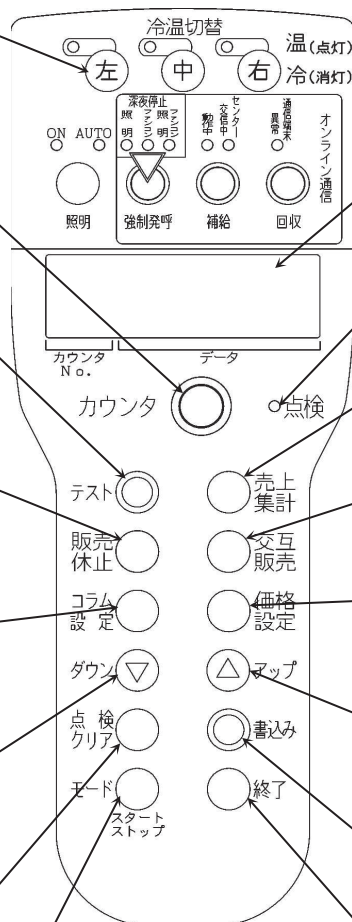
各種項目、モード、データなどを変更します。
1回押すごとにデータが減少

点検／クリア

①故障内容の確認
②各種データのクリア、コピーをするときに使用します。

モード スタート/ストップ

①専用キー以外の項目の設定や確認をするときに使用します。
②テスト販売の開始または停止をします。



液晶表示部

コラム／項2桁、データ6桁の全8桁で表示します。データ部は6桁の交互表示もできます。

点検

故障が発生すると点滅します。

売上集計

売上データを確認するときに使用します。

交互販売

交互販売コラムの設定、確認をするときに使用します。

価格設定

現金またはカードの価格設定や確認をするときに使用します。

アップ

各種項目、モード、データなどを変更します。
1回押すごとにデータが増加

書込み

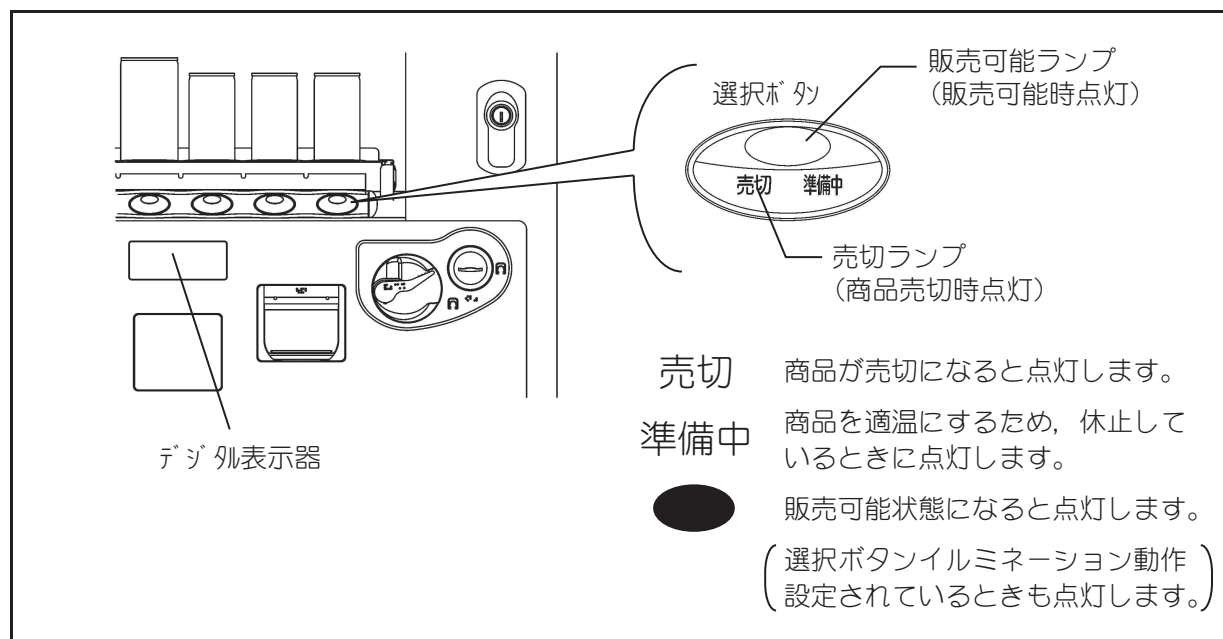
リモコンを操作して、デジタル表示器に表示させたデータを確定します。

終了

リモコン操作を終了し、販売待機状態に戻ります。

基本的な操作のしかた

キーを操作して自動販売機の機能設定、確認、販売テストや故障内容の確認を行います。
ここではキーの基本的な操作方法について説明します。操作の内容はリモコンの液晶表示部およびメインドアにあるデジタル表示器に表示されます。



[！] 本リモコンの搭載機種によってランプ類や表示等が異なる場合があります。

基本的な操作のしかた

(1) 機能の設定をする

※仕向けにより選択ボタンが異なります。

1 設定する機能項目を選択する(例:販売価格の設定)



設定の項目表示になるまで専用キーを押します。

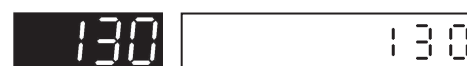


(例:120円初期設定)

2 データを入力する



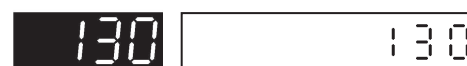
価格を変更します。押し続けると速く変わります。



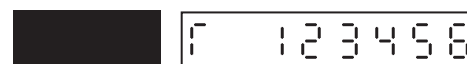
3 入力したデータを確定する



販売可能ランプが消灯している選択ボタンを押すと、販売可能ランプが点灯し、対応するコラムが現在表示の価格に設定されます。



4 販売待機状態に戻る



(2) 設定されている機能内容を確認する

1 確認する機能項目を選択する(例:販売休止モードの確認)



確認の項目表示になるまで専用キーを押します。

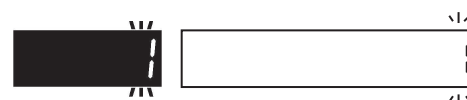


(例 0:自動設定する)

2 項目内容を選択する



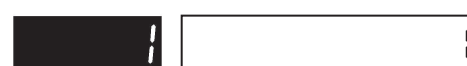
データを変更します。押し続けると速く変わります。



3 入力したデータを確定する

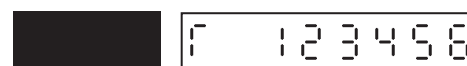


手順2で設定したデータを確定します。



(例 1:自動設定しない)

4 販売待機状態に戻る



待機状態に戻ります。

※：点滅表示

基本的な操作のしかた

(3) データをクリアする

1 データをクリアする機能項目を選択する(例:トータル売上個数のクリア)



を押す。

データをクリアする項目表示になるまで専用キーを押します。

デジタル表示

リモコン液晶表示



交互に表示

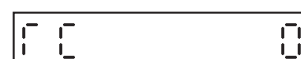


2 項目内容を選択する



を2秒以上押し続ける。

【点検/クリア】キーを2秒以上押し続けると、データをクリアします。



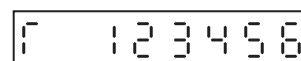
交互に表示



3 販売待機状態に戻る



を押す。



(4) 設定データをテストする

1 テストする項目を選択する(例:連続テスト販売)

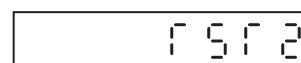


を2回押す。

テストする項目表示になるまで専用キーを押します。

デジタル表示

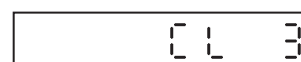
リモコン液晶表示



2 項目内容を選択する

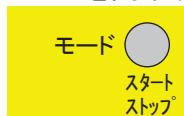


を押す。

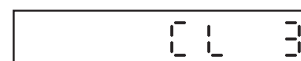


(例 ｺﾗﾑ3)

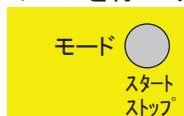
3 テストを開始する



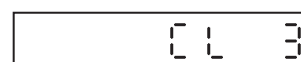
を押す。



4 テストを停止する



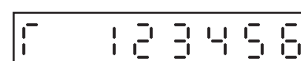
を押す。



5 販売待機状態に戻る



を押す。



基本的な操作のしかた

(5) 故障コードを確認する

1 点検ランプが点滅する



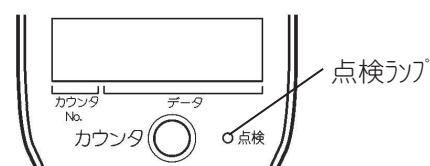
2 故障コードを表示する



を押す

3 故障の対処をする

故障コード一覧表をのらんになって故障の内容を確認し、対処します。



デジタル表示

リモコン液晶表示

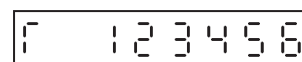


(例:故障コード 10)

(6) 操作を終了する



を押す。



販売待機状態に戻ります。液晶表示部にトータルカウンタ値を表示します。

〔終了〕キーを押す以外にも次の方法で操作を終了することができます。

- ① 何もせずにそのまま30秒以上置く。
- ② 返却レバーを操作する。

専用キーの機能項目とデータ範囲

テスト、売上集計、販売休止、交互販売、コラム設定、価格設定、点検／クリアをまとめて専用キーと呼びます。

専用キーには、1または複数の項目が操作できる機能があります。

ここでは、専用キーの機能項目とその有効データ範囲について説明します。

複数の項目機能を有するキーを操作するときは、キーを押した回数で項目を選ぶことができます。ひとつの項目の操作中に同じ専用キーを押すと、次の項目に移ります。別の専用キー操作に移るときは、現在の操作を終了し、あらためて次の操作に移ります。

キーを押すごとに機能項目の内容、データ範囲とデジタル表示器に表示される文字が替わります。

テスト キー

操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時 (1-99)	参照頁
1回目	1511	単品テスト販売 コインテスト販売(コイン投入時)	※1	—	2-1, 2
2回目	1512	連続テスト販売(選択ボタン/リモコン)	予約機能有り ※1, ※2	—	2-3, 4
3回目	1513	高速連続テスト販売(選択ボタン/リモコン)	予約機能有り ※1, ※2	—	2-5, 6
4回目	1514	順送りテスト販売	※1	—	2-7
5回目	1515	単品チェックテスト販売	※1	—	2-8
6回目	1516	販売復帰テスト販売	※1	—	2-9

※1 故障コード37, 38が発生したコラムでは、続けてテスト販売を行うことはできません。(2分間)

※2 連続払出しを行ったコラムで続けて同じ動作を行うことはできません。(15分間)

専用キーの機能項目とデータ範囲

● 売上
集計 キー

操作回数	デジタル/LED 液晶表示器	項 目 内 容	データの範囲(備考)	オールクリア時 (1-99)	参照頁
1 回目	FC	トータル売上個数の確認・クリア	0 ～999, 999個	0 個	2-10, 11
+ アップ/ダウン	C (コラムNo.)	コラム別売上個数の確認・クリア	0 ～999, 999個		
2 回目	FP	トータル売上金額の確認・クリア	0 ～999, 999円	0 円	2-12, 13
+ アップ/ダウン	C (コラムNo.)	コラム別売上金額の確認・クリア	0 ～999, 999円		
3 回目	GC I (GrNo.)	グループ別売上個数の確認・クリア	0 ～999, 999個	0 個	2-14
4 回目	GP I (GrNo.)	グループ別売上金額の確認・クリア	0 ～999, 999円	0 円	2-15
5 回目	PC I (プライズNo.)	価格別売上個数の確認・クリア	0 ～999, 999個	0 個	2-16
6 回目	PP I (プライズNo.)	価格別売上金額の確認・クリア	0 ～999, 999円	0 円	2-17
7 回目	H	テスト販売個数の確認・クリア	0 ～999, 999個	0 個	2-18
8 回目	AC	ルーレット当たり個数の確認・クリア	0 ～999, 999個	0 個	2-19
9 回目	AP	ルーレット当たり金額の確認・クリア	0 ～999, 999円	0 円	2-19
1 0 回目	dC	割引合計個数の確認・クリア	0 ～999, 999個	0 個	2-20
1 1 回目	dP	割引合計金額の確認・クリア	0 ～999, 999円	0 円	2-20
1 2 回目	cC	累計売上個数の確認	0 ～999, 999個	継続	2-21
1 3 回目	bC	現金累計売上個数の確認	0 ～999, 999個	継続	2-21
1 4 回目	CC	現金以外累計売上個数の確認	0 ～999, 999個	継続	2-21
1 5 回目	cP	累計売上金額の確認	0 ～999, 999円	継続	2-22
1 6 回目	bP	現金累計売上金額の確認	0 ～999, 990円	継続	2-22
1 7 回目	CP	現金以外累計売上金額の確認	0 ～999, 999円	継続	2-22
1 8 回目	FC	フリーバンド合計個数の確認・クリア	0 ～999, 999個	0 個	2-24, 25
+ アップ/ダウン	F (コラムNo.)	コラム別個数の確認・クリア	0 ～999, 999個		
1 9 回目	FP	フリーバンド合計金額の確認・クリア	0 ～999, 999円	0 円	2-26, 27
+ アップ/ダウン	F (コラムNo.)	コラム別金額の確認・クリア	0 ～999, 999円		

専用キーの機能項目とデータ範囲

● 売上
集計 キーを2秒押す

操作回数	デジタル/液晶 表示器	項 目 内 容	データの範囲(備考)	オールクリア時 (1-99)	参照頁
		カード(期間)売上個数の確認・クリア ※	0～999,999個	0 個	2-28
1 回目		カード(期間)売上金額の確認・クリア ※	0～999,999円	0 円	2-29
2 回目		カード(累計)売上個数の確認・クリア ※	0～999,999個	継続	2-30
3 回目		カード(累計)売上金額の確認・クリア ※	0～999,999円	継続	2-31

※ マルチカードリーダー搭載機, またはマルチブランド情報ありのみ表示

● 販売
休止 キー

操作回数	デジタル/液晶 表示器	項 目 内 容	データの範囲(備考)	オールクリア時 (1-99)	参照頁
1 回目		販売休止時間A/コラムの設定・確認	0 : 販売休止しない 1～24時間, 任意コラム	クリア	2-32
2 回目		全コラム販売休止モードの設定・確認	0 : 自動設定する 1 : 自動設定しない	1:自動設定しない	2-33
3 回目		販売休止時間B/コラムの設定・確認	0 : 販売休止しない 1～24時間, 任意コラム	クリア	2-34
4 回目		販売休止時間C/コラムの設定・確認	0 : 販売休止しない 1～24時間, 任意コラム	クリア	2-35
5 回目		ヘルスコード有効コラムの設定・確認	任意コラム	クリア	2-36

● 交互
販売 キー

操作回数	デジタル/液晶 表示器	項 目 内 容	データの範囲(備考)	オールクリア時 (1-99)	参照頁
1 回目	 (GrNo.)	交互販売コラムの設定・確認	任意コラム (1～30Gr)	クリア	2-37

● コラム
設定 キー

操作回数	デジタル/液晶 表示器	項 目 内 容	データの範囲(備考)	オールクリア時 (1-99)	参照頁
1 回目		コラム-セレクション配線の設定・確認	任意コラム	コピー	2-38
+		コラム-セレクション配線の出荷時 設定戻し		—	2-39
点検/クリア 連続押し ●					
2 回目		品質保持期限の設定・確認	1～31日	クリア	2-40
3 回目		販売個数(直積ラック)の設定・確認	1 : 1 個 2 : 2 個	継続	2-41

※仕様により一部異なる場合があります。

専用キーの機能項目とデータ範囲

● 価格
設定 キー

操作回数	デジタル/液晶 液晶表示器	項 目 内 容	データの範囲(備考)	オールクリア時 (1-99)	参照頁
1 回目	120	現金価格の設定・確認	0～9,990円 10円単位 初期値120円表示	0 円	2-42
2 回目	120 (点滅)	カード価格の設定・確認 ※ 1	0～9,999円 1円単位 初期値120円表示	0 円	2-43
3 回目	0000 (点滅)	プライス別カウンタの設定・確認 ※ 2	各プログラムに設定してある 価格の中から選択 0 円：価格設定なし	0 円	2-44

※ 1 シングルカードリーダーライター搭載機のみ表示

※ 2 自動販売機の仕様によって表示されない場合があります。

● 価格
設定 キーを 2 秒押す

操作回数	デジタル/液晶 液晶表示器	項 目 内 容	データの範囲(備考)	オールクリア時 (1-99)	参照頁
1 回目	120 (点滅)	カード 1～8 価格設定 ※	0～9,999円 1円単位 初期値120円表示	0 円	2-45

※ マルチカードリーダーライター搭載機、またはマルチブランド情報ありのみ表示

● 点検
クリア キー

操作回数	デジタル/液晶 液晶表示器	項 目 内 容	データの範囲(備考)	オールクリア時 (1-99)	参照頁
1 回目	Eラーコード	現在故障の確認	最大16項目	継続	2-46
2 回目	(ヘルスコード 過去1回分)	ヘルスコード動作日時の確認	過去 3 回分の動作日時 動作月日： 1～12月 1～31日 動作時分： 0～23時 0～59分	クリア	2-47
3 回目	33	異常データの確認	過去10回分の異常データ 故障コード 故障発生月日： 1～12月 1～31日 故障発生時分： 0～23時 0～59分	クリア	2-48
4 回目	34	異常データの印字操作		——	2-49
5 回目	35	販売異常発生時の返金履歴の確認	最大10件	継続	2-50, 51
6 回目	36	販売異常発生時の返金履歴のクリア	0～60ヶ月	——	2-52
7 回目	37	販売異常発生時の返金履歴の印字操作		——	2-53

※仕様により一部異なる場合があります。

モードキーの機能項目とデータ範囲

モードには、統一、選択、タイマ、機種固有設定、釣銭合わせ、ルーレット、カード、プリンタ、サービス、メンテナンス、加温、環境の12種類があり、それぞれモードには更に機能の操作項目番号があります。モードの操作項目番号を入力して機能の設定や確認をします。

(1) モードキー操作の基本

- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|---|---------------------------|----------|
| 1  を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 2   を押す。
モード番号を入力します。入力したモード番号が点滅します。 | | |
| 3  を押す。
手順2で入力したモード番号が確定し、操作項目番号入力待ちの状態になります。1. 2桁目を点滅表示します。 | | |
| 4   を押す。
操作項目番号を入力します。 | | |
| 5  を押す。
モードと操作項目が確定し、選択した項目の設定または確認の手順になります。 |
↑
選択した項目の内容を表示します。 | |
| 6 手順に従って操作をする。 | | |
| 7  を押す。
操作を終了し、待機状態に戻ります。
【終了】キーを押すかわりに返却レバーを操作するかまたは30秒間そのまま放置しても販売待機状態に戻ります。 | | |

補 足

- 手順3, 4で【モード/スタート/ストップ】キーを押すと、手順2に戻ります。
- 手順5, 6で【モード/スタート/ストップ】キーを押すと、手順4に戻ります。

ただし、釣銭合わせの確認や払出し動作等のモードでスタート・ストップとして【モード/スタート/ストップ】キーを使用する場合は除きます。

※：点滅表示

モードキーの機能項目とデータ範囲

(2) 機能項目とデータ範囲

モード  キー
 スタート
 ストップ

デジタル/液晶表示器		項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時	参照頁
統一	0-01	1: 売行き判断キャンセル操作		——	3-1
		2: 加温期間日数の設定・確認 ／手動リセット操作	0: 加温管理しない 1~999日 クリア-連続押し: 手動リセット	継続	3-2
		3: 売行き不調時充てん数の 設定・確認	0~99個	継続	3-3
		4: サービスモードの設定・確認	GO/STOP	GO	3-4
選択	1-01	コラムセクション配線 パターン切替の設定・確認	1: パターン1(夏) 2: パターン2(冬) 3: パターン3(春) 4: パターン4(秋) 99: 出荷時パターン	継続	4-1, 2
	1-04	グループ集計コラムの設定・確認	任意コラム(1~10Gr)	クリア	4-3, 4
	1-05	つづけ買い個数の設定・確認	0: 無制限, 1~9個	1: 1個	4-5
	1-06	交互販売コラムの設定・確認	任意コラム(1~30Gr)	クリア	4-6, 7
	1-09	満杯収容数の設定・確認	0~999個	0	4-8
	1-10	外部表示の設定・確認	0: 表示しない 1: 補給数表示 2: 品質保持期限表示 3: 累計売上表示	0: しない	4-9, 10
	1-11	割引対象個数/コラムの設定・ 確認	0: 割引しない 1~9: 1~9個, 任意コラム	0: しない コラムクリア	4-11, 12
	1-12	割引金額の設定・確認	0: 割引しない 10~90: 10~90円(10円単位)	0円	4-13
	1-13	自動返金時間の設定・確認	0: 無制限, 1~30秒	0: 無制限	4-14
	1-14	フリーベンドの設定	0: フリーベンドしない 1: 一括フリーベンドする	継続	4-15
	1-15	過去故障の確認・クリア	最大16件	継続	4-16
	1-16	補給数リセット操作		——	4-17
	1-17	加温可能日数の設定・確認	0: 加温可能日数管理しない 1~99日	0: しない	4-18
	1-18	扉開閉日時の確認	過去15回分	クリア	4-19
	1-19	販売履歴の確認・クリア	過去100回販売時の 「投入月日」, 「投入時分」 「投入金額」, 「販売金額」 「残金」, 「販売コラムNo.」	クリア	4-20~22
	1-20	1: 売行き判断キャンセル操作		——	4-23
		2: 加温期間日数の設定・確認 ／手動リセット操作	0: 加温管理しない 1~999日 クリア-連続押し: 手動リセット	継続	4-24
		3: 売行き不調時充てん数の 設定・確認	0~99個	継続	4-25
		4: サービスモードの設定・確認	GO/STOP	GO	4-26

※仕様により一部異なる場合があります。

モードキーの機能項目とデータ範囲

デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時	参照頁
選 択	1-24 ポイント合計数の確認・クリア	0～999,999	クリア	4-27
	1-25 ポイントカード発行枚数の確認・クリア	0～999,999枚	クリア	4-28
	1-26 ポイントクリア操作		——	4-29
	1-27 消音モードの設定・確認	0：実施しない 1：実施する	0：しない	4-30
	1-28 出荷時データへのプリセット操作		——	4-31
	1-34 デジタル表示器のスクリーン セーバの設定・確認	0：スクリーン表示をしない 1～4：パターン1～4	0：しない	4-32
	1-35 売切ランプ点灯原因の確認	4桁		4-33, 34
	1-36 販売可能ランプ消灯原因の確認	4桁		4-35, 36
	1-37 冷温切替ガイダンス表示の設定・ 確認	0：冷温切替ガイダンスを表示しない 1：冷温切替ガイダンスを表示する	0：しない	4-37
	1-38 照明年間カレンダーの設定・確認	0：しない(無効) 1：する(有効)	継続	4-38
	1-42 売行き確認モニタ機能の設定・ 確認	0：売行き確認モニタ機能を使用 しない 1：売行き確認モニタ機能を使用 する(絶不調コラムの販売は 可能) 2：売行き確認モニタ機能を使用 する(絶不調コラムの販売は 不可)	0：しない	4-39, 40
	1-43 コラム別フリーベンドの設定・ 確認	任意コラム	全コラム：しない	4-41
	1-44 照明消灯原因確認		——	4-42, 43
	1-46 らくらく賞味期限 管理本数の 設定・確認	0～99個	0個	4-44
	1-47 らくらく賞味期限 賞味期限期間 の設定・確認	0～180日	0日	4-45
	1-48 らくらく賞味期限 販売停止動作 の設定・確認	0：賞味期限切れ時に販売停止 の設定をしない 1：賞味期限切れ時に販売停止 の設定をする	1：販売停止 する	4-46, 47
	1-51 マスタ5V電源出力リセット有無 の設定・確認	0：リセットを行う 1：リセットを行わない	0：リセット を行わない	4-48
	1-52 リモコン操作規制の設定・確認	0：リモコン操作規制機能無効 1：リモコン操作規制機能有効 扉閉確定時間：0～30分	0：リモコン操作 規制機能無効 扉閉確定時間 ：10分	4-49, 50
	1-53 エコモード表示の設定・確認	0：エコモード表示しない 1：エコモード表示する	0：エコモード 表示しない	4-51
	1-55 10円釣切れランプ点灯・消灯 の設定・確認	0：強制消灯しない 1：強制消灯する	0：強制消灯 しない	4-52
	1-56 選択ボタン調光率の設定・確認	0：100% 2：25% 1：50% 3：12.5%	0：100%	4-53
	1-57 照明調光率の設定・確認	0：調光 1：微光	0：調光	4-54
	1-58 温度表示有無の設定・確認	0：温度表示しない 1：温度表示する	継続	4-55

※仕様により一部異なる場合があります。

モードキーの機能項目とデータ範囲

デジタル/リモコン 液晶表示器		項 目 内 容	データの範囲(備考)	オールクリア時	参照頁
選 択	1-61	らくらく賞味期限 動作設定する ／しないの設定・確認	0 : らくらく賞味期限動作無効 1 : リモコン操作規制機能有効	0 : 無効	4-56
	1-62	らくらく賞味期限 賞味期限動作 の確認	コマNo. : 1~64 本数 : 0~99本 日付 : 0101~1231	——	4-57, 58
	1-63	らくらく賞味期限 販売本数表示 の確認	コマNo. : 1~64 本数 : 0~999, 999本	——	4-59, 60
	1-64	選択ボタン7セグ調光率の設定・ 確認	0 : 50% 1 : 100%	継続	4-61
	1-65	選択ボタン冷温ピクト表示の 設定・確認	0 : 表示しない 1 : 表示する	継続	4-62
	1-66	価格自動表示の消灯設定・確認 (4桁価格対応)	0 : 消灯しない 1 : 消灯する	継続	4-63
	1-99	オールクリア操作		——	4-64, 65
タ イ マ	2-01	スクールタイマ時間帯／コラム の設定・確認	0~23時, 0~59分 (A~Cパターンにつき各7回)	全て -----	5-1~3
	2-02	スクールタイマ曜日別パターン の設定・確認	A~C (各曜日に対して) 0 : パターン設定なし	0 : パターン 設定なし	5-4
	2-03	照明節電時間帯の設定・確認	0~23時, 0~59分	0000~0000	5-5, 6
	2-05	現在時刻の設定・確認	0~23時, 0~59分	継続	5-7
	2-06	現在月日の設定・確認	1~12月, 1~31日	継続	5-8
	2-07	現在年の設定・確認	00~49(2000~2049)	継続	5-9
	2-08	庫内ファンコントロールの設定・ 確認	0 : 連続運転 1 : ファンコントロールする	1 : ファンコ ントロールする	5-10
	2-09	照明清灯条件の設定・確認	0 : 照明自動点滅器, タイヤの少なく とも一方OFFで照明清灯 1 : 照明自動点滅器, タイヤの両方と もOFFで照明清灯 2 : 照明自動点滅器OFFで照明清灯 3 : タイヤOFFで照明清灯 4 : 照明自動点滅器ONで照明清灯 (暗くなったら照明清灯) 5 : 人感センサOFFで照明清灯	継続	5-11
	2-10	ビルバリデータ禁止時間帯の 設定・確認	0~23時	00~00	5-12, 13
	2-11	照明清灯曜日の設定・確認	1~7 (日~土) 設定曜日数 : 最大4	クリア(----)	5-14
	2-12	割引時間帯の設定・確認	0~23時	00~00	5-15, 16
	2-13	インベントリー禁止時間帯の 設定・確認	0~23時	00~00	5-17, 18
	2-15	調光時間帯の設定・確認	0~23時	00~05	5-19
	2-16	選択ボタンイルミネーション 動作時間帯の設定・確認	0~23時	00~00	5-20
	2-20	照明年間カレンダー基準月の確認	1~12月	クリア	5-21
	2-25	販売期限タイマの設定・確認	販売期限タイヤ: 1~31パターン 販売期限タイヤ年: 2000年~2049年 販売期限タイヤ月日: 1月1日~12月31日	0 : なし	5-22, 23
	2-26	らくらく賞味期限 賞味期限間近 表示日数の設定・確認	0~30日	7日	5-24

※仕様により一部異なる場合があります。

モードキーの機能項目とデータ範囲

デジタル/液晶 液晶表示器		項 目 内 容	データの範囲(備考)	オールクリア時	参照頁
タ イ マ	2-27	らくらく賞味期限 販売期間日数の設定・確認	0～180日	30日	5-25
	2-28	マスタ5V電源出力リセット時刻の設定・確認	0～23時, 0～59分	12:00	5-26
	2-29	人感センサON確定保持時間の設定・確認	0～999秒 (0:人感センサ無効)	0秒	5-27
	2-30	連続テスト制限	0:連続テスト制限しない 1:連続テスト制限する	1:連続テスト制限する	5-28
	2-31	予約価格の設定・確認	変更予約日:2000年1月1日～2049年12月31日 予約価格: 0～9,990円(5円制御無効) 0～9,995円(5円制御有効) (初期表示:120円)	クリア	5-29～31
	2-32	夜間扉開時ブザー制御時間帯の設定・確認	開始・終了時刻: 00時00分～23時59分	00時00分～00時00分	5-32, 33
	2-33	夜間扉開時ブザー継続時間の設定・確認	0～60分	5分	5-34
機 種 固 有 設 定	3-01	2本売り防止スイッチ指定コラムの設定・確認	1～8 任意コラム	継続	6-1
	3-02	取出口表示ランプNo.指定コラムの設定・確認	1～6 任意コラム	全コラム:1	6-2
	3-05	売切後1本販売の設定・確認	0:しない(1本残り状態で売切れ) 1:する(0本残り状態で売切れ)	0:しない	6-3
	3-06	オプションカウンタ仕様の設定・確認	0:カウンタなし 1:ブライスカンタ/テストカウンタする 2:ブライスカンタ/テストカウンタしない 3:グループカウンタ/テストカウンタする 4:グループカウンタ/テストカウンタしない 5:価格固定カウンタ(ブライスカンタ/テストカウンタしない)	継続	6-4
	3-07	庫内温度レベルの設定・確認	0～10 (HOTは0～9)	継続	6-5, 6
	3-09	加温管理機能動作モードの設定・確認	1:売行き不調時補給数固定方式 2:加温販売システム 3:売行き確認モニタ	継続	6-7
	3-10	選択ボタンイルミネーション番号の設定・確認	1～n	継続	6-8
	3-11	偽造コイン対応の設定・確認	0:しない 1～4:0～99枚	0:しない	6-9
	3-12	構造モードの設定・確認	9桁	継続	6-10
	3-13	出荷時データのセット操作		—	6-11
	3-14	売上データクリア操作切換モードの設定・確認	0:コラム別売上クリア操作不可 1:コラム別売上クリア操作可能	継続	6-12
	3-15	通信速度の設定・確認	2:4800bps 4:19.2kbps 3:9600bps	継続	6-13
	3-16	複数コラム割付の設定・確認	10グループ	クリア	6-14, 15
	3-17	2コラム可能設定(1Lペット対応)の設定・確認	0:分割しない(ペア設定) 1:分割する(シングル設定)	継続	6-16, 17
	3-18	室外ファン逆転制御の設定	0:室外ファン逆転制御しない 1:室外ファン逆転制御する	0:しない	6-18

※仕様により一部異なる場合があります。

モードキーの機能項目とデータ範囲

デジタル/レコン 液晶表示器		項 目 内 容	データの範囲(備考)	オールクリア時	参照頁
機種固有設定	3-19	選択ボタンイルミネーション 表示速度の設定・確認	1～99 (0.1秒)	継続	6-19
	3-21	照明自動点滅器感度／ブザー 音量の設定・確認	1桁目：照明自動点滅器感度 0：遅い 1：標準 2：早い 2桁目：ブザー音量 0：切(キーボード操作時は音が鳴ります) 1：小 2：大	継続	6-20, 21
	3-23	選択ボタンの連動設定	32グループ	継続	6-22
	3-24	寒冷地仕様の設定・確認	0：寒冷地仕様の制御を実施しない 1：寒冷地仕様の制御を実施する	0：しない	6-23
	3-26	補助ボタン開始No.の設定・確認	0～64 0：補助ボタンなし	0：補助ボタンなし	6-24
	3-28	トータル／コラム別キーカウンタ 売上個数の確認・クリア	ST：トータル売上個数表示 CL *：コラム別売上個数表示 (*はコラムNo.) 0～999,999個	クリア	6-25, 26
	3-29	グループ制御実行時間の設定・ 確認	0：グループ制御を実施しない 1～30：グループ制御を実施する 時間(単位：時間)	継続	6-27
	3-30	扉開時の省エネ解除の設定・確認	0：扉開時の省エネ解除を実施しない 1：扉開時の省エネ解除を実施する	継続	6-28
	3-31	冷却庫内ON/OFF温度の設定・確認	－9.0～10.0℃	継続	6-29, 30
	3-32	加温庫内ON/OFF温度の設定・確認	－9.0～70.0℃	継続	6-31, 32
	3-33	トークン別コラムの設定・確認	1：メダルA 2：メダルB	継続	6-33
	3-34	トークン別売上個数の確認・ クリア	J A：メダルA売上個数表示 J b：メダルB売上個数表示 0～999,999個	クリア	6-34, 35
	3-35	選択ボタンイルミネーション 表示パターンの設定・確認	パターン：1～12 (5～7：冷温イルミネーション)	—	6-36
	3-38	コイン投入時照明点灯の設定・ 確認	0：コイン投入時と連動しない 1：コイン投入時と連動する	0：コイン投入時 と連動しない	6-37
	3-39	価格自動切替え表示の設定・ 確認	0：消灯 1：点灯 2：販売中のみ点滅 3：イルミネーション(省エネモード)	0：消灯	6-38
	3-40	子機構造モード番号の設定・確認	0～8	0	6-39
	3-41	デバイス・アピールユニットの 設定・確認	上位桁目(ランプ状態) 0：消灯 1：点灯 2：点滅(速い)0.9秒点灯/0.3秒消灯 3：点滅(遅い)1.7秒点灯/0.5秒消灯 下位桁目(点灯条件) 0：常時 1：照明自動点滅器連動 (フタセンサ感応時連動) 2：時間常割引連動 (設定時間常連動)	0 0	6-40
	3-42	価格自動切替えの顔文字表示の 設定・確認	0：顔文字表示しない 1：顔文字表示する	0：しない	6-41

※仕様により一部異なる場合があります。

モードキーの機能項目とデータ範囲

デジタル/レコン 液晶表示器		項 目 内 容	データの範囲(備考)	オールクリア時	参照頁
機種 固 有 設 定	3-43	販売不可コラムの設定・確認	1～MAXコラム	クリア(---)	6-42, 43
	3-44	ダストボックス接続の設定・確認	0：しない 1：する	0：しない	6-44
	3-45	人感センサの設定・確認	0：無効 1：ポート人感センサ 2：デジタル表示器人感センサ 3：デジタル表示器トッパ人感センサ	0：無効	6-45
	3-48	人感センサ感度の設定・確認	1：感度（弱） 2：感度（中） 3：感度（強）	2：感度（中）	6-46
	3-49	人感センサ離反動作の設定・確認	【サブ項目1 離反機能】 0：しない 1：する 【サブ項目2 離反後照明点灯保持時間】 0～99（0.1秒単位）	「離反機能」 0：しない 「離反後照明点灯保持時間」 5：0.5秒	6-47, 48
	3-50	募金有効コラム数の設定・確認	0～64 0：募金コラムなし	継続	6-49
	3-52	冷温AP売切れ・準備中ランプ読み替え設定・確認	0：読み替えしない 1：読み替えする	継続	6-50
	3-53	イルミネーション不可釦数の設定・確認	0～64 0：設定なし	継続	6-51
	3-54	連続テスト販売間隔の設定・確認	3～99（0.1秒単位）	継続	6-52
	3-55	ディスプレイ接続設定・確認	0：ディスプレイ接続しない 1：ディスプレイ接続する	継続	6-53
	3-67	一件明細バックアップ機能の設定・確認	【一件明細バックアップ機能】 0：無効 1：有効 【一件明細満杯時の動作設定】 0：販売停止しない 1：販売停止する 【一件明細件数表示】 0～210	継続	6-54, 55
	3-68	通信端末間の通信モードの設定・確認	0：通信端末なし 1：JNS通信端末あり 2：QR端末モード	継続	6-56
	3-69	端末認証鍵の設定		継続	6-57, 58
	3-70	VTSビルバリ挿入枚数の設定・確認	1～4枚	継続	6-59

※仕様により一部異なる場合があります。

モードキーの機能項目とデータ範囲

デジタル/レコン 液晶表示器		項 目 内 容	データの範囲(備考)	オールクリア時	参照頁
釣 銭 合 わ せ	4-01	釣銭合わせの確認・払出し動作 自動チューブ ¥10～¥500 手動チューブ ¥10～¥500	「0」：釣銭合わせ未設定 下2桁表示 「 — — 」：増加チューブ有 4桁表示 「 — — — — 」：過不足なし 各金種表示：不足チューブ有 自動チューブ 不足枚数：0～98 釣銭合わせなし：99 手動チューブ 不足枚数：0～998 釣銭合わせなし：999	0：釣銭合わせ未設定 過不足枚数 クリア(0枚)	7-1, 2
	4-02	釣銭合わせ枚数の設定・確認 自動チューブ ¥10～¥500 手動チューブ ¥10～¥500	【自動チューブ】 枚数設定：0～98 釣銭合わせなし：99 【手動チューブ】 枚数設定：0～998 釣銭合わせなし：999	「自動チューブ」 釣銭合わせ なし：99 「手動チューブ」 釣銭合わせ なし：999	7-3, 4
	4-03	釣銭合わせモードの設定・確認	0：釣銭合わせしない 1：自動釣銭合わせモード (チューブインモード) 2：自動チューブ残量モード (チューブ残量モード)	0：釣銭合わせ しない	7-5
ル ー レ ッ ト	5-01	ルーレット当たり確率/コラム の設定・確認	0：当たりなし 1：1/2 (テストモード) 10～990：1/10～1/990 999：ルーレットなし	999：ルー レット なし	8-1
	5-04	選択ボタンルーレットの設定・ 確認	0：選択ボタンルーレットなし (通常のルーレット動作) 1：横1段 2：レベルメータ	0：選択ボタ ンルー レット なし	8-2
	5-05	トータル/コラム別ルーレット 当たり個数の確認・クリア	0～999, 999個	クリア	8-3, 4
	5-06	ルーレット動作対象コラムの 設定・確認	任意コラム	全コラム	8-5
カ ー ド	6-01	現金/カード同時投入可否の 設定・確認	0：同時投入不可 1：同時投入可	0：同時投入 不可	9-1
	6-02	カード返却モードの設定・確認	0：カード排出(返却) 1：カード取込み	0：カード排 出 (返却)	9-2
	6-03	IDカード発行月の設定・確認	1～12月	クリア(--)	9-3
	6-04	IDカード発行年の設定・確認	00～49 (2000～2049)	クリア(2000)	9-4
	6-05	テストIDカード有効No.の設定 ・確認	101～110	クリア(---)	9-5, 6
	6-06	無効部署別IDカードNo.の設定 ・確認	001～110	クリア(---)	9-7, 8
	6-07	選択ボタン先選択有効時間の 設定・確認	0～255秒	20	9-9
	6-08	モバイル決済履歴のプリンタ 印字出力起動		—	9-10
	6-11	現金グループ別売上個数の確認 ・クリア	0～999, 999個	クリア	9-11, 12

※ 5 カードについては自販機にカードリーダーが搭載されていない場合は、項目の表示を行いません。

※仕様により一部異なる場合があります。

モードキーの機能項目とデータ範囲

デジタル/レコン 液晶表示器		項 目 内 容	データの範囲(備考)	オールクリア時	参照頁
カ ー ド	6-12	現金以外グループ別売上個数の 確認・クリア	0～999,999個	クリア	9-13, 14
	6-13	現金グループ別売上金額の確認 ・クリア	0～999,990円	クリア	9-15, 16
	6-14	現金以外グループ別売上金額の 確認・クリア	0～999,999円	クリア	9-17, 18
	6-15	現金価格別売上個数の確認・ クリア	0～999,999個	クリア	9-19, 20
	6-16	現金以外価格別売上個数の確認・ クリア	0～999,999個	クリア	9-21, 22
	6-17	現金価格別売上金額の確認・ クリア	0～999,990円	クリア	9-23, 24
	6-18	現金以外価格別売上金額の確認・ クリア	0～999,999円	クリア	9-25, 26
	6-19	現金投入時の先選択解除の設定・ 確認	0：現金投入時の先選択を解除 しない 1：現金投入時の先選択を解除 する	1：現金投入 時の先選択を 解除する	9-27
	6-20	モバイル再タッチ時間の設定・ 確認	0～255秒	継続	9-28
	6-21	カード別状態モニタ確認 (マルチカードリーダー搭載機, または マルチラト [※] 情報ありのみ表示)	C d 0 1～C d 0 8 0：運用 1：一時休止 2：閉局	——	9-29
	6-22	カード別一時休止設定 (マルチカードリーダー搭載機, または マルチラト [※] 情報ありのみ表示)	C d 0 1～C d 0 8 0：運用 1：一時休止	継続	9-30
	6-23	マネーブランド登録削除 (マルチカードリーダー搭載機, または マルチラト [※] 情報ありのみ表示)	1～8：選択されたカード別の 売上印字クリア	——	9-31
	6-25	価格自動表示価格の設定・確認	0：現金価格表示 1～8：ブランドNo. 99：代表カード価格表示	継続	9-32
	6-26	先選択表示価格の設定・確認	0：印字しない 1～8：ブランドNo. 99：代表カード価格表示	継続	9-33
プ リ ン タ	7-01	プリンタ印字切換えの設定・ 確認	0：補給数印字しない 1：補給数印字する 2：特殊フォーマット (売切/売上/稼働)	継続	10-1
	7-02	機種番号の設定・確認	8桁	継続	10-2, 3
	7-03	商品コードの設定・確認	6桁	クリア	10-4, 5
	7-04	トータル売上のクリア操作	トータル売上個数・金額 ルーレット当たり個数・金額 テスト販売個数	——	10-6
	7-05	コラム別売上のクリア操作	コラム別売上個数・金額 コラム別ルーレット当たり個数 (プリンタ印字のみ有効)	——	10-7
	7-06	締め操作連動の設定・確認	0：連動する 1：連動しない	1：連動しな い	10-8

※ 6 カードについては自販機にカードリーダーが搭載されていない場合は、項目の表示を行いません。

※仕様により一部異なる場合があります。

モードキーの機能項目とデータ範囲

デジタル/液晶 液晶表示器		項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時	参照頁
プリンタ	7-12	カード別印字確認(コラム) (マルチカードリーダー搭載機, または マルチプラットフォーム情報ありのみ表示)	0: 全カードのコラム別売上情報 1~8: 選択されたカード別の コラム別売上情報	0: 全カードの コラム別売上情 報	10-9
	7-13	カード別印字確認(グループ) (マルチカードリーダー搭載機, または マルチプラットフォーム情報ありのみ表示)	0: 全カードのグループ別売上情報 1~8: 選択されたカード別の グループ別売上情報	0: 全カードの グループ別売上 情報	10-10
	7-14	カード別印字確認(価格) (マルチカードリーダー搭載機, または マルチプラットフォーム情報ありのみ表示)	0: 全カードの価格別売上情報 1~8: 選択されたカード別の 価格別売上情報	0: 全カードの 価格別売上情 報	10-11
	7-15	プリンタボタン切換え選択の 設定・確認	0: 標準印字 1: コラム別価格印字	0: 標準印字	10-12
	7-16	カード接続時の印字フォーマット 切換え設定・確認	0: 標準印字フォーマット 1: カード接続時の印字フォーマット	0: 標準印字 フォーマット	10-13
サービス	8-01	コンプレッサ強制運転機能	0: コンプレッサを強制停止 1: コンプレッサを強制運転	——	11-3, 4
	8-02	コンデンサファン強制運転機能	0: コンデンサファンを強制停止 1: コンデンサファンを強制正転運転 2: コンデンサファンを強制逆転運転	——	11-5, 6
	8-03	庫内ファン強制運転機能	0: 庫内ファンを強制停止 1: 庫内ファンを強制運転	——	11-7
	8-04	電磁弁強制運転機能	0: 電磁弁をOFF 1: 電磁弁をON	——	11-8
	8-05	ヒータ強制運転機能	0: ヒータをOFF 1: ヒータをON	——	11-9
	8-06	電子膨張弁強制運転機能 (ハイブリッドヒートポンプ機のみ)	電子膨張弁番号 1~4 開度: 0~5000ミリ秒(100ミリ秒単位)	——	11-10, 11
メンテナンス	9-01	コンプレッサ稼働時間の確認・ クリア	0~999, 999時間	クリア	12-1
	9-02	庫内ファン稼働時間の確認・ クリア	0~999, 999時間	クリア	12-2
	9-03	コインメカニズムの投入/排出 枚数の確認・クリア	0~999, 999枚	クリア	12-3
	9-04	ビルバリデータの識別回数の 確認・クリア	0~999, 999回	クリア	12-4
	9-05	ベンドメカ動作回数の確認・ クリア	0~999, 999回	クリア	12-5, 6
	9-08	故障発生日時の確認	最新1件の 「故障コード」「故障発生年」 「故障発生日」「故障発生時分」	継続	12-7
	9-09	オフライン通信履歴の確認	過去10回分の「交信年」 「交信月」「交信時分」 「交信コマンド」「エラー内容」	継続	12-8, 9
	9-10	オフライン収集履歴の確認	過去10回分の「収集年」 「収集月」「収集時分」 「収集内容」	継続	12-10, 11
	9-11	取出口自動扉の故障発生日時の 確認	過去10件の 「故障発生年」「故障発生日」 「故障発生時分」「故障内容」	継続	12-12~14

※仕様により一部異なる場合があります。

モードキーの機能項目とデータ範囲

デジタル/リコン 液晶表示器		項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時	参照頁
メ ン テ ナ ン ス	9-12	取出口自動扉の強制運転	0 : 閉 1 : 開	——	12-15
	9-18	除霜制御の設定・確認	除霜間隔(SP) : 0 ~ 7 除霜解除温度 : 0 ~ 24℃ ／運転モード・庫内毎 除霜解除時間 : 1 ~ 99分 ／運転モード 毎 除霜時ヒータ連動設定(dH) : 0, 1 除霜時ヒータON時間(HT) : 1 ~ 99(分)	継続	12-16, 17
	9-19	冷却交互運転の設定・確認	・冷却交互運転の切替間隔 0 : 冷却交互運転を行わない 1 ~ 99 : 設定された時間(分) 毎に冷却する庫内を 切り替える ・冷却交互運転の開始温度 -9 ≤ 開始温度 ≤ 解除温度-1(℃) ・冷却交互運転の解除温度 開始温度+1 ≤ 解除温度 ≤ 10(℃)	継続	12-18, 19
	9-28	同期制御の設定・確認 (CO2ヒートポンプ機, R1234yfヒートポンプ機)	各運転モード毎 同期制御解除温度設定(U1~U4) 0 ~ 10℃ (0 : 同期制御しない) 同期待ち限界温度(L1~L4) 0 ~ 10℃	継続	12-20~22
	9-29	同期待ちファン制御の設定・確認	各運転モード毎 0 : 同期待ちファン制御しない 1 : 同期待ちファン制御する	継続	12-23, 24
	9-38	通信端末間の状態確認	※表示のみ	——	12-25, 26
	9-70	冷却加温自己診断の設定・確認	1 ~ 16 ALL(全庫内の冷却加温自己診断 実行中) SToP(冷却加温自己診断停止中)	なし	12-27~29
	9-71	冷却加温自己診断の結果表示	試験結果 : Good, nG, -- 温度表示 : -42.9 ~ 179.9℃, --, Er	なし	12-30~32
	9-72	冷却加温自己診断結果印字確認		なし	12-33
	9-80	電源ON回数の確認	0 ~ 9, 999回	継続	12-34
	9-81	電源ON累積時間の確認	0 ~ 999, 999時間	継続	12-35
	9-82	ドア開閉回数の確認	0 ~ 999, 999回	継続	12-36
	9-83	総累計ベンドメカ動作回数の確認	0 ~ 999, 999回	継続	12-37
	9-94	常時冷温パワーモードの設定・ 確認	0 : 設定なし 1 : 設定あり	継続	12-38

※仕様により一部異なる場合があります。

モードキーの機能項目とデータ範囲

デジタル/液晶表示器		項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時	参照頁
加 温	b-01	投入本数（一括）の設定・確認	0：全ｺｰﾑ投入本数は5本設定 1：全ｺｰﾑ投入本数は10本設定 2：加温販売ｼｽﾃﾑを実施しない 3：投入本数は「投入本数(個別) の設定・確認」でｺｰﾑ毎に 設定された本数に設定	継続	13-1
	b-02	加温規定日数の設定・確認	0：加温販売ｼｽﾃﾑを実施しない 1～99日	0：しない	13-2
	b-03	投入本数（個別）の設定・確認	0：加温販売ｼｽﾃﾑを実施しない 1～99本	5本	13-3, 4
	b-04	加温経過日数／本数表示の確認		――	13-5, 6
	b-05	投入可能本数／加温規定日数 経過本数の確認・プリセット		――	13-7～10
	b-06	販売停止モードの設定・確認	0：期限切れ商品, 加温冷却時間 不足商品の販売停止しない 1：期限切れ商品, 加温冷却時間 不足商品の販売停止する	0：しない	13-11
	b-23	マルチラック棚交換テスト販売 の設定・確認		――	13-12, 13
環 境	e-06	保温温度の設定・確認	庫内 1～4 10～30 (℃)	20℃	14-1, 2
	e-07	保温制御の設定・確認	庫内 1～4 0：保温制御しない 1：保温制御する	0：保温制御 しない	14-3
	e-80	バッテリー動作開始時刻の設定・ 確認	00～23時	00時	14-4
	e-81	バッテリー動作可能時間の設定・ 確認	0～180分 (10分単位) 0：バッテリー動作不可	0分	14-5
	e-82	バッテリー充電開始時刻の設定・ 確認	00～23時	22時	14-6
	e-83	バッテリー動作回数・時間の確認・ クリア	バッテリー動作回数： 0～999, 999, 999回 バッテリー動作時間： 0～999, 999, 999分	0	14-7, 8
	e-84	バッテリー動作履歴の確認	バッテリー動作年：2000～9999 バッテリー動作月日：0101～1231 バッテリー動作時刻：0000～2359 バッテリー動作時間：0～9999(分) 履歴の回数：10回分	オール 0	14-9, 10
	e-85	エコスリープ機能の設定・確認	【サブ項目 1：パターン】 0：無効 1：エコスリープ機能有効 2：エコスリープ機能有効, 人感センサによる動作無効 【サブ項目 2：価格自動表示連動】 0：連動しない 1：連動する 【サブ項目 3：コインメック連動】 0：連動しない 1：連動する	「パターン」 0：無効 「価格自動 表示連動」 1：連動する 「コインメック 連動」 0：連動しな い	14-11, 12

※仕様により一部異なる場合があります。

モードキーの機能項目とデータ範囲

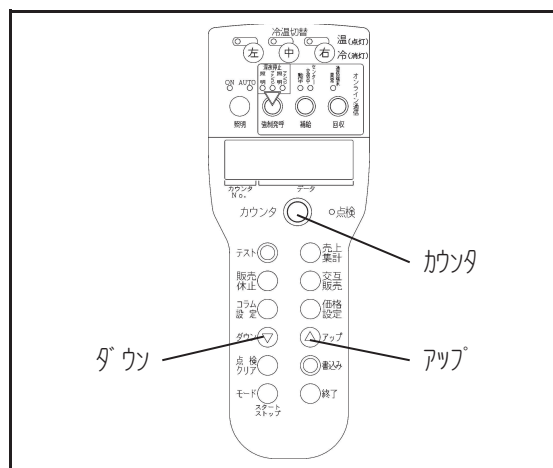
デジタル/リコン 液晶表示器		項 目 内 容	データの範囲(備考)	オールクリア時	参照頁
環 境	E-87	バッテリー強制充電機能の設定・確認	1:充電開始 初期値 0 分	継続	14-13
	E-88	E r 解除無操作時間の設定・確認	0～60分 初期値 0 分	0～60分 初期値 0 分	14-14
	E-89	パワー運転モードの設定・確認	0:パワー運転モード無効 1:パワー運転モード有効	0	14-15

※仕様により一部異なる場合があります。

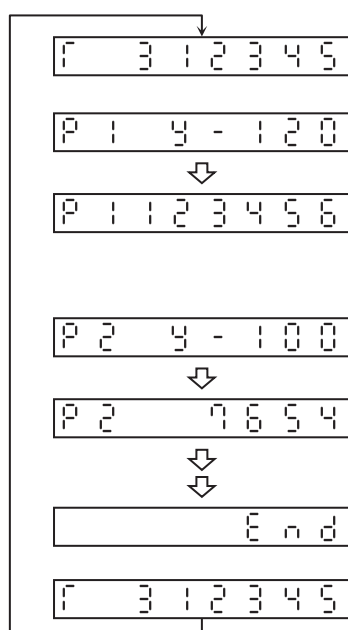
カウンタ値の確認のしかた

カウンタキーを押してプライス別のカウンタ値を確認します。

- (1) カウンタ値はトータルカウンタの次にプライスカウンタ 1、プライスカウンタ 2 の順で高価格順に表示します。
- (2) カウンタキーを押す毎に表示が変わります。
※アップ（ダウン）キーの操作でも表示は変わります。
- (3) 最後まで表示すると「E n d」を表示し、もう一度カウンタキーを押すと、トータルカウンタ表示に戻ります。



● 指定価格または高価格優先時のカウンタ値の表示



待機時にはトータルカウンタが表示されます。

 を押す。
カウンタ

プライスカウンタのプライス別カウンタ値を表示します。
設定価格を表示後、売上個数を表示します。
(例 P1 販売価格120円 123456本)

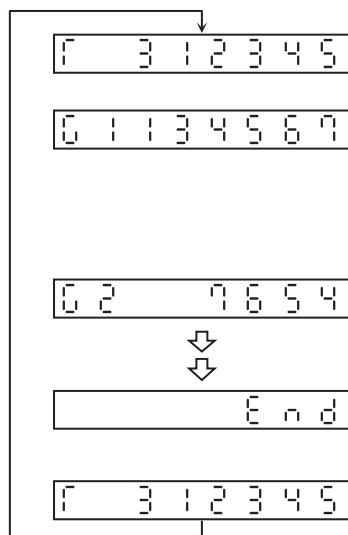
 を押す。
カウンタ

該当するカウンタの売上数を表示します。
(例 P2 販売価格100円 7654本)

最後まで表示したことを示します。

「E n d」表示中にカウンタキーを押すと、待機時に表示されていたトータルカウンタのカウンタ値に戻ります。

● グループ別カウンタ時のカウンタ値の表示



待機時にはトータルカウンタが表示されます。

 を押す。
カウンタ

グループ別カウンタのグループ別カウンタ値を表示します。
(例 グループ 1 134567本)

 を押す。
カウンタ

該当するカウンタのグループ別売上数を表示します。
グループが最後まで表示したことを示します。

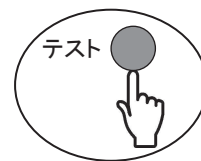
「E n d」表示中にカウンタキーを押すと、待機時に表示されていたトータルカウンタのカウンタ値に戻ります。

2

専用キーの操作のしかた

ここでは、テストキー、売上集計キーや価格キーなど専用キーによる設定・確認やクリアのしかたについて説明しています。

単品テスト販売



メインドアの選択ボタンを押して、商品が1個ずつ正しく販売されるかをテストします。

1 テスト  を押す。

全コラムの販売可能ランプが点灯します。

デジタル表示

1571

リモコン液晶表示

1571

2  を押す。

押したボタンの販売可能ランプが点灯し、該当コラムの商品を1個販売します。販売が終了するまで他の販売可能ランプは消灯します。

1571

1571

 : 点灯

 : 消灯

3  アップ  ダウン を押す。

コラム番号を指定します。押し続けると速く変わります。(例 CL8:1548)

CL 8

CL 8

4  モード スタートストップ を押す。

現在表示中のコラムの商品を1個販売します。別のコラムの単品テストをするときは手順3に戻ってください。

CL 8

CL 8

5  終了 を押す。

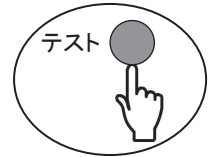
待機状態に戻ります。

1 2 3 4 5 6

補足

1. 選択ボタンを押してコラム指定を行うときは、手順3、4は不要です。
2. [アップ(ダウン)] キーでコラムを指定するときは、手順2は不要です。
3. 手順3で[アップ(ダウン)] キーを押してコラムを指定すると、手順2の選択ボタンによる販売はできません。
4. 手順3で[アップ(ダウン)] キーを押す毎にコラム番号を昇順(降順)に表示します。最後のコラムまで表示すると最初のコラムに戻ります。

コインテスト販売



コインを投入して商品が1個ずつ正しく販売されるかをテストします。

1  を押す。

全コラムの販売可能ランプが点灯します。

デジタル表示

「5」

リモコン液晶表示

「5」

2 コインを投入する。

コインを投入すると、コインテスト販売モードに切り替わり、販売可能なコラムの販売可能ランプが点灯します。

「200」

「1 2 3 4 5 6」

(例 200:200円投入)

 : 点灯

3  を押す。

商品を販売します。

残金を返金した後、待機状態に戻ります。

(返却時間はつづけ買い個数設定、釣銭自動返却時間設定によって異なります。)

「80」

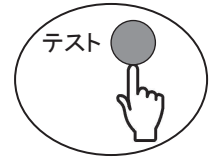
「1 2 3 4 5 6」

(例 80:120円商品販売, 残金80円)

補 足

1. コインテストでの販売は売上個数・金額ともに売上加算されません。

連続テスト販売(選択ボタンを押してコラムを指定する場合)



選択ボタンを押して商品が連続で正常に販売されるかテストします。

1  を2回押す。

連続テスト販売モードになります。

デジタル表示

1512

リモコン液晶表示

1512

2  を押す。

連続テスト販売を行う複数のコラムを指定(予約)することができます。指定されたコラムの販売可能ランプが点灯します。販売可能ランプが点灯している選択ボタンを押すと、販売可能ランプが消灯し、そのコラムの連続テストを解除します。

(例 CL7:コラム7)

 : 点灯
 : 消灯

CL 7

CL 7

3  を押す。

ピッ、ピッ、ピーというブザー音の後、連続テスト販売を開始します。連続テスト販売中のコラムに対応する選択ボタンの販売可能ランプが点滅します。

CL 7

CL 7

4  を押す。

販売を停止します。もう一度【モード/スタート・ストップ】キーを押すと、販売を再開します。

CL 7

CL 7

5  を押す。

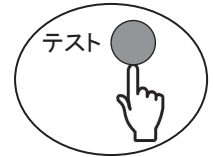
待機状態に戻ります。

123456

補 足

1. 連続テスト販売は、売切後3回販売動作すると停止します。続けて別のコラムの連続テスト販売を行う場合は、手順2に戻ってください。
2. 手順2で複数コラムを指定し、スタートした場合、指定コラムの中で若い番号が表示され、連続テスト販売を実施します。
指定コラムの連続テスト販売が停止した場合、次の若い番号のコラム番号が表示され、スタート待ち状態となります。複数コラム指定がなかった場合は、販売したコラム番号を表示し、コラム選択待ち状態となります。
3. 選択ボタンにてコラム指定を行うと、【アップ(ダウン)】キーによるコラム指定はできなくなります。
4. 連続払出しを行ったコラムで続けて同じ動作を行うことはできません。(15分間)

連続テスト販売(リモコンを操作してコラムを指定する場合)



リモコンを操作して商品が連続で正常に販売されるかテストします。

1 **テスト** を 2 回押す。

連続テスト販売モードになります。

デジタル表示

1512

リモコン液晶表示

1512

2 **アップ** (**ダウン**) を押す。

コラム番号を指定します。ただし、このとき指定できるコラムは 1 つだけです。押し続けると速く変わります。

CL 3

CL 3

(例 CL3:コラム3)

3 **モード** を押す。

ピッ、ピッ、ピーというブザー音の後、連続テスト販売を開始します。販売中は特定コラムに対応する選択ボタンの販売可能ランプが点滅します。

CL 3

CL 3

4 **モード** を押す。

販売を停止します。もう一度【モード/スタート・ストップ】キーを押すと、販売を再開します。

CL 3

CL 3

5 **終了** を押す。

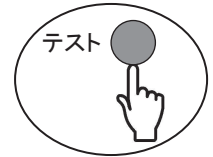
待機状態に戻ります。

123456

補 足

1. 商品は約1.5秒に 1 本、連続で販売します。
2. 連続テスト販売は、売切後 3 回販売動作すると停止します。手順 2 の操作に戻り、コラム選択待ちになります。
3. 【アップ(ダウン)】キーを押してコラム指定を行うと、選択ボタンによるコラム指定はできなくなります。
4. 連続払出しを行ったコラムで続けて同じ動作を行うことはできません。(15分間)

高速連続テスト販売(選択ボタンを押してコラムを指定する場合)



選択ボタンを押して商品が高速連続で正常に販売されるかテストします。

1  を3回押す。

高速連続テスト販売モードになります。

デジタル表示

1513

リモコン液晶表示

1513

2  を押す。

高速連続テスト販売を行う複数のコラムを指定(予約)することができます。指定されたコラムの販売可能ランプが点灯します。販売可能ランプが点灯している選択ボタンを押すと、販売可能ランプが消灯し、そのコラムの高速連続テストを解除します。

(例 CL7:コラム7)

 : 点灯
 : 消灯

CL 7

CL 7

3  を押す。

ピッ、ピッ、ピーというブザー音の後、高速連続テスト販売を開始します。高速連続テスト販売中のコラムに対応する選択ボタンの販売可能ランプが点滅します。

CL 7

CL 7

4  を押す。

販売を停止します。もう一度【モード/スタート・ストップ】キーを押すと、販売を再開します。

CL 7

CL 7

5  終了 を押す。

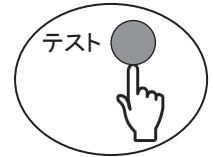
待機状態に戻ります。

123456

補 足

1. 高速連続テスト販売は、売切後3回販売動作すると停止します。続けて別のコラムの高速連続テスト販売を行う場合は、手順2に戻ってください。
2. 手順2で複数コラムを指定し、スタートした場合、指定コラムの中で若い番号が表示され、連続テスト販売を実施します。
指定コラムの連続テスト販売が停止した場合、次の若い番号のコラム番号が表示され、スタート待ち状態となります。複数コラム指定がなかった場合は、販売したコラム番号を表示し、コラム選択待ち状態となります。
3. 選択ボタンにてコラム指定を行うと、【アップ(ダウン)】キーによるコラム指定はできなくなります。
4. 連続払出しを行ったコラムで続けて同じ動作を行うことはできません。(15分間)

高速連続テスト販売(リモコンを操作してコラムを指定する場合)



リモコンを操作して商品が高速連続で正常に販売されるかテストします。

- 1** **テスト** を 3 回押す。

高速連続テスト販売モードになります。

デジタル表示

1513

リモコン液晶表示

1513

- 2** **アップ** (**ダウン**) を押す。

コラム番号を指定します。ただし、このとき指定できるコラムは 1 つだけです。押し続けると速く変わります。

CL 3

CL 3

(例 CL3:コラム3)

- 3** **モード** を押す。

ピッ、ピッ、ピーというブザー音の後、高速連続テスト販売を開始します。販売中は特定コラムに対応する選択ボタンの販売可能ランプが点滅します。

CL 3

CL 3

- 4** **モード** を押す。

販売を停止します。もう一度【モード／スタート・ストップ】キーを押すと、販売を再開します。

CL 3

CL 3

- 5** **終了** を押す。

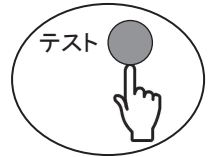
待機状態に戻ります。

1 2 3 4 5 6

補 足

- 高速連続テスト販売は、売切後 3 回販売動作すると停止します。手順 2 の操作に戻り、コラム選択待ちになります。
- 【アップ(ダウン)】キーを押してコラム指定を行うと、選択ボタンによるコラム指定はできなくなります。
- 連続払出しを行ったコラムで続けて同じ動作を行うことはできません。(15 分間)

順送りテスト販売



商品がコラム番号 1 から順番に正常に販売されるかテストします。

1

を 4 回押す。

順送りテスト販売モードになります。

デジタル表示

リモコン液晶表示

2

を押す。

ピッ、ピッ、ピーというブザー音の後、No. 1 コラムから順送りテスト販売を開始します。

↑
コラムNo.表示

3

を押す。

販売を停止します。もう一度【モード／スタート・ストップ】キーを押すと、販売を再開します。

4

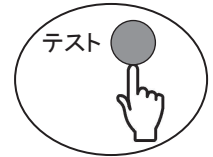
を押す。

待機状態に戻ります。

補 足

1. テスト販売動作の途中で返却レバーまたは【終了】キーを操作すると、販売を中断して待機状態に戻ります。

単品チェックテスト販売



選択ボタンより、商品を1個ずつ正常に販売できるかテストします。

1

テスト

を5回押す。

全コラムの販売可能ランプが点灯します。

デジタル表示

r s r s

リモコン液晶表示

r s r s

2

選択ボタン

を押す。

押したボタンの販売可能ランプが点灯し、該当コラムの商品を1個販売します。販売が終了するまで他の販売可能ランプは消灯します。

r s r s

r s r s

○ : 点灯
○ : 消灯

3

△ アップ

（ ダウン ▽ ）

を押す。

コラム番号を指定します。押し続けると速く変わります。（例 CL8:コラム8）

CL 8

CL 8

4

モード
スタート
ストップ

を押す。

現在表示中のコラムの商品を1個販売します。別のコラムの単品テストをするときは手順3に戻ってください。

CL 8

CL 8

5

○ 終了

を押す。

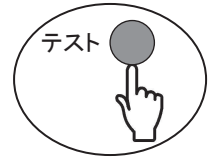
待機状態に戻ります。

r 123456

補 足

1. 選択ボタンを押してコラム指定を行うときは、手順3，4は不要です。
2. 【アップ(ダウン)】キーでコラムを指定するときは、手順2は不要です。
3. 手順3で【アップ(ダウン)】キーを押してコラムを指定すると、手順2の選択ボタンによる販売はできません。
4. 手順3で【アップ(ダウン)】キーを押す毎にコラム番号を昇順（降順）に表示します。最後のコラムまで表示すると最初のコラムに戻ります。
5. 単品テストモードとの違いは、売切れ（商品無し／故障による売切れ）時も全有効コラムの販売を行うことができます。
6. 故障コード37，38が発生したコラムでは、続けてテスト販売を行うことはできません。（2分間）

販売復帰テスト販売



販売故障が発生しているコラムが正常に販売されるかコラムNo.が若い順にテストします。

1 **テスト** を 6 回押す。

販売復帰テスト販売モードになります。

デジタル表示

1516

リモコン液晶表示

1516

2 **モード** を押す。

ピッ、ピッ、ピーというブザー音の後、No.が小さい順に復帰が必要なコラムからテスト販売を開始します。

CL *



コラムNo.表示

CL *

3 **モード** を押す。

販売を停止します。もう一度【モード／スタート・ストップ】キーを押すと、販売を再開します。
全コラム販売終了と同時にピッとブザーが鳴って待機状態になります。

CL *

CL *

CL *

CL *

4 **終了** を押す。

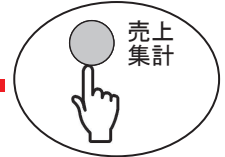
待機状態に戻ります。

1 123456

補 足

1. テスト販売動作の途中で返却レバーまたは【終了】キーを操作すると、販売を中断して待機状態に戻ります。
2. テスト販売動作の途中で【モード／スタート・ストップ】キーを操作すると、販売を中断してその時点で販売していたコラムをデジタル表示に表示します。もう一度【モード／スタート・ストップ】キーを操作すると、次コラムからテスト販売が再開されます。
3. 故障コード37, 38が発生したコラムでは、続けてテスト販売を行うことはできません。(2分間) テスト販売を行った場合は、故障発生後一定間経過していないコラムを飛ばしてテスト販売を行います。

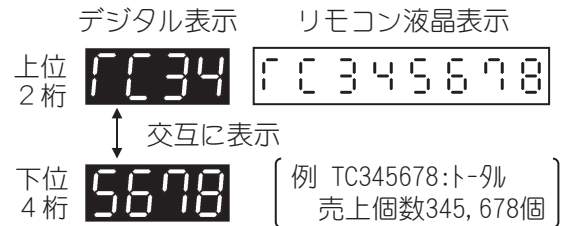
トータル売上個数, コラム別売上個数の確認・クリア (コラム別売上操作不可のとき)



トータル売上個数, コラム別売上個数の確認・クリアをします。

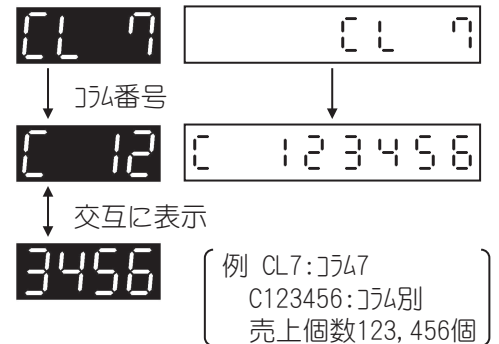
1 を押す。

トータル売上個数を表示します。デジタル表示器には売上個数の上位2桁, 下位4桁を交互に表示します。



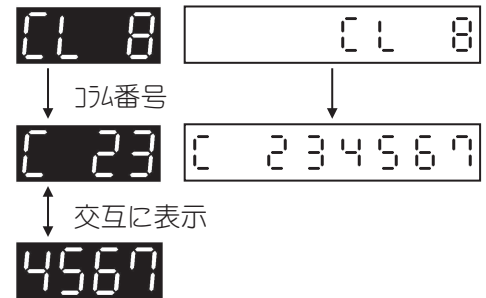
2 を押す。

押した選択ボタンに対応するコラム番号を表示し, 販売可能ランプが点灯します。コラム番号を表示後, 上位2桁, 下位4桁を交互に表示します。



3 () を押す。

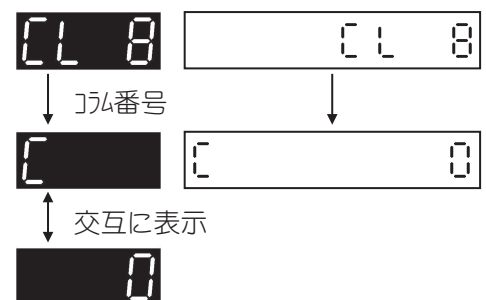
コラム番号が変わります。
押し続けると速く変わります。



■ 売上データをクリアする

4 を2秒以上押し続ける。

どのコラムを表示していても, トータル売上個数, 全てのコラムのコラム別売上個数をクリアします。



5 を押す。

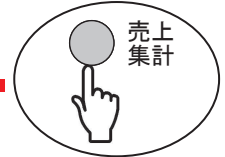
待機状態に戻ります。



補 足

- 表示範囲 0～999,999個
- 売上データをそのまま残すときは, 手順3の後, [終了] キーを押してください。
- 最後のコラムまで表示すると「End」を表示し, もう一度[アップ(ダウン)] キーを押すと, 最初または最後のコラム番号に戻ります。
- トータル売上個数, コラム別売上個数をクリアした場合, 同時にトータル売上金額, コラム別売上金額もクリアします。
- 個数が6桁を超えた場合は, 下6桁の個数を表示します。

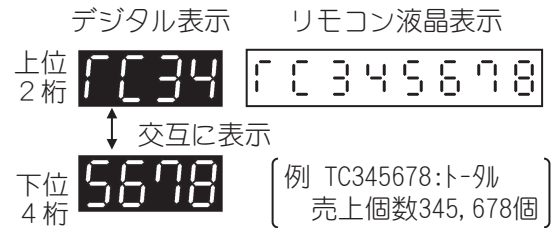
トータル売上個数, コラム別売上個数の確認・クリア (コラム別売上操作可能のとき)



トータル売上個数, コラム別売上個数の確認・クリアをします。

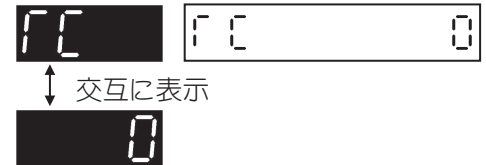
1 を押す。

トータル売上個数を表示します。デジタル表示器には売上個数の上位2桁, 下位4桁を交互に表示します。



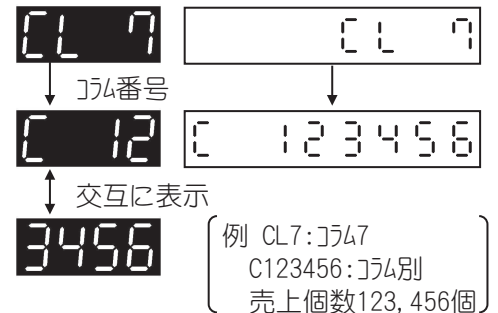
(1) を2秒以上押し続ける。

トータル売上個数がクリアされ, 同時にトータル売上金額もクリアします。(コラム別売上個数, 金額はクリアしません。)



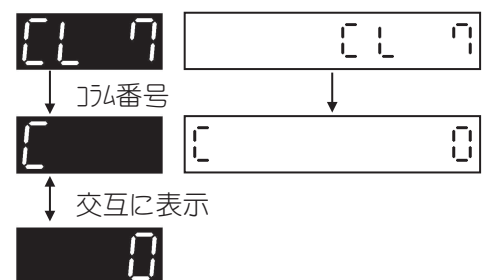
2 を押す。

押した選択ボタンに対応するコラム番号を表示し, 販売可能ランプが点灯します。コラム番号を表示後, 上位2桁, 下位4桁を交互に表示します。



(2) を2秒以上押し続ける。

表示しているコラムのコラム別売上個数のみクリアします。同時に該当コラムのコラム別売上金額もクリアします。このとき, トータル売上個数, トータル売上金額はクリアしません。



3 () を押す。

コラム番号が変わります。最後のコラムまで表示すると, 次に「End」を表示します。この表示中に【点検/クリア】キーを2秒以上押し続けると, 全てのコラムのコラム別売上個数をクリアします(全コラム一斉クリア)。同時に全てのコラム別売上金額もクリアします。このとき, トータル売上個数, 金額はクリアしません。



4 を押す。

待機状態に戻ります。



補 足

- 表示範囲 0～999, 999個
- 売上データをそのまま残すときは, 【点検/クリア】キーを飛ばしてください。
- 最後のコラムまで表示すると「End」を表示し, もう一度【アップ(ダウン)】キーを押すと, 最初または最後のコラム番号に戻ります。
- トータル売上個数, コラム別売上個数の両方をクリアした場合, 同時にトータル売上金額, コラム別売上金額もクリアします。
- 個数が6桁を超えた場合は, 下6桁の個数を表示します。

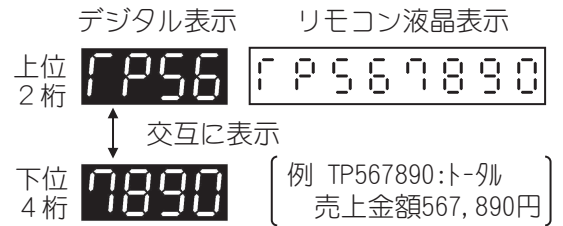
トータル売上金額, コラム別売上金額の確認・クリア (コラム別売上操作不可のとき)



トータル売上金額, コラム別売上金額の確認・クリアをします。

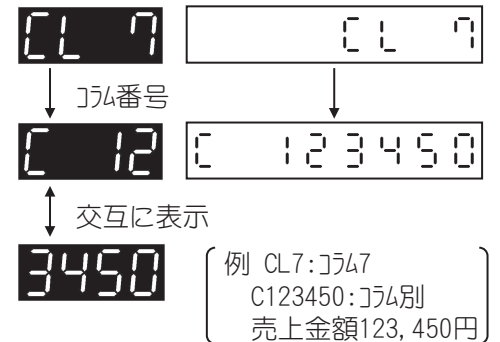
1 を2回押す。

トータル売上金額を表示します。デジタル表示器には売上金額の上位2桁, 下位4桁を交互に表示します。



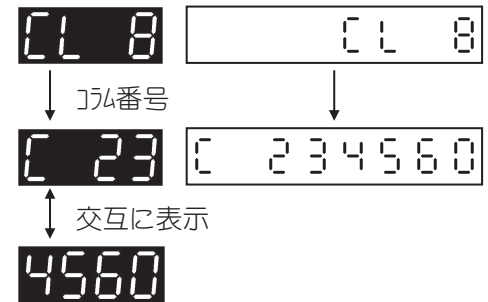
2 を押す。

押した選択ボタンに対応するコラム番号を表示し, 販売可能ランプが点灯します。コラム番号を表示後, 上位2桁, 下位4桁を交互に表示します。



3 () を押す。

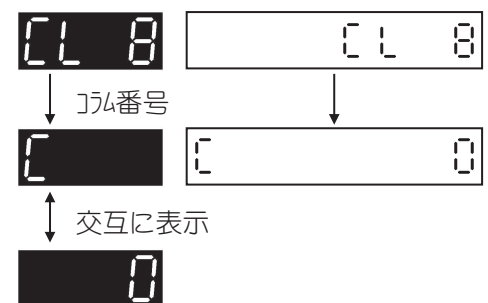
コラム番号が変わります。
押し続けると速く変わります。



■ 売上データをクリアする

4 を2秒以上押し続ける。

どのコラムを表示していても, トータル売上金額, 全てのコラムのコラム別売上金額をクリアします。



5 を押す。

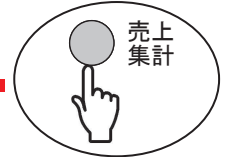
待機状態に戻ります。



補 足

- 表示範囲 0 ~ 999,999円
- 売上データをそのまま残すときは, 手順3の後, [終了] キーを押してください。
- 最後のコラムまで表示すると「End」を表示し, もう一度[アップ(ダウン)] キーを押すと, 最初または最後のコラム番号に戻ります。
- トータル売上金額, コラム別売上金額をクリアした場合, 同時にトータル売上個数, コラム別売上個数もクリアします。
- 金額が6桁を超えた場合は, 下6桁の金額を表示します。

トータル売上金額, コラム別売上金額の確認・クリア (コラム別売上操作可能のとき)



トータル売上金額, コラム別売上金額の確認・クリアをします。

1 を2回押す。

トータル売上金額を表示します。デジタル表示器には売上金額の上位2桁, 下位4桁を交互に表示します。

デジタル表示

リモコン液晶表示



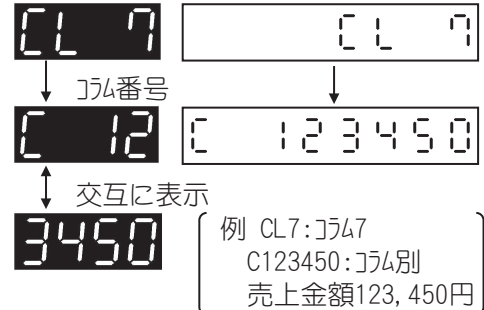
(1) を2秒以上押し続ける。

トータル売上金額がクリアされ, 同時にトータル売上個数もクリアします。(コラム別売上個数, 金額はクリアしません。)



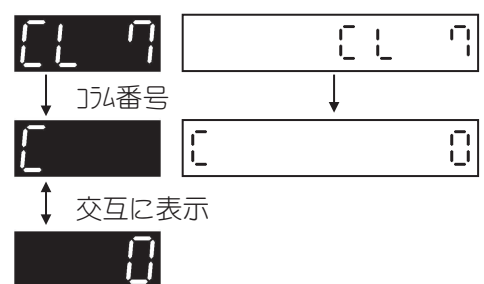
2 を押す。

押した選択ボタンに対応するコラム番号を表示し, 販売可能ランプが点灯します。コラム番号を表示後, 上位2桁, 下位4桁を交互に表示します。



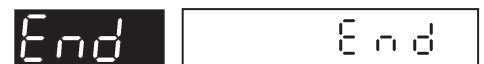
(2) を2秒以上押し続ける。

表示しているコラムのコラム別売上金額のみクリアします。同時に該当コラムのコラム別売上個数もクリアします。このとき, トータル売上個数, トータル売上金額はクリアしません。



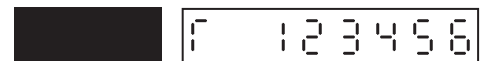
3 () を押す。

コラム番号が変わります。最後のコラムまで表示すると, 次に「End」を表示します。この表示中に【点検/クリア】キーを2秒以上押し続けると, 全てのコラムのコラム別売上金額をクリアします(全コラム一斉クリア)。同時に全てのコラム別売上個数もクリアします。このとき, トータル売上個数, 金額はクリアしません。



4 を押す。

待機状態に戻ります。



補 足

- 表示範囲 0～999,999円
- 売上データをそのまま残すときは, 【点検/クリア】キーを飛ばしてください。
- 最後のコラムまで表示すると「End」を表示し, もう一度【アップ(ダウン)】キーを押すと, 最初または最後のコラム番号に戻ります。
- トータル売上金額, コラム別売上金額の両方をクリアした場合, 同時にトータル売上個数, コラム別売上個数もクリアします。
- 金額が6桁を超えた場合は, 下6桁の金額を表示します。

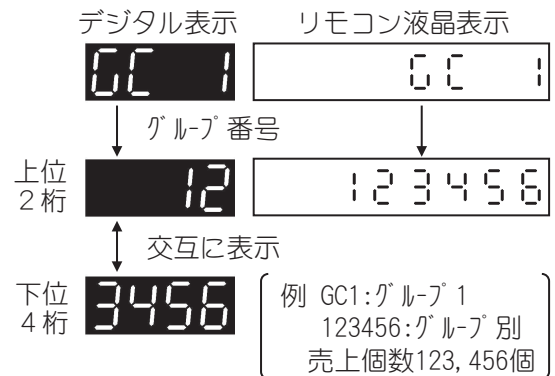
グループ別売上個数の確認・クリア



あらかじめコラムを指定して設定したグループの、グループ別売上個数の確認・クリアをします。

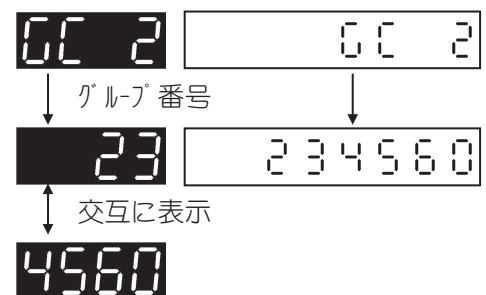
- 1** を3回押す。

グループ別売上個数を表示します。グループ番号を表示後、デジタル表示器には売上個数の上位2桁、下位4桁を交互に表示します。



- 2** () を押す。

グループ番号が変わります。押し続けると速く変わります。



■ 売上データをクリアする

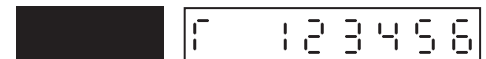
- 3** を2秒以上押し続ける。

どのグループ番号を表示していても、全てのグループのグループ別売上個数をクリアします。



- 4** を押す。

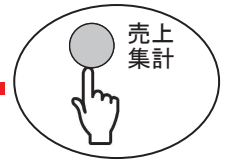
待機状態に戻ります。



補 足

- 表示範囲 0～999,999個
- 売上データをそのまま残すときは、手順2の後、【終了】キーを押してください。
- 最後のグループまで表示すると「E n d」を表示し、もう一度【アップ(ダウン)】キーを押すと、最初または最後のグループ番号に戻ります。
- グループ別売上個数をクリアした場合、同時にグループ別売上金額もクリアします。
- 個数が6桁を超えた場合は、下6桁の個数を表示します。

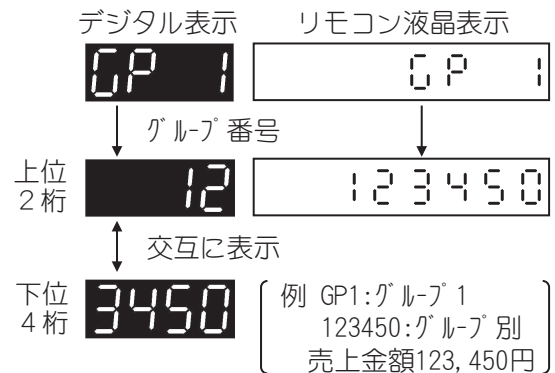
グループ別売上金額の確認・クリア



あらかじめコラムを指定して設定したグループの、グループ別売上金額の確認・クリアをします。

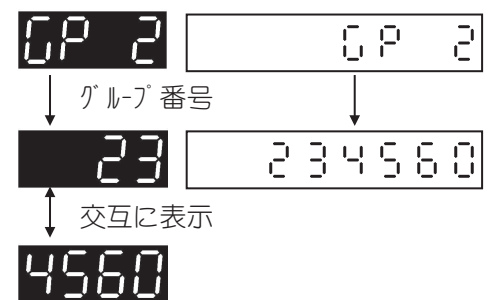
- 1**  を4回押す。

グループ別売上金額を表示します。グループ番号を表示後、デジタル表示器には売上金額の上位2桁、下位4桁を交互に表示します。



- 2**  () を押す。

グループ番号が変わります。押し続けると速く変わります。



■ 売上データをクリアする

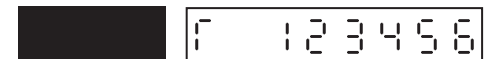
- 3**  を2秒以上押し続ける。

どのグループ番号を表示していても、全てのグループのグループ別売上金額をクリアします。



- 4**  を押す。

待機状態に戻ります。



補足

- 表示範囲 0～999,999円
- 売上データをそのまま残すときは、手順2の後、[終了]キーを押してください。
- 最後のグループまで表示すると「End」を表示し、もう一度[アップ(ダウン)]キーを押すと、最初または最後のグループ番号に戻ります。
- グループ別売上金額をクリアした場合、同時にグループ別売上個数もクリアします。
- 金額が6桁を超えた場合は、下6桁の金額を表示します。

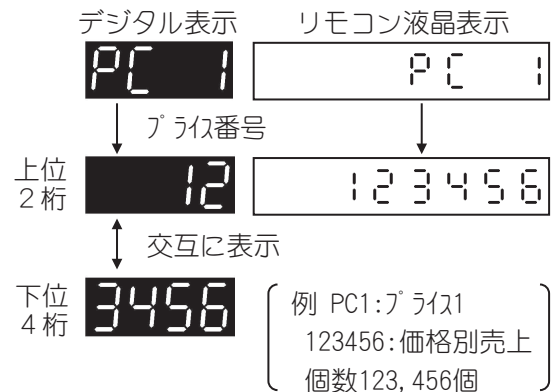
価格別売上個数の確認・クリア



あらかじめ設定した販売価格別の、売上個数の確認・クリアをします。

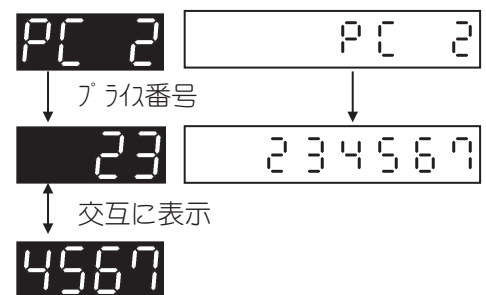
1 を5回押す。

価格別売上個数を表示します。プライス番号を表示後、デジタル表示器には売上個数の上位2桁、下位4桁を交互に表示します。



2 () を押す。

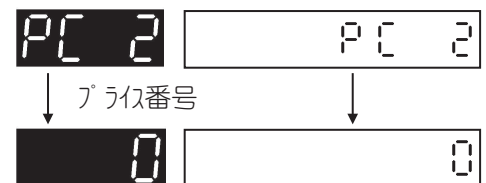
プライス番号が変わります。押し続けると速く変わります。



■ 売上データをクリアする

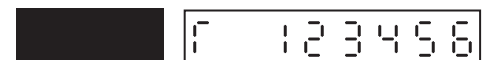
3 を2秒以上押し続ける。

どのプライス番号を表示していても、全ての価格の価格別売上個数をクリアします。



4 を押す。

待機状態に戻ります。



補 足

- 表示範囲 0～999,999個
- プライス番号は、販売価格のうち高額順にPC1, PC2, PC3……となります。
- 売上データをそのまま残すときは、手順2の後、[終了]キーを押してください。
- 最後のプライスまで表示すると「End」を表示し、もう一度[アップ(ダウ)]キーを押すと、最初または最後のプライス番号に戻ります。
- 価格別売上個数をクリアした場合、同時に価格別売上金額もクリアします。
- 個数が6桁を超えた場合は、下6桁の個数を表示します。

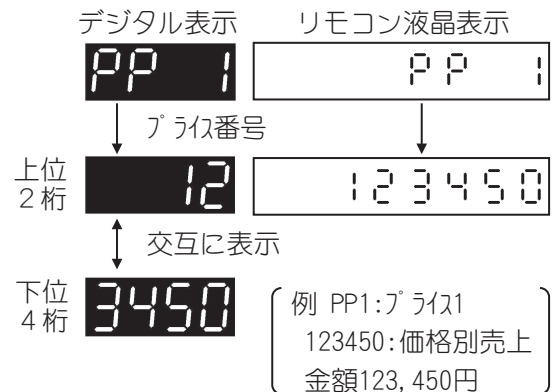
価格別売上金額の確認・クリア



あらかじめ設定した販売価格別の、売上金額の確認・クリアをします。

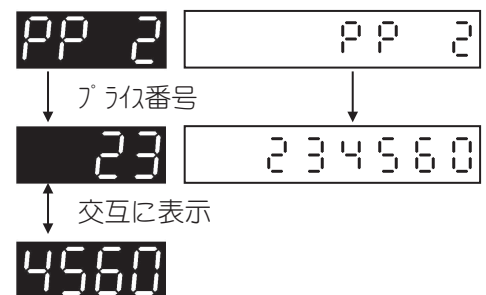
1 を6回押す。

価格別売上金額を表示します。プライス番号を表示後、デジタル表示器には売上金額の上位2桁、下位4桁を交互に表示します。



2 () を押す。

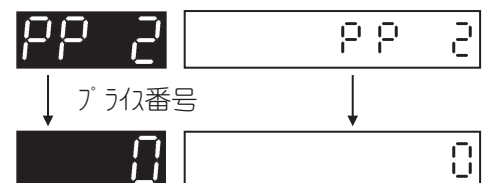
プライス番号が変わります。押し続けると速く変わります。



■ 売上データをクリアする

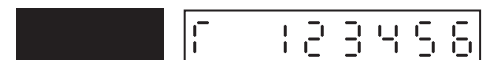
3 を2秒以上押し続ける。

どのプライス番号を表示していても、全ての価格の価格別売上金額をクリアします。



4 を押す。

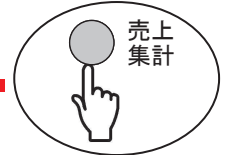
待機状態に戻ります。



補 足

- 表示範囲 0～999,999円
- プライス番号は、販売価格のうち高額順にPP1, PP2, PP3……となります。
- 売上データをそのまま残すときは、手順2の後、[終了]キーを押してください。
- 最後のプライスまで表示すると「End」を表示し、もう一度[アップ(ダウ)]キーを押すと、最初または最後のプライス番号に戻ります。
- 価格別売上金額をクリアした場合、同時に価格別売上個数もクリアします。
- 金額が6桁を超えた場合は、下6桁の金額を表示します。

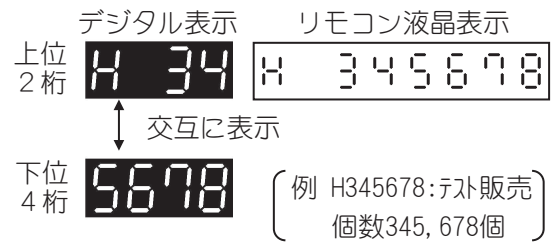
テスト販売個数の確認・クリア



テスト販売個数の確認・クリアをします。

- 1**  を7回押す。

テスト販売個数を表示します。デジタル表示器にはテスト販売個数の上位2桁、下位4桁を交互に表示します。



- 2**  を2秒以上押し続ける。

テスト販売個数をクリアします。



- 3**  を押す。

待機状態に戻ります。



補 足

- 表示範囲 0～999,999個
- 売上データをそのまま残すときは、手順1の後、【終了】キーを押してください。
- 個数が6桁を超えた場合は、下6桁の個数を表示します。

ルーレットで当たり販売された個数の確認・クリアをします。

● 上計 売集

点検
クリア

AC 0

↑ ↓ 交互に表示

0

● 終了

	1	2	3	4	5	6
--	---	---	---	---	---	---

1. 表示範囲 0～999,999個
2. ルーレット当たり個数データをそのまま残すときは、手順1の後、[終了]キーを押してください。
3. 個数が6桁を超えた場合は、下6桁の個数を表示します。
4. ルーレット当たり個数をクリアすると、ルーレット当たり金額もクリアします。

※ ルーレットを動作させるには、ルーレット当たり確率／コラムの設定（モード5-01）が必要になります。

売上集計

● 上計 売集

デジタル表示 リモコン液晶表示

上位
2桁 **AP78** **AP789560**

↑ ↓ 交互に表示

下位
4桁 **9560** 例 AP789560 : ル・レット
 当たり金額 789,560円

点検
クリア

↑ ↓ 交互に表示

● 終了

	1	2	3	4	5	6
--	---	---	---	---	---	---

1. 表示範囲 0～999,999円
2. ルーレット当たり金額データをそのまま残すときは、手順1の後、【終了】キーを押してください。
3. 金額が6桁を超えた場合は、下6桁の金額を表示します。
4. ルーレット当たり金額をクリアすると、ルーレット当たり個数もクリアします。

累計売上個数の確認



販売された累計売上個数の確認をします。

- 1** を12回押す。

累計売上個数を表示します。デジタル表示器には累計売上個数の上位2桁、下位4桁を交互に表示します。



- 2** を押す。

待機状態に戻ります。

補足

- 表示範囲 0～999,999個
- 個数が6桁を超えた場合は、下6桁の個数を表示します。

現金累計売上個数の確認



現金によって販売された累計売上個数の確認をします。

- 1** を13回押す。

現金累計売上個数を表示します。デジタル表示器には現金累計売上個数の上位2桁、下位4桁を交互に表示します。



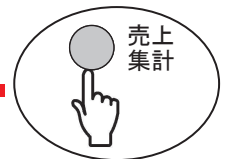
- 2** を押す。

待機状態に戻ります。

補足

- 表示範囲 0～999,999個
- 個数が6桁を超えた場合は、下6桁の個数を表示します。

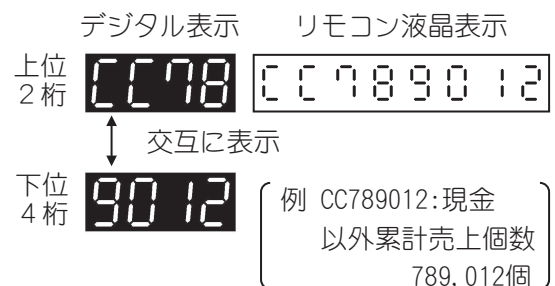
現金以外累計売上個数の確認



現金以外によって販売された累計売上個数の確認をします。

- 1** を14回押す。

現金以外累計売上個数を表示します。デジタル表示器には現金以外累計売上個数の上位2桁、下位4桁を交互に表示します。



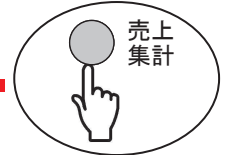
- 2** を押す。

待機状態に戻ります。

補足

- 表示範囲 0～999,999個
- 個数が6桁を超えた場合は、下6桁の個数を表示します。

累計売上金額の確認



販売された累計売上金額の確認をします。

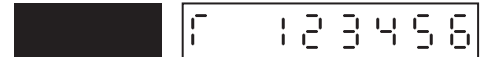
- 1** を15回押す。

累計売上金額を表示します。デジタル表示器には累計売上金額の上位2桁、下位4桁を交互に表示します。



- 2** を押す。

待機状態に戻ります。



補足

- 表示範囲 0～999,999円
- 金額が6桁を超えた場合は、下6桁の金額を表示します。

現金累計売上金額の確認



現金によって販売された累計売上金額の確認をします。

- 1** を16回押す。

現金累計売上金額を表示します。デジタル表示器には現金累計売上金額の上位2桁、下位4桁を交互に表示します。



- 2** を押す。

待機状態に戻ります。



補足

- 表示範囲 0～999,990円
- 金額が6桁を超えた場合は、下6桁の金額を表示します。

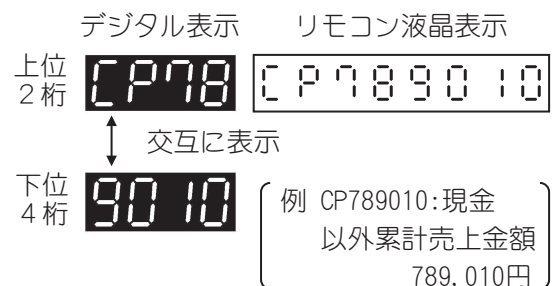
現金以外累計売上金額の確認



現金以外によって販売された累計売上金額の確認をします。

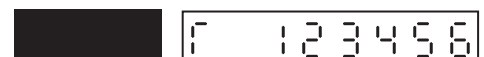
- 1** を17回押す。

現金以外累計売上金額を表示します。デジタル表示器には現金以外累計売上金額の上位2桁、下位4桁を交互に表示します。



- 2** を押す。

待機状態に戻ります。



補足

- 表示範囲 0～999,999円
- 金額が6桁を超えた場合は、下6桁の金額を表示します。

累計売上のオールクリア



累計売上関連のデータを全てクリアにします。

1 を12～17回押す。

下記のいずれかの売上を表示します。

- ・累計売上個数・現金累計売上個数
- ・現金以外累計売上個数
- ・累計売上金額・現金累計売上金額
- ・現金以外累計売上金額



2 を長いブザー音が2回鳴り終わるまで(約6秒間)押し続ける。

下記の累計売上データをすべてクリアします。

- ・累計売上個数・現金累計売上個数
- ・現金以外累計売上個数
- ・累計売上金額・現金累計売上金額
- ・現金以外累計売上金額



3 を押す。

待機状態に戻ります。



販売休止時間A／コラムの設定・確認



販売休止時間A／コラムの設定・確認をします。

1  を押す。

販売休止時間A／コラムの設定項目になります。
前回設定したデータを表示します。

デジタル表示

H1 2

リモコン液晶表示

H 1 2

(例 H1 2:販売休止時間A 2時間)

2  アップ  ダウン を押す。

時間を変更します。押し続けると速く変わります。

H1 1

(例 H1 1:販売休止時間A 1時間)

3  書込み を押す。

時間を確定します。

H1 1

4  選択ボタン を押す。

販売可能ランプと売切ランプが消灯している選択ボタンを押すと、販売可能ランプと売切ランプが点灯し、そのコラムは対象コラムに設定されます。
逆に販売可能ランプと売切ランプが点灯している選択ボタンを押すと、販売可能ランプと売切ランプが消灯し、そのコラムは対象コラムから外れます。

H1 1



: 点灯 (設定)



: 消灯 (設定解除)

5  終了 を押す。

待機状態に戻ります。

1 2 3 4 5 6

※ : 点滅表示

補 足

- 手順5の後、販売休止時間Aが開始します。
- 販売休止時間とコラムの両方を設定してください。
販売休止時間が0または、設定コラムがない場合は、販売休止Aは行いません。
- 現在の内容を確認するときには、手順2～4を行わずに〔終了〕キーを押してください。
手順1の状態では現在販売停止中のコラムの選択ボタンの販売可能ランプが点灯します。

全コラム販売休止モードの設定・確認



全コラムの販売休止の自動設定・確認を行います。

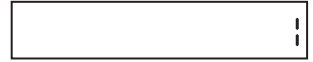
- 1** **販売休止** を2回押す。

全コラム販売休止モードの設定項目になります。
前回設定したデータを表示します。

デジタル表示



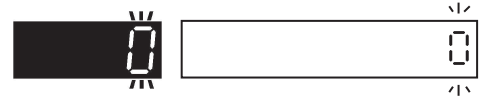
リモコン液晶表示



(例 1:自動設定しない)

- 2** **アップ** (**ダウン**) を押す。

データを変更します。押し続けると速く変わります。



(例 0:自動設定する)

- 3** **書込み** を押す。

データを確定します。



- 4** **終了** を押す。

待機状態に戻ります。



※：点滅表示

補 足

- 現在の内容を確認するときは、手順2、3を行わずに【終了】キーを押してください。
- 設定範囲 全コラムの販売休止を 0：自動設定をする
1：自動設定しない
- 「0：自動設定する」に設定すると動作対象は全コラムとなり、販売休止Aで設定された時間が販売休止時間となります。
- 本設定が行われていた場合、売切から売切解除したとき、自動的に販売休止になります。

販売休止時間B／コラムの設定・確認



販売休止時間B／コラムの設定・確認をします。

- 1**  を3回押す。

販売休止時間B／コラムの設定項目になります。
前回設定したデータを表示します。

デジタル表示

H2 2

リモコン液晶表示

H2 2

(例 H2 2:販売休止時間B 2時間)

- 2**  アップ  ダウン を押す。

時間を変更します。押し続けると速く変わります。

H2 4

H2 4

(例 H2 4:販売休止時間B 4時間)

- 3**  書込み を押す。

時間を確定します。

H2 4

H2 4

- 4**  選択ボタン を押す。

販売可能ランプと売切ランプが消灯している選択ボタンを押すと、販売可能ランプと売切ランプが点灯し、そのコラムは対象コラムに設定されます。
逆に販売可能ランプと売切ランプが点灯している選択ボタンを押すと、販売可能ランプと売切ランプが消灯し、そのコラムは対象コラムから外れます。



: 点灯 (設定)



: 消灯 (設定解除)

- 5**  終了 を押す。

待機状態に戻ります。



1 2 3 4 5 6

※ : 点滅表示

補 足

- 手順5の後、販売休止時間Bが開始します。
- 販売休止時間とコラムの両方を設定してください。
販売休止時間が0または、設定コラムがない場合は、販売休止Bは行いません。
- 現在の内容を確認するときには、手順2～4を行わずに〔終了〕キーを押してください。
手順1の状態では現在販売停止中のコラムの選択ボタンの販売可能ランプが点灯します。

販売休止時間C／コラムの設定・確認



販売休止時間C／コラムの設定・確認をします。

- 1**  を4回押す。

販売休止時間C／コラムの設定項目になります。
前回設定したデータを表示します。

デジタル表示

H3 2

リモコン液晶表示

H3 2

(例 H3 2:販売休止時間C 2時間)

- 2**  アップ  ダウン を押す。

時間を変更します。押し続けると速く変わります。

H3 5

H3 5

(例 H3 5:販売休止時間C 5時間)

- 3**  書込み を押す。

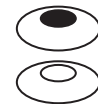
時間を確定します。

H3 5

H3 5

- 4**  選択ボタン を押す。

販売可能ランプと売切ランプが消灯している選択ボタンを押すと、販売可能ランプと売切ランプが点灯し、そのコラムは対象コラムに設定されます。
逆に販売可能ランプと売切ランプが点灯している選択ボタンを押すと、販売可能ランプと売切ランプが消灯し、そのコラムは対象コラムから外れます。



: 点灯 (設定)



: 消灯 (設定解除)

- 5**  終了 を押す。

待機状態に戻ります。

[

123456

※ : 点滅表示

補 足

- 手順5の後、販売休止時間Cが開始します。
- 販売休止時間とコラムの両方を設定してください。
販売休止時間が0または、設定コラムがない場合は、販売休止Cは行いません。
- 現在の内容を確認するときには、手順2～4を行わずに【終了】キーを押してください。
手順1の状態では現在販売停止中のコラムの選択ボタンの販売可能ランプが点灯します。

ヘルスコード有効コラムの設定・確認



冷蔵保存の商品（パック牛乳など）を停電等により冷蔵保存できなかった場合、（10℃以上の状態が1時間以上継続）商品の販売を停止させるコラムの設定・確認をします。

1

販売
休止

を5回押す。

ヘルスコード有効コラムの設定項目になります。
ヘルスコード有効コラムの販売可能ランプが点灯
します。

デジタル表示

HE

リモコン液晶表示

HE

2

選択ボタン

を押す。

ヘルスコード有効コラムに設定したいコラムの選
択ボタンを押すと、販売可能ランプが点灯します。
ヘルスコード有効を解除したいコラムの選択ボタ
ンを押すと、販売可能ランプが消灯します。

HE

HE



：点灯（設定）



：消灯（設定解除）

3

終了

を押す。

待機状態に戻ります。

123456

補 足

1. サーペンラック搭載コラムは、ヘルスコードを設定できません。また、機種によっては直積ラックでも設定できないコラムがあります。（要冷蔵商品が販売できない仕様の場合）

交互販売コラムの設定・確認



交互販売したいコラムの設定・確認をします。

交互販売とは、あらかじめ設定した同一商品を販売する複数コラムでそれぞれのコラムに割り付けられた選択ボタンのどれかを押すと、順番に商品を払い出す機能をいいます。

デジタル表示

リモコン液晶表示

1



を押す。

Gr 1

Gr 1

交互販売の設定項目になります。交互販売グループ1を表示し、現在そのグループに設定されているコラムの販売可能ランプが点灯します。

2



を押す。

Gr 1

Gr 1

販売可能ランプが消灯している選択ボタンを押すと、販売可能ランプが点灯し、対応するコラムが現在表示しているグループに設定されます。逆に販売可能ランプが点灯している選択ボタンを押すと、販売可能ランプが消灯し、そのコラムの交互販売を解除します。



：点灯（設定）



：消灯（設定解除）

3



（ ダウン  ）を押す。

Gr 2

Gr 2

グループを変更します。押し続けると速く変わります。

（例 Gr2:グループ 2）

グループの最後まで表示した時

End

End

4



を2秒以上押し続ける。

Gr 2

Gr 2

どのグループを表示していても、交互販売設定中に【点検／クリア】キーを2秒以上押し続けると、全ての交互販売をクリアします。

5



を押す。

1 2 3 4 5 6

待機状態に戻ります。

補 足

1. 最後（最初）のグループまで表示すると「End」を表示し、もう一度【アップ(ダウン)】キーを押すと、最初（最後）のグループ番号に戻ります。
2. 1つのコラムは複数の交互販売グループには設定できません。
3. 価格の異なるコラムを同一グループに設定することはできません。
4. 確認のみ行う場合は、手順2を飛ばしてください。このとき、デジタルに表示されているグループに該当するコラムの選択ボタンの販売可能ランプが点灯します。
5. 交互販売を全グループともクリアするときのみ手順4を行ってください。

コラムーセレクション配線の設定・確認



コラムと選択ボタン（セレクション）の対応を設定します。
 コラムーセレクション配線とは、選択ボタンを押すとどのコラムが動作するかに関連付けをすることをいいます。

1  を押す。

コラムーセレクション配線の設定項目になります。
 コラム番号 1 が表示され、現在対応している選択ボタンの販売可能ランプが点灯します。

デジタル表示

CL 1

リモコン液晶表示

CL 1

2  を押す。

販売可能ランプが消灯している選択ボタンを押すと販売可能ランプが点灯し、対応するコラムが現在表示しているコラムに設定されます。逆に販売可能ランプが点灯している選択ボタンを押すと、販売可能ランプが消灯し、設定を解除します。売切ランプが点滅します。

CL 1

CL 1

(例 CL1:コラム1)



：点灯（設定）



：消灯（設定解除）

3  アップ  ダウン を押す。

コラム番号を変更することができます。
 押し続けると速く変わります。

CL 2

CL 2

4  終了 を押す。

待機状態に戻ります。

1 2 3 4 5 6

補 足

- 別のコラム番号を設定するときは、手順 2，3 を繰り返し操作してください。
- コラムーセレクション配線の設定項目になった状態で売切ランプが点滅している選択ボタンはどのコラムにも設定されません。
- 手順 3 で最後（最初）のコラムまで表示すると「E n d」を表示し、もう一度【アップ(ダウン)】キーを押すと、最初（最後）のコラム番号に戻ります。
- 確認を行う場合は、手順 2 を飛ばしてください。このとき、表示されているコラム番号に対応する選択ボタンの販売可能ランプが点灯します。

コラムーセレクション配線の出荷時設定戻し



コラムと選択ボタン（セレクション）の対応を出荷時の設定に戻します。

1



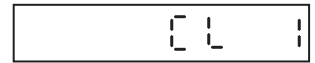
を押す。

コラムーセレクション配線の設定項目になり，コラム 1 を表示します。現在コラム 1 に関連付け設定されている選択ボタンの販売可能ランプが点灯します。

デジタル表示



リモコン液晶表示



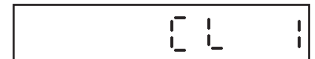
(例 CL1:コラム1)

2



を 2 秒以上押し続ける。

現在設定されているパターンのコラムーセレクション配線の内容が出荷時の状態に戻り，交互販売の設定データをクリアします。

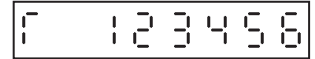


3



を押す。

待機状態に戻ります。



補 足

1. コラムーセレクション配線は「パターン 1」「パターン 2」「パターン 3」「パターン 4」「出荷時パターン」の 5 つのパターンがあり，通常はパターン 1， 2， 3， 4 を季節毎に切り換える等してお使いください。
2. パターン切換はモード 1 - 0 1 項目で行います。
このうち，「出荷時パターン」に切り換える時だけは，暗証番号が必要になります。
3. 本操作（プリセット&クリア）は現在使用しているコラムーセレクション配線のパターンに「出荷時パターン」を書き込み，交互販売データをクリアする操作です。
(例えば，現在パターン 1 を使用中であれば，パターン 1 の設定の内容が「出荷時パターン」と同じ設定の内容に書き換わります。)

現金価格の設定・確認



現金価格を設定・確認します。

1  **価格設定** を押す。

現金価格の設定項目になります。最初に価格 1 2 0 円を表示します。

デジタル表示

120

リモコン液晶表示

120

2  **アップ** ( **ダウン**) を押す。

価格を変更します。押し続けると速く変わります。

130

130

(例 130:販売価格 130円)

3  **選択ボタン** を押す。

販売可能ランプが消灯している選択ボタンを押すと、販売可能ランプが点灯し、そのコラムは現在の価格に設定されます。

130

130

 : 点灯 (設定)

 : 消灯 (未設定)

4  **終了** を押す。

待機状態に戻ります。

123456

補 足

1. 現在の内容を確認するときは、手順 3 を飛ばしてください。
2. 手順 3 で複数の選択ボタンを押すと同一価格に設定することができます。
3. 続けて別の価格に設定するときは、手順 2, 3 を繰り返してください。
4. 設定範囲 0 ~ 9, 9 9 0 円 1 0 円単位

プライス別カウンタの集計対象となる価格を設定します。

- 価格設定

「CnT1」はカウンタ1を示します。「CnT1」の価格を設定する場合は〔書込み〕キーを、別のカウンタの設定をする場合は〔アップ(ダウン)〕キーを押します。

Car

-  アップ

Car 2

- 書込み

0

0

例 0 : CnT2(デジタル) 0円
設定なし

- ▲ アップ

120

- 書込み

Can 3

- 終 了

114

7	3456
---	------

※：点滅表示

↑

┌ End ┤ ← ┤ CnT0 ┤ ← ... ← ┤ CnT6 ┤

↓

- ↑

↑
「E n d」 ← … ← 「カマ3の設定価格」 ↓

5. 手順3, 4の状態を選択ボタンを押すと、該当するコラムの価格(現金価格)をデジタルに表示します。
 [アップ(ダウン)]キーによる価格選択の他に、選択ボタンからの価格選択も可能です。選択ボタンを押しても販売可能ランプ、売切ランプの点灯・点滅は行わず、デジタル表示のみ変化します。

現在故障の確認



現在故障している箇所を故障コードで表示します。

1 **点検クリア** を押す。

故障がある場合は、故障コードを表示します。
故障がない場合は、「E n d」を表示します。

2 **△ アップ** (**ダウ ン ▽**) を押す。

「アップ」キーを押すと、次の故障コードを表示します。「ダウン」キーを押すと戻ります。
全ての故障コードを表示すると、「E n d」を表示します。

3 **終了** を押す。

待機状態に戻ります。

デジタル表示

10

リモコン液晶表示

10

故障コード表示

51

51

(例 51:故障コード 51)

1 2 3 4 5 6

補 足

- 故障修理後、故障前の状態に復帰している場合は、故障コードは自動クリアします。
- 最大表示件数は 16 件

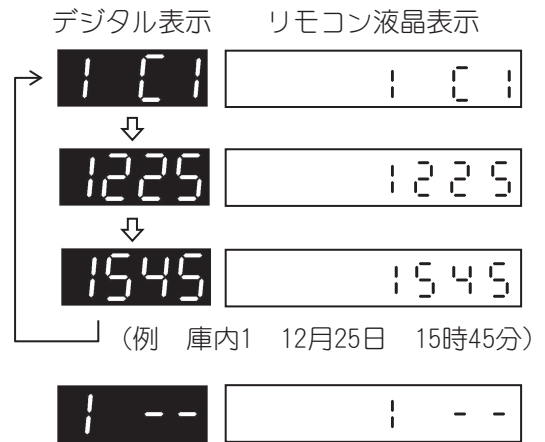
ヘルスコード動作日時の確認



過去3件分のヘルスコード動作（9℃以下に冷えていたC o l d庫内が1時間以上10℃以上になった場合）した日時が確認できます。

1  を2回押す。

最新のヘルスコード動作日時を表示します。

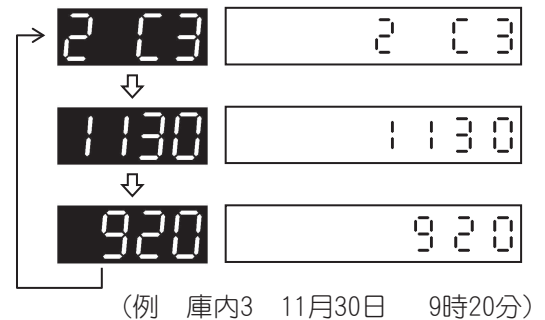


(ヘルスコード動作無し時)

2  アップ  を押す。

【アップ】キーを押すと、過去2回目のヘルスコード動作日時を表示します。

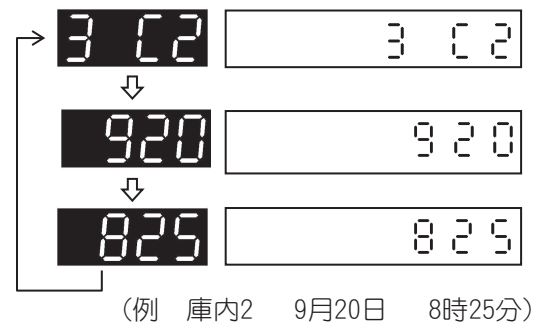
【ダウン】キーを押すと、戻ります。



3  アップ  を押す。

【アップ】キーを押すと、過去3回目のヘルスコード動作日時を表示します。

【ダウン】キーを押すと、戻ります。



4  終了 を押す。

待機状態に戻ります。

補 足

1. 設定範囲

庫内番号：1～4

動作月日：1月1日～12月31日

動作時分：0時00分～23時59分

2. ヘルスコード動作日時確認後は、クリア操作にて必ず故障コードをクリアしてください。

異常データの確認



商品搬出機構に関する異常が発生したときの故障コードと発生月日・時分を表示します。

- 1**  を3回押す。

異常発生時のコラム確認モードに入ります。

- 2**  アップ  ダウン を押す。

【アップ】キーを押すと、最新の故障コードを表示します。【ダウン】キーを押すと、戻ります。
該当コラムの売切ランプが点灯します。

- 3**  アップ  ダウン を押す。

【アップ】キーを押すと、最新の故障コードから1件前の故障コードを表示します。

- 4**  書込み を押す。

表示している異常データのコード番号と発生月日と発生時分、「End」を順次、表示します。

- 5**  終了 を押す。

待機状態に戻ります。

デジタル表示

リモコン液晶表示

33

33

2441

2441

2443

2443

2443

2443

⇩ コード番号

1013

1013

⇩ 月日

1433

1433

⇩ 時分

End

End

「 123456

補 足

- 記憶件数が10件以上無い場合は、記憶している件数分の故障コードを表示して、最後に「End」表示します。
- 記憶件数がない（0件）場合は、「End」表示します。

販売異常発生時の返金履歴の確認



販売時に故障が発生し、現金による返金を行った履歴を確認します。

1



を5回押す。

デジタル表示

35

リモコン液晶表示

35

販売異常発生時の返金履歴の確認項目になります。

2



を押す。

150

150

【アップ】キーを押すと、最新の返金された金額を表示します。

（【ダウン】キーを押すと元に戻ります）

この時、該当販売コラムの売切れランプが点滅表示します。

記憶件数がない場合は、「End」を表示します。

3



を押す。

120

120

【アップ】キーを押すと、2番目に新しい返金された金額を表示します。

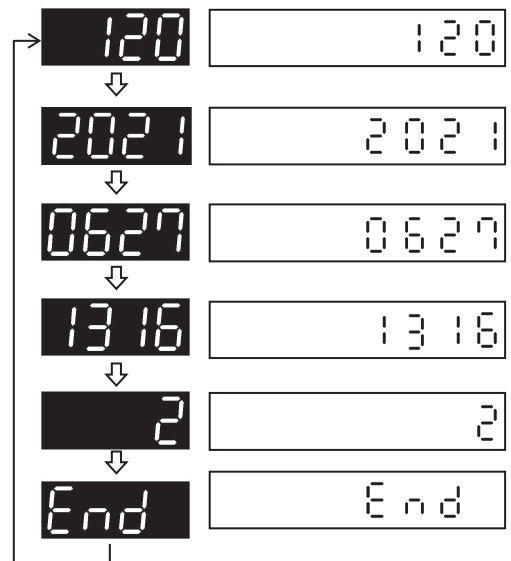
4



を押す。

手順3で表示していた返金額と発生した年月日と販売形態をオルタネート表示します。

（例：2021年6月27日13時16分に120円の返金が行われた。販売形態は電子マネー）



5



を押す。

0

0

【アップ】キーを押すと、次に新しい返金額が表示されます。

販売異常発生時の返金履歴の確認

6

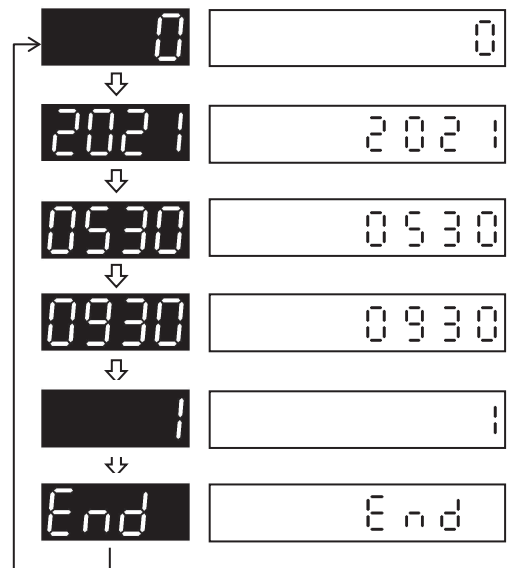


書込み

を押す。

手順5で表示していた返金額と発生した年月日と販売形態をオルタネート表示します。

(例：現金による販売時、2021年5月30日9時30分に販売故障が発生し未返金)



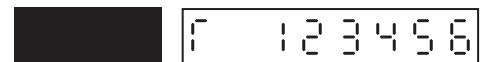
7



終了

を押す。

待機状態に戻ります。



補足

1. 設定範囲 最大10件
2. 返金発生コラム：1～64（最大）
返金額：0～9,999円
返金発生年：2000～2999年
返金発生日：1～12月，1～31日
返金発生時刻：0～23時，0～59分
販売形態：1. 現金販売 2. 電子マネー（シングル・マルチ）
3. 本項目は、DCメック・SSYラック以外の販売メカが1つでも存在する場合は、非表示とします。
4. 返金履歴に記憶する条件
 - ・電子マネー販売時に販売故障が発生した場合
 - ・販売異常発生時の返金設定で、現金販売の設定が「0：しない」に設定されていて、現金販売にて販売故障が発生した場合
5. 電子マネー販売にて返金を行う条件は下記の通りです。
 - ・販売異常発生時の返金設定で、電子マネーの設定が「1：する」に設定されている
 - ・現金価格＝カード価格（ブランド価格）の場合
 - ・つり銭切れでない
6. モバイル販売による販売時に販売故障が発生した場合は、本項目に記憶されます。
4の条件に当てはまらなかった場合と現金販売の場合は、返金額が0円と表示されます。

販売異常発生時の返金履歴のクリア



販売時に故障が発生し、現金による返金を行った履歴をクリアします。

1



を6回押す。

デジタル表示

36

リモコン液晶表示

36

販売異常発生時の返金履歴のクリア項目になります。

2



を2秒以上押し続ける。

0

0

返金履歴が全てクリアされます。

3



を押す。

1 2 3 4 5 6

待機状態に戻ります。

補 足

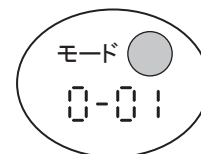
1. 本項目は、DCメック・SSYラック以外の販売メカが1つでも存在する場合は非表示とします。

3

モードキー操作(統一モード)

ここでは、統一モードについて操作の説明をします。

売行き判断キャンセル操作



加温管理機能のデータ計算をキャンセルします。

本操作は、モード3-09「加温管理機能動作モードの設定・確認」で「1:売行き不調時補給数固定方式」に設定した場合に行う操作です。商品の補充以外の目的で内扉の開閉操作をするときに、この操作を行います。

1



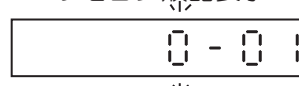
を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示



リモコン液晶表示



2



を押す。

モード番号0を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。

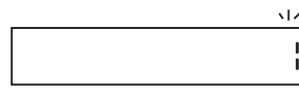


3



を押す。

サブ番号が点滅します。

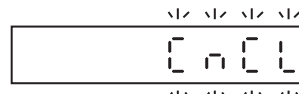


4



を押す。

サブ番号1が選択され、売行き判断キャンセル操作モードになります。

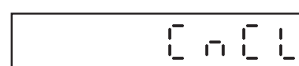


5



を押す。

「CnCL」が点滅表示している間にキーを押すと今回の売行き判断がキャンセルされ、前の判断状態に戻ります。

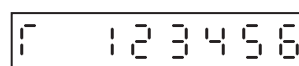


6



を押す。

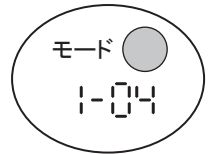
待機状態に戻ります。



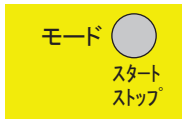
※：点滅表示

グループ集計コラムの設定・確認

販売価格別や販売商品毎による販売集計をするためにコラムをグループ設定します。



1



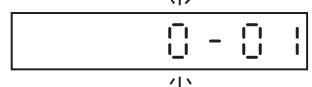
を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示



リモコン液晶表示

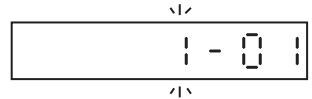


2



を押す。

モード番号を 1 にします。押し続けると速く変わります。

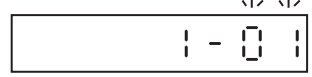


3



を押す。

手順 2 で選択したモード番号 1 を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。

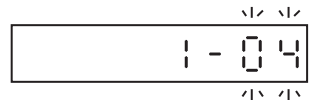


4



を押す。

項目番号を 4 にします。

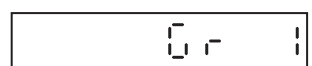


5



を押す。

グループ集計コラムの設定項目になり、グループ番号
1 を表示します。
モードに入ったときの始めの表示は常に「Gr 1」
を表示します。

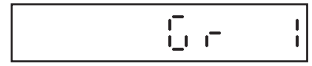


6



を押す。

販売可能ランプが消灯している選択ボタンを押すと、
販売可能ランプが点灯し、対応するコラムが現在表示
しているグループに設定されます。逆に販売可能ラン
プが点灯している選択ボタンを押すと、販売可能ラン
プが消灯し、設定を解除します。



：点灯（設定）



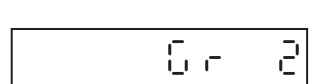
：消灯（設定解除）

7



を押す。

グループ番号を変更します。



8



を押す。

待機状態に戻ります。



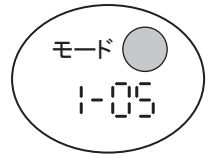
※：点滅表示

グループ集計コラムの設定・確認

補 足

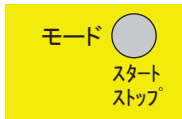
1. 設定範囲 Gr 1～10：1～10グループ 任意コラム
2. 最後（最初）のグループまで表示すると「E n d」を表示し、もう一度【アップ(ダウン)】キーを押すと、最初（最後）のグループ番号に戻ります。
3. 確認のみ行う場合は、手順6を飛ばしてください。
その際、デジタルに表示しているグループ番号に該当する選択ボタンの販売可能ランプが点灯します。
4. 交互販売グループに設定されているコラムをグループ集計コラムに設定した場合、同一の交互販売グループ内のコラム全てをグループ集計コラムにしてください。
(交互販売設定とは連動しない)
また、交互販売設定を変更しても、売上集計グループには影響しません。(設定内容を変更しない)

つづけ買い個数の設定・確認



一回の投入金に対して連続購入できる商品の個数を設定します。

1



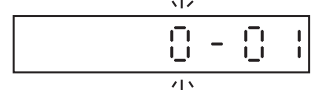
を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示



リモコン液晶表示

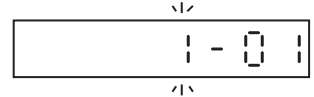


2



を押す。

モード番号を 1 にします。押し続けると速く変わります。

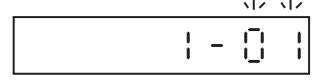


3



を押す。

手順 2 で選択したモード番号 1 を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。

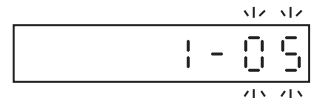


4



を押す。

項目番号を 5 にします。

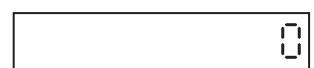


5



を押す。

つづけ買い個数の設定項目になり、現在設定されている
つづけ買い個数を表示します。



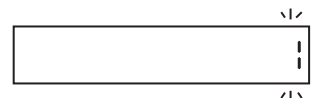
(例 0:無制限)

6



を押す。

つづけ買い個数を変更します。



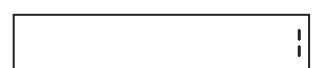
(例 1:1個)

7



を押す。

つづけ買い個数を確定します。

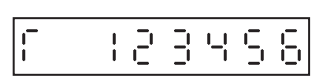


8



を押す。

待機状態に戻ります。

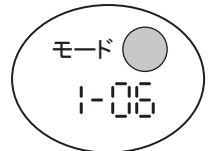


※：点滅表示

補 足

1. 設定範囲 0：無制限
 1～9：1～9個

交互販売コラムの設定・確認



交互販売するコラムの設定・確認をします。

交互販売とは、あらかじめ設定した同一商品を販売する複数コラムでそれぞれのコラムに割り付けられた選択ボタンのどれかを押すと、順番に商品を払い出す機能をいいます。

- 1**  を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示: 0-01 リモコン液晶表示: 0-01
- 2**  アップ ( ダウン) を押す。
モード番号を 1 にします。押し続けると速く変わります。

デジタル表示: 1-01 リモコン液晶表示: 1-01
- 3**  書込み を押す。
手順 2 で選択したモード番号 1 を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示: 1-01 リモコン液晶表示: 1-01
- 4**  アップ ( ダウン) を押す。
項目番号を 6 にします。

デジタル表示: 1-06 リモコン液晶表示: 1-06
- 5**  書込み を押す。
交互販売コラムの設定項目になり、交互販売グループ 1 を表示します。そのグループに設定されているコラムの販売可能ランプが点灯します。

デジタル表示: Gr 1 リモコン液晶表示: Gr 1

 : 点灯
- 6**  選択ボタン を押す。
販売可能ランプが消灯している選択ボタンを押すと、販売可能ランプが点灯し、対応するコラムが現在表示しているグループに設定されます。逆に販売可能ランプが点灯している選択ボタンを押すと、販売可能ランプが消灯し、設定を解除します。
同一グループに複数の選択ボタンを設定できます。

デジタル表示: Gr 1 リモコン液晶表示: Gr 1

 : 点灯 (設定)
 : 消灯 (設定解除)
- 7**  アップ ( ダウン) を押す。
グループを変更します。

デジタル表示: Gr 2 リモコン液晶表示: Gr 2

(例 Gr2:グループ 2)

■ 全ての交互販売設定をクリアするとき

- 8**  点検クリア を 2 秒以上押し続ける。

デジタル表示: Gr 2 リモコン液晶表示: Gr 2

いずれのグループ表示中であっても、交互販売設定中に [点検/クリア] キーを 2 秒以上押し続けると、全ての交互販売設定をクリアします。

※ : 点滅表示

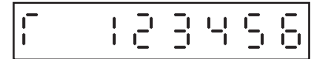
交互販売コラムの設定・確認

9



終了

を押す。

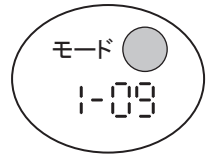


待機状態に戻ります。

補 足

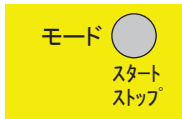
1. 設定範囲 Gr 1～Gr 30 : 1～30グループ 任意コラム
2. 最後（最初）のグループまで表示すると「E n d」を表示し、もう一度【アップ(ダウン)】キーを押すと、最初（最後）のグループ番号に戻ります。
3. 1つのコラムは複数の交互販売グループには設定できません。
4. 価格の異なるコラムを同一のグループに設定できません。
5. 確認のみ行う場合は、手順6を飛ばしてください。このとき、デジタルに表示されているグループに該当するコラムの選択ボタンの販売可能ランプが点灯します。
6. 交互販売を全グループともクリアするときのみ手順8を行ってください。
7. 手順5～7の状態で【点検／クリア】キーを2秒以上押し続けると、全ての交互販売設定をクリアします。

満杯収容数の設定・確認



各ラック毎に商品を詰めることができる満杯収容数を設定・確認します。

1



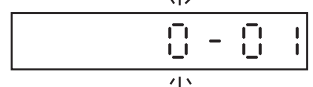
を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示



リモコン液晶表示

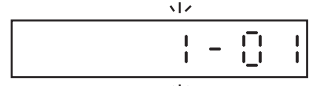


2



を押す。

モード番号を 1 にします。押し続けると速く変わります。

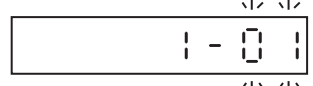


3



を押す。

手順 2 で選択したモード番号 1 を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。

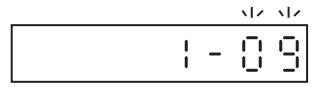


4



を押す。

項目番号を 9 にします。

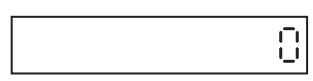


5



を押す。

満杯収容数の設定項目になり、「0」を表示します。



6



を押す。

満杯収容数を入力します。



7



を押す。

販売可能ランプが消灯している選択ボタンを押すと、
販売可能ランプが点灯し、対応するコラムが現在表示
している満杯収容数に設定されます。



：点灯（設定）



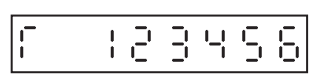
：消灯（未設定）

8



を押す。

待機状態に戻ります。



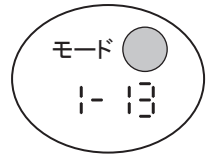
※：点滅表示

補 足

1. 設定範囲 0～9 9 9 個

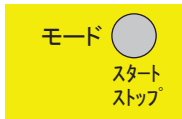
2. 続けて別の個数を設定するときは、手順 6，7 を繰り返してください。

自動返金時間の設定・確認



釣銭が販売価格以上の場合、販売後釣銭を返金するまでの時間を設定・確認します。

1



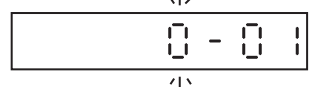
を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示



リモコン液晶表示

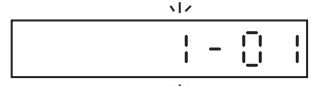


2



を押す。

モード番号を 1 にします。押し続けると速く変わります。

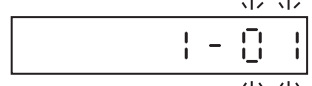


3



を押す。

手順 2 で選択したモード番号 1 を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。

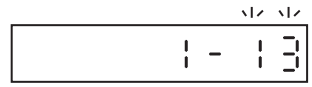


4



を押す。

項目番号を 1 3 にします。

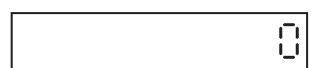


5



を押す。

自動返金時間の設定項目になり、現在設定されている
返金時間を表示します。



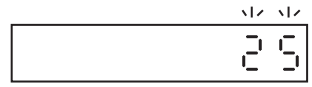
(例 0:無制限)

6



を押す。

自動返金時間を変更します。



(例 25:25秒)

7



を押す。

自動返金時間を確定します。



8



を押す。

待機状態に戻ります。

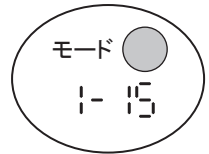


※：点滅表示

補 足

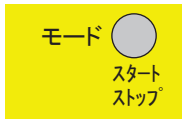
1. 設定範囲 0：無制限
 1～30：1～30秒

過去故障の確認・クリア



過去の故障コードの確認・クリアをします。

1



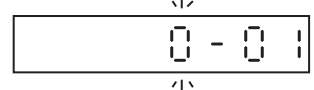
を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示



リモコン液晶表示

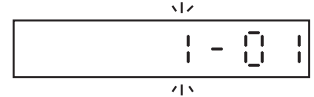


2



を押す。

モード番号を 1 にします。押し続けると速く変わります。

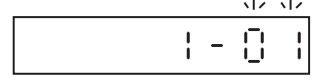


3



を押す。

手順 2 で選択したモード番号 1 を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。

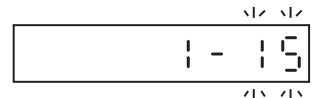


4



を押す。

項目番号を 1 5 にします。

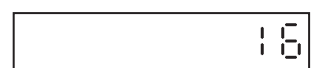


5



を押す。

過去故障の確認項目になり、発生した故障コードを
表示します。



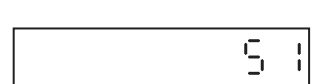
(例 16:故障コード 16)

6



を押す。

次の故障コードを表示します。



(例 51:故障コード 51)

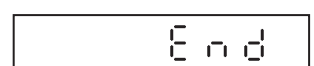
■ 過去故障データをクリアする

7



を 2 秒以上押し続ける。

全ての過去故障データをクリアします。

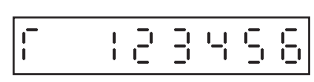


8



を押す。

待機状態に戻ります。

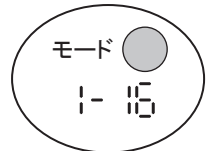


※：点滅表示

補 足

1. 最大表示数 16 件まで
2. 手順 6 で最後の故障コードまで表示すると「End」を表示し、もう一度【アップ(ダウン)】キーを押すと、最初(最後)の故障コードに戻ります。

補給数リセット操作



補給数のデータをリセットします。

- 1** **モード** (スタート/ストップ) を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。
- 2** **アップ** (△) (**ダウン** (▽)) を押す。

モード番号を 1 にします。押し続けると速く変わります。
- 3** **書込み** (●) を押す。

手順 2 で選択したモード番号 1 を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。
- 4** **アップ** (△) (**ダウン** (▽)) を押す。

項目番号を 16 にします。
- 5** **書込み** (●) を押す。

補給数リセットの設定項目になります。
- 6** **アップ** (△) (**ダウン** (▽)) を押す。

コラム 1 とその補給数を交互に表示します。
コラム 1 に対応する選択ボタンの販売可能ランプが点灯します。
- 7** **点検クリア** (●) を 2 秒以上押し続ける。

コラム 1 の補給数をクリアします。
- 8** **終了** (●) を押す。

待機状態に戻ります。

デジタル表示 リモコン液晶表示

0-01 0-01

1-01 1-01

1-01 1-01

1-16 1-16

- -

CL1 CL1

↑ 交互に表示 ↓

10 10

〔 例 CL1: コラム 1
10: 補給数 10個 〕

○ : 点灯

CL1 CL1

↑ 交互に表示 ↓

0 0

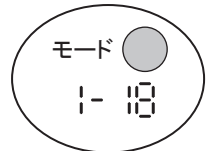
123456

※ : 点滅表示

補 足

1. 手順 5・6 で表示が「-」のとき、〔点検/クリア〕キーを 2 秒以上押し続けると、全コラムをプリセットします。
2. 補給数リセット：補給数が「0」になります。

扉開閉日時の確認



メインドアを開閉した年月日を確認します。

1 **モード** **スタート**
ストップ を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

2 **アップ** **ダウン** を押す。

モード番号を 1 にします。押し続けると速く変わります。

3 **書込み** を押す。

手順 2 で選択したモード番号 1 を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。

4 **アップ** **ダウン** を押す。

項目番号を 18 にします。

5 **書込み** を押す。

扉開閉日時の確認項目になり、扉を開けた前回(最新)の年月日時分を表示します。

6 **アップ** を押す。

扉を開けた年月日時分データのうち、2 番目に新しいデータを表示します。

7 **終了** を押す。

待機状態に戻ります。

デジタル表示

0-01

リモコン液晶表示

0-01

1-01

1-01

1-01

1-01

1-18

1-18

01

01

2006

2006

1024

1024

1541

1541

(例:2006年10月24日 15時41分)

02

02

2006

2006

1021

1021

1832

1832

r

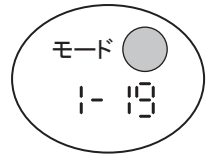
123456

※：点滅表示

補 足

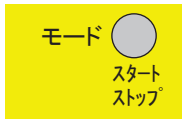
1. 確認範囲 過去 15 回分の扉開閉年月日時分
2. 最後(最初)のデータまで表示すると「E n d」を表示し、もう一度 [アップ(ダウン)] キーを押すと、最初(最後)のデータ表示に戻ります。

販売履歴の確認・クリア



過去100回分の販売履歴を確認、一括クリアします。

1



を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

2



を押す。

モード番号を1にします。押し続けると速く変わります。

3



を押す。

手順2で選択したモード番号1を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。

4



を押す。

項目番号を19にします。

5



を押す。

販売履歴の確認項目になり、前回販売履歴番号と前回投入月日を交互に表示します。

6



を押す。

販売履歴番号と前回投入時分を交互に表示します。

7



を押す。

販売履歴番号と前回投入金額を交互に表示します。

8



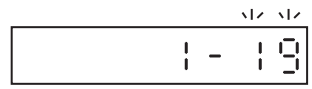
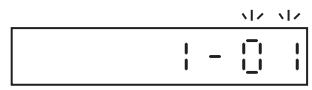
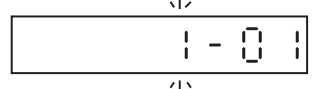
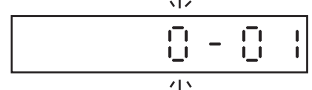
を押す。

販売履歴番号と前回販売金額を交互に表示します。

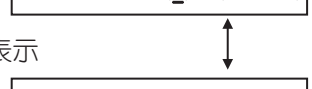
デジタル表示



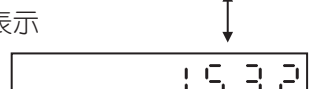
リモコン液晶表示



販売回数



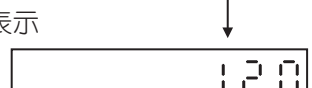
(例 前回投入月日 11月22日)



(例 前回投入時分 15時32分)



(例 前回投入金額 500円)



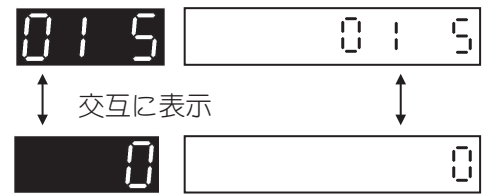
(例 前回販売金額 120円)

※：点滅表示

販売履歴の確認・クリア

9  アップ を押す。

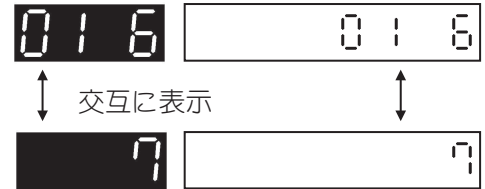
販売履歴番号と前回残金を交互に表示します。



(例 前回残金 0円…正常に販売終了)

10  アップ を押す。

販売履歴番号と販売コラムNo.を交互に表示します。



(例 前回販売コラムNo.…コラム7を販売)

11  アップ を押す。

販売履歴番号と前々回投入月日を交互に表示します。

データが最後まで表示した場合「E n d」を表示します。



(例 前々回投入月日 12月1日)

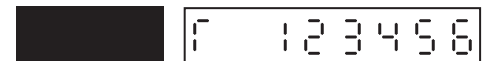
12  点検
クリア を2秒以上押し続ける。

販売履歴の全データをクリアします。



13  終了 を押す。

待機状態に戻ります。



販売履歴の確認・クリア

補 足

1. 確認範囲

販売回数：1～100回前まで，1が最新（1回前），100が最も古い（100回前）とします。

2. 販売履歴番号の1桁目は販売回数を表し，2桁目は表示内容を表します。

表示内容の意味は次の通りです。

1：投入月日	〇〇月〇〇日
2：投入時分	〇〇時〇〇分
3：投入金額	〇〇〇〇円
4：販売金額	〇〇〇〇円
5：残金	〇〇〇〇円
6：販売コラムNo.	

3. 「E n d」と表示された時には，最後（最初）のデータまで表示したことを示し，もう一度【アップ(ダウン)】キーを押すと，最初（最後）のデータ表示に戻ります。

4. 履歴が記録されていない場合，月日・時間・コラムNo.は「－－－」，投入金額・販売金額・残金は「0」を表示します。

履歴が記録されていなくても，100回は表示します。

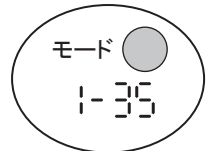
5. 時計異常時の場合，月日・時間は「－－－」を表示します。

6. 101回目以降の記録は，最新データを販売回数番号1に記録し，それまで1に記録されていたものを2に記録し…以下繰り返す，販売回数番号99だったものを100に記録し，100だったものは破棄されます。

7. 100回目よきの履歴番号の表示は，デジタル表示・リモコン液晶表示ともに，下5桁を使い「100 *」を表示します。（*は表示中のデータによります）

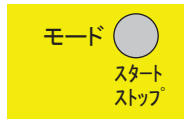
8. 手順6～11で【ダウン】キーを押すと，ひとつ前の手順に戻ります。

売切ランプ点灯原因の確認



売切ランプの点灯原因を4桁コードで表示します。

1



を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

2



を押す。

モード番号を1にします。押し続けると速く変わります。

3



を押す。

手順2で選択したモード番号1を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。

4



を押す。

項目番号を35にします。

5



を押す。

コラム1の売切ランプ点灯原因No.を表示し、コラム1に対する販売可能ランプが点灯します。

6



を押す。

対応するコラムの売切ランプ点灯原因No.を表示し、販売可能ランプが点灯します。

7



を押す。

次のコラム売切ランプ点灯原因No.を表示し、該当コラムに対応する選択ボタンの販売可能ランプが点灯します。

8



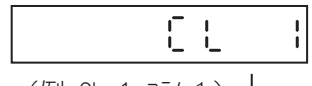
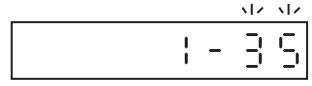
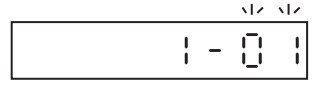
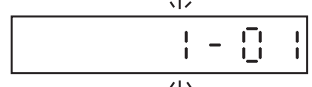
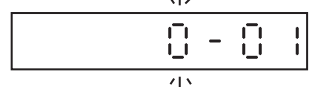
を押す。

2個以上原因がある場合は、2番目の原因No.を表示します。

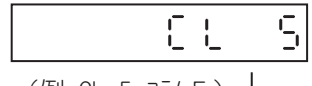
デジタル表示



リモコン液晶表示



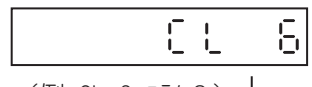
(例 CL 1:コラム1)



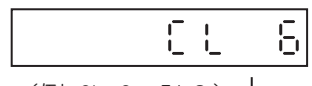
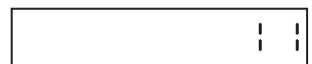
(例 CL 5:コラム5)



: 点灯



(例 CL 6:コラム6)



(例 CL 6:コラム6)



※ : 点滅表示

売切ランプ点灯原因の確認

9

● 書込み

を押す。



他に原因がない場合は「-」を表示します。

10

● 終了

を押す。



待機状態に戻ります。

補 足

- 手順5でコラム1に故障がない場合の表示は「CL 1」→「-」とします。
また、手順7でコラム番号を変更したときに、そのコラムに故障がない場合もコラム番号を表示した後、「-」を表示します。

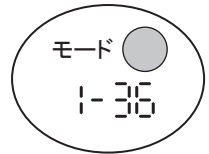
売切ランプ点灯原因コード一覧表

売切ランプ点灯原因表示は、売切ランプ点灯原因表示モード中のみ表示します。

原因分類	コード No.	売 切 ラ ン プ 点 灯 原 因	故障コード
故障／売切	1	売切れスイッチの異常 各ラック毎の売切れスイッチがON状態になったままです。	-
	2	構造モードの異常 構造モードの設定がされていません。	250/2330
		直積みメカの異常 ①直積みモータ動作開始時に待機位置になっていません。 ②直積みモータが動作していません。 ③直積みモータの停止スイッチがONになりません。 ④直積みモータが逆転開始時、ロックしています。 ⑤直積みモータの停止スイッチOFF後、リセットスイッチがONしません。 ⑥直積みモータの停止スイッチON後の一時停止中にスイッチが変化しました。	2433/2434 2435/2436 2437/2438 2439/2440 2441/2442 2443/2444
設定ミス	10	メカコード未設定 搬出メカコードが設定されていません。	52
	11	価格未設定 該当コラムの販売価格が設定されていません。	51
	13	コラムセレクション配列未設定 選択ボタンクロス配線の設定がされていない選択ボタンがあります。	54
時間	※20	設置時販売休止中 販売休止が設定されています。	-
	※21	販売時間帯以外 スクールタイマが設定されています。	-
冷熱	30	賞味期限切れ（フレッシュナビ動作中） 該当コラムの商品が賞味期限切れになっています。	-
	31	庫内高温異常 HOT庫内のエバ温度が75℃以上の状態が1分以上継続しています。	1266～1269
特殊機	50	リフタ式搬出機構クリーニング動作中 搬出機構のクリーニング動作中です。	-
	51	リフタ式搬出機構すり抜け故障 搬出機構で商品のすり抜け故障が発生しています。	2449～2452
	52	リフタ式搬出機構通信異常 リフタ式搬出機構制御ボックスと通信ラインに異常が発生しています。	-
パック特有	101	ヘルスコード動作 庫内の温度上昇による売切れ表示です。	-
	102	メカカウンタごまかし メカカウンタ取外しによる売切れ表示です。	-
	104	コンベアユニット接続異常	2827

(注) ※印の売切ランプ点灯は、選択ボタンの種類によっては準備中ランプが該当します。

販売可能ランプ消灯原因の確認



コイン投入・返却動作を行った後にモード操作を行うと販売可能ランプの消灯原因を4桁コードで表示します。

- 1** を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示: 0-01 リモコン液晶表示: 0-01
- 2** を押す。

モード番号を1にします。押し続けると速く変わります。

デジタル表示: 1-01 リモコン液晶表示: 1-01
- 3** を押す。

手順2で選択したモード番号1を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示: 1-01 リモコン液晶表示: 1-01
- 4** を押す。

項目番号を36にします。

デジタル表示: 1-36 リモコン液晶表示: 1-36
- 5** を押す。

コラム1の販売可能ランプ消灯原因Noを表示し、コラム1に対する販売可能ランプが点灯します。

デジタル表示: CL 1 リモコン液晶表示: CL 1
↓ (例 CL 1:コラム1) ↓
[Blank] [Blank]
- 6** を押す。

対応するコラムの販売可能ランプ消灯原因Noを表示し、販売可能ランプが点灯します。

デジタル表示: CL 5 リモコン液晶表示: CL 5
↓ (例 CL 5:コラム5) ↓
[Blank] 2 [Blank] 2

: 点灯
- 7** を押す。

次のコラムの販売可能ランプ消灯原因Noを表示し、該当コラムに対応する選択ボタンの販売可能ランプが点灯します。

デジタル表示: CL 6 リモコン液晶表示: CL 6
↓ (例 CL 6:コラム6) ↓
[Blank] 3 [Blank] 3
- 8** を押す。

2個以上原因がある場合は、2番目の原因Noを表示します。

デジタル表示: CL 6 リモコン液晶表示: CL 6
↓ (例 CL 6:コラム6) ↓
[Blank] 1 [Blank] 1

※ : 点滅表示

販売可能ランプ消灯原因の確認

9



を押す。



他に原因がない場合は「-」を表示します。

10



を押す。



待機状態に戻ります。

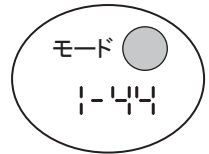
補 足

- 手順5でコラム1に故障がない場合の表示は「CL 1」→「-」とします。
また、手順6でコラム番号を変更したときに、そのコラムに故障がない場合もコラム番号を表示した後、「-」を表示します。

販売可能ランプ消灯原因コード一覧表

コト No.	原因名称	販売可能ランプ消灯原因
1	釣銭切れ	コインメカニズム内の釣銭が切れています。
2	2本売り防止スイッチ	2本売り禁止に設定されているコラムで2本売り防止スイッチ機能がON状態になっています。
3	E A販売停止	クリーニング運転等でE A機構が動作中であるか、またはE Aフラップスイッチや、搬出検知スイッチがON状態になっています。

照明消灯原因確認



照明が消灯している場合、その原因の確認ができます。

- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|---|--------|----------|
| 1 を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 2 を押す。
モード番号を 1 にします。押し続けると速く変わります。 | | |
| 3 を押す。
手順 2 で選択したモード番号 1 を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 4 を押す。
項目番号を 4 4 にします。 | | |
| 5 を押す。
照明消灯原因確認の項目になり、照明消灯原因のコードを表示します。 | | |
| (例 1 の条件で照明消灯) | | |
| 6 を押す。
照明消灯原因の次コードを表示します。
データが最後まで表示した場合「-」を表示し、更に
[書込み] キーを押すと、先頭の原因表示に戻ります。 | | |
| | | |
| 7 を押す。
待機状態に戻ります。 | | |

※：点滅表示

補 足

1. 設定範囲

照明消灯原因コード：メインコントロール制御内で登録（保存）された原因コードデータです。

例）照明消灯原因データが 1～3 まであった場合は、[書込み] キーで下記ようになります。

「1」 → 「2」 → 「3」 → 「-」

2. コードデータがない場合は、最初から「-」を表示します。

照明消灯原因確認

【照明消原因の表示条件】

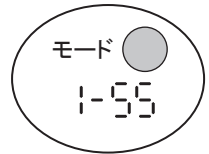
- ・待機時に照明が消灯している場合、その原因をリモコンおよびデジタル表示器に表示します。
- ・待機時に照明が点灯している場合、消灯原因は「ー」を表示します。
- ・原因が複数ある場合は、【書込み】キーで複数原因をスクロール表示します。
- ・現地での運用を考え、照明テストによる点灯中でも消灯原因がある場合は、その原因を表示します。
- ・消灯原因は、その原因が解除されれば照明が点灯するもののみ表示することとします。

例) 照明スイッチが「OFF」の場合に、全コラム設置休止中であっても要因「7」は表示しない
 照明スイッチが「ON」の場合に、照明省エネ時間帯中であっても要因「2」は表示しない

【照明消原因No.一覧表】

原因名称	内 容	表示コード
照明スイッチによる消灯中	照明スイッチが「OFF」になっていることによる消灯	1
タイマによる消灯中(照明年間カレンダーによる消灯中を含む)	照明省エネ時間帯、または照明年間カレンダー機能による消灯	2
照明自動点滅器による消灯中	フォトセンサ入力による消灯	3
深夜省エネ中	深夜(1時～6時)省エネスイッチによる消灯	5
販売時間帯規制中	販売時間帯(スクールタイマ)による全売切での消灯	6
全コラム設置休止中	全コラム設置休止中による消灯	7
照明消灯曜日中	照明消灯曜日による消灯	9
災害救援ベンダーでの消灯中	災害救援ベンダー起動中による消灯	11

10円釣切れランプ点灯・消灯の設定・確認



10円釣切れ時に、10円釣切れランプを点灯させる制御を行うかを設定します。

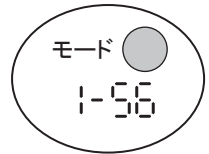
- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|--|--------|-------------------|
| 1 を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 2 () を押す。
モード番号を1にします。押し続けると速く変わります。 | | |
| 3 を押す。
手順2で選択したモード番号1を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 4 () を押す。
項目番号を55にします。 | | |
| 5 を押す。
10円釣切れランプ点灯・消灯の設定項目になり、
前回設定したデータを表示します。 | |
(例 0:強制消灯しない) |
| 6 () を押す。
データを変更します。 | |
(例 1:強制消灯する) |
| 7 を押す。
データを確定します。 | | |
| 8 を押す。
待機状態に戻ります。 | | |

※：点滅表示

補 足

1. 設定範囲 0：強制消灯しない
 1：強制消灯する

選択ボタン調光率の設定・確認



選択ボタンが調光可能状態時に点灯させる調光率の設定を行います。

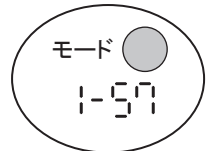
- | | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|---|--|----------------|----------|
| 1 | を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 2 | () を押す。
モード番号を 1 にします。押し続けると速く変わります。 | | |
| 3 | を押す。
手順 2 で選択したモード番号 1 を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 4 | () を押す。
項目番号を 5 6 にします。 | | |
| 5 | を押す。
選択ボタン調光率の設定項目になり、前回設定したデータを表示します。 | | |
| | | (例 0:調光率 100%) | |
| 6 | () を押す。
データを変更します。 | | |
| | | (例 1:調光率50%) | |
| 7 | を押す。
データを確定します。 | | |
| 8 | を押す。
待機状態に戻ります。 | | |

※：点滅表示

補 足

- 設定範囲
 - 0：100%
 - 1：50%
 - 2：25%
 - 3：12.5%
- 調光する条件が揃ったとき、設定した調光率で選択ボタンが点灯します。
- 条件が整っていない場合は、設定値に関係なく100%で点灯します。

照明調光率の設定・確認



照明が調光可能状態に点灯させる調光の設定を行います。

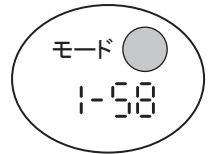
- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|---|--------------|----------|
| 1 を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 2 () を押す。
モード番号を 1 にします。押し続けると速く変わります。 | | |
| 3 を押す。
手順 2 で選択したモード番号 1 を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 4 () を押す。
項目番号を 5 7 にします。 | | |
| 5 を押す。
照明調光率の設定項目になり、前回設定したデータを表示します。 |
(例 0:調光) | |
| 6 () を押す。
データを変更します。 |
(例 1:微光) | |
| 7 を押す。
データを確定します。 | | |
| 8 を押す。
待機状態に戻ります。 | | |

※：点滅表示

補 足

- 設定範囲 0：調光
 1：微光
- 照明が調光可能状態となったとき、設定値に応じて点灯します。
- 条件が整っていない場合は、設定値に関係なく全灯（100％）で点灯します。

温度表示有無の設定・確認



待機中に平均庫内冷却温度を表示するかを設定・確認できます。

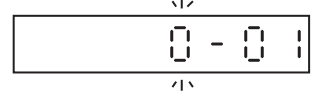
1 を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示

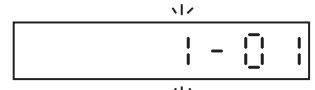


リモコン液晶表示



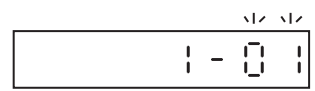
2 アップ ダウン を押す。

モード番号を 1 にします。押し続けると速く変わります。



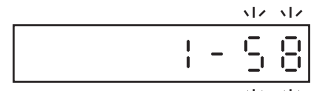
3 書込み を押す。

手順 2 で選択したモード番号 1 を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。



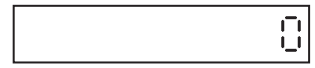
4 アップ ダウン を押す。

項目番号を 5 8 にします。



5 書込み を押す。

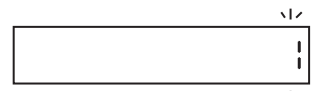
温度表示有無の設定項目になり、現在設定されている
データを表示します。



(例 0: 温度表示しない)

6 アップ ダウン を押す。

データを設定します。



(例 1: 温度表示する)

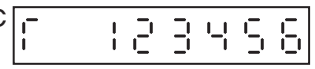
7 書込み を押す。

データを確定します。



8 終了 を押す。

待機状態に戻ります。



※：点滅表示

補 足

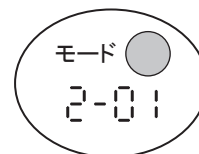
1. 設定範囲 0：温度表示しない
 1：温度表示する

5

モードキー操作(タイマモード)

ここでは、タイマモードについて操作の説明をします。

スクールタイマ時間帯／コラムの設定・確認



販売時間帯（一日あたり最大7回）の設定・確認をします。

スクールタイマとは、学校などで休み時間だけ、自動販売機を使用できるように販売時間帯を設定する機能をいいます。

スクールタイマ時間帯の設定は、一日あたり最大7回、この最大7回の設定パターンをA・B・Cの最大3種類記憶することができます。

1



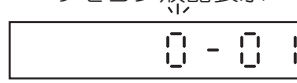
を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示



リモコン液晶表示

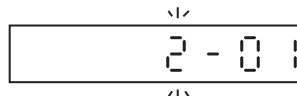


2



() を押す。

モード番号を2にします。押し続けると速く変わります。

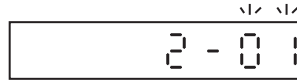


3



を押す。

手順2で選択したモード番号2を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。



4

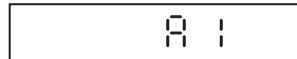


を押す。

スクールタイマ時間帯の設定項目になります。

「A1」はAパターンの1回目の販売可能時間帯の設定を示します。

「A1」の時間帯を設定する場合は、もう一度【書込み】キーを、別の時間帯を設定する場合は、【アップ(ダウン)】キーを押します。

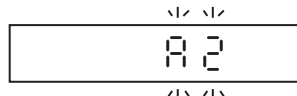


5



() を押す。

別の時間帯に移ることができます。



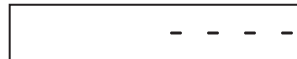
(例 A2:A1パターンの2回目)

6



を押す。

時間帯を確定します。

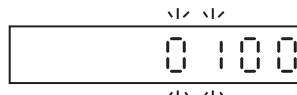


7



() を押す。

販売開始時刻(時)入力待ちになり、上2桁の数字が点滅します。

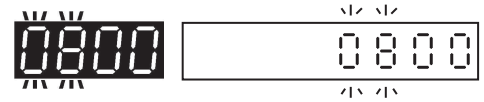


※：点滅表示

スクールタイマ時間帯／コラムの設定・確認

8  アップ  ダウン を押す。

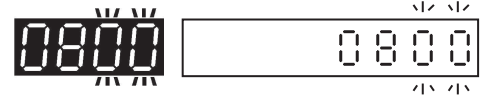
販売開始時刻(時)を変更します。



(例 0800:8時)

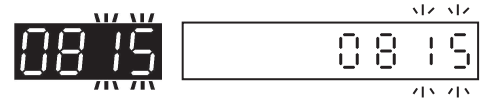
9  書込み を押す。

販売開始時刻(時)を確定します。販売開始時刻(分)の入力待ちになり、下2桁が点滅表示します。



10  アップ  ダウン を押す。

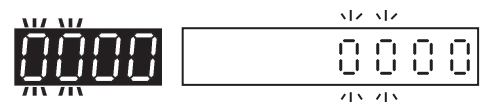
販売開始時刻(分)を変更します。



(例 0815:8時15分)

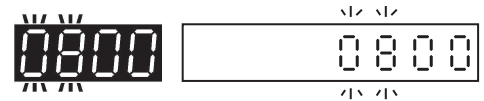
11  書込み を押す。

販売開始時刻(分)を確定します。販売終了時刻(時)の入力待ちになり、上2桁が点滅表示します。



12  アップ  ダウン を押す。

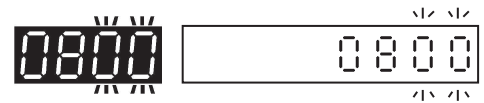
販売終了時刻(時)を変更します。



(例 0800:8時)

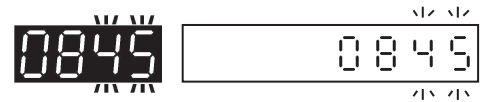
13  書込み を押す。

販売終了時刻(時)を確定します。販売終了時刻(分)の入力待ちになり、下2桁が点滅表示します。



14  アップ  ダウン を押す。

販売終了時刻(分)を変更します。



(例 0845:8時45分)

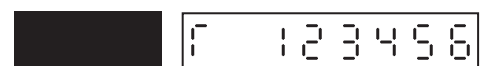
15  書込み を押す。

「A 2」の販売可能時間帯の設定が完了です。続いて「A 3」の設定に移ります。
(Aパターン2回目の販売可能時間帯 8 : 15 ~ 8 : 45)

同様の手順でA～C各パターンの1～7回目までの販売可能時間帯を必要に応じて設定してください。

16  終了 を押す。

待機状態に戻ります。

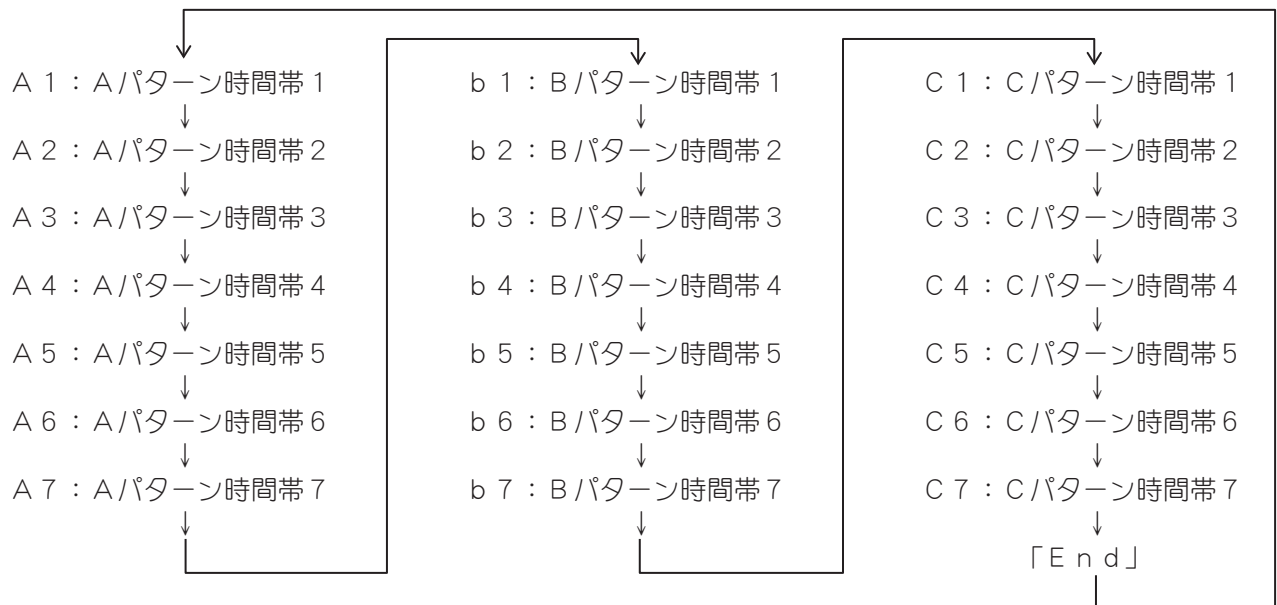


※ : 点滅表示

スクールタイマ時間帯／コラムの設定・確認

補 足

1. スクールタイマ時間帯を設定した後、モード2-02「スクールタイマ曜日別パターンの設定・確認」において、A、B、Cの各パターンに対応する曜日を設定することで、自販機を特定の時間帯だけ販売可能にすることができます。
2. 設定範囲 00時00分～23時59分
3. 手順4の状態から【終了】キーを押すまでの間、全ての選択ボタンの販売可能ランプと売切ランプが点灯します。このとき、選択ボタンを押すとランプが消灯し、そのコラムは、スクールタイマ対象外（常時販売）となります。
4. スクールタイマ時間帯の表示内容と設定範囲



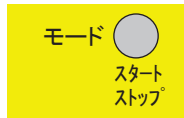
5. 手順5で最後（最初）の時間帯まで表示すると「E n d」を表示し、もう一度【アップ(ダウン)】キーを押すと、最初（最後）の時間帯に戻ります。
6. 手順6～14の時刻表示している時に【点検／クリア】キーを押すと、該当する時間帯の開始時間および終了時間が共にクリアされ、次の時間帯の表示にかわります。
7. 交互販売グループに設定されているコラムをスクールタイマ対象コラムに設定しても、同一の交互販売グループ内のコラム全てをスクールタイマ対象コラムに補正設定はしません。（交互販売設定とは連動しません。）
また、交互販売設定が変更されても、スクールタイマ対象コラムの対象／非対象には影響しません。（設定内容を補正設定しません。）
8. 複数コラム割付設定された選択ボタンにより、スクールタイマ対象コラムの設定／解除を行う場合、複数コラム割付設定されているコラムについても連動して設定／解除します。
9. 複数コラム割付設定が変更された場合は、複数コラム割付設定されているコラム全てをスクールタイマ対象コラムに補正設定はしません。（それまでの設定内容を変更しません。）

スクールタイマ曜日別パターンの設定・確認



販売時間帯（一日あたり最大7回、最大3パターン）を適用する曜日を設定します。

1



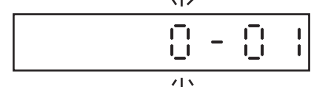
を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示



リモコン液晶表示

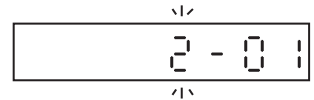


2



を押す。

モード番号を2にします。押し続けると速く変わります。

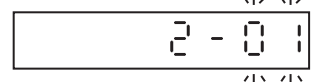


3



を押す。

手順2で選択したモード番号2を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。

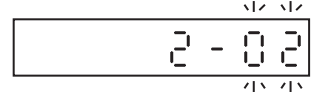


4



を押す。

項目番号を2にします。

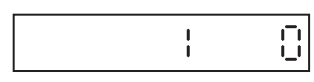


5



を押す。

スクールタイマ曜日別パターンの設定項目になります。



↑ 曜日 ↑ パターン

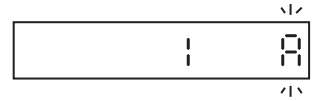
(例 1 0:日曜日 パターン設定なし)

6



を押す。

パターンを変更します。



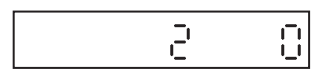
(例 1 A:日曜日 Aパターン)

7



を押す。

1 (日曜日)のパターンを確定します。次の曜日番号
2 (月曜日)とパターンを表示します。



8

パターンを設定する。

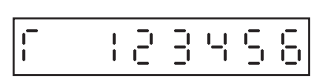
手順6, 7を繰り返して1 (日曜日)から7 (土曜日)の
曜日までのパターンを設定してください。

9



を押す。

待機状態に戻ります。



※：点滅表示

補 足

1. 手順5で最後の曜日まで表示すると「E n d」を表示し、もう一度【書込み】キーを押すと、最初の曜日に戻ります。

2. スクールタイマ曜日の番号と表示順序

1 (日曜日)→2 (月曜日)→3 (火曜日)→4 (水曜日)→5 (木曜日)→6 (金曜日)→7 (土曜日)→「E n d」



3. 設定範囲

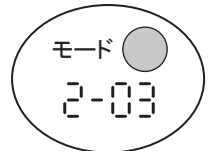
0：パターン設定なし

A：Aパターン時間帯で販売

b：Bパターン時間帯で販売

C：Cパターン時間帯で販売

照明節電時間帯の設定・確認



照明を節電する時間帯の設定・確認をします。

- 1** を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。
- 2** を押す。
モード番号を2にします。押し続けると速く変わります。
- 3** を押す。
手順2で選択したモード番号2を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。
- 4** を押す。
項目番号を3にします。
- 5** を押す。
照明節電時間帯の設定項目になり、節電開始時刻(時)の入力待ちとなります。上2桁が点滅表示します。
- 6** を押す。
節電開始時刻(時)を変更します。
- 7** を押す。
節電開始時刻(時)を確定します。節電開始時刻(分)の入力待ちになり、下2桁を点滅表示します。
- 8** を押す。
節電開始時刻(分)を変更します。(22:15節電開始)
- 9** を押す。
節電開始時刻(分)を確定します。節電終了時刻(時)の入力待ちになり、上2桁を点滅表示します。
- 10** を押す。
節電終了時刻(時)を変更します。

デジタル表示

リモコン液晶表示

0-01

0-01

2-01

2-01

2-01

2-01

2-03

2-03

0000

0000

2200

2200

(例 2200:22時)

2200

2200

2215

2215

(例 2215:22時15分)

0000

0000

0500

0500

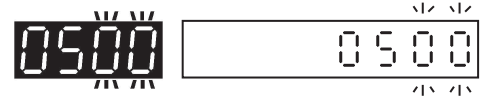
(例 0500:5時)

※：点滅表示

照明節電時間帯の設定・確認

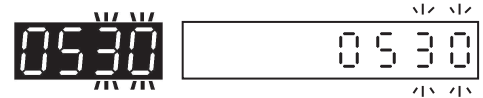
11  書込み を押す。

節電終了時刻(時)を確定します。節電終了時刻(分)の入力待ちになり、下2桁を点滅表示します。



12  アップ ( ダウン ) を押す。

節電終了時刻(分)を変更します。(5 : 30節電終了)

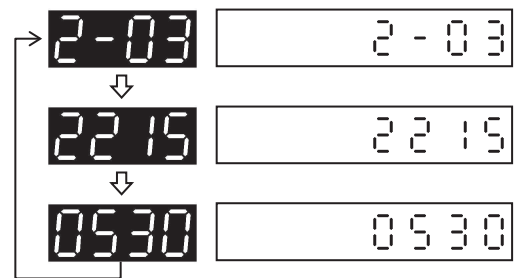


(例 0530:5時30分)

13  書込み を押す。

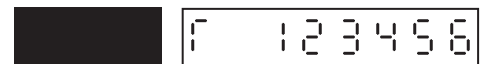
節電時間帯の設定が完了し、項目を表す「2-03」と「節電開始時刻」、「節電終了時刻」を順に表示します。

ここで、もう一度【書込み】キーを押すと、手順5の状態に戻ります。



14  終了 を押す。

待機状態に戻ります。

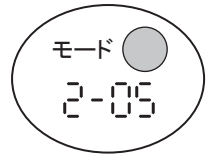


※ : 点滅表示

補 足

1. 設定範囲 0 0 時 0 0 分～2 3 時 5 9 分
2. 節電開始時刻と節電終了時刻を同一時刻に設定すると、節電は行いません。

現在時刻の設定・確認



現在時刻の設定をします。

- 1** を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。
- 2** () を押す。

モード番号を2にします。押し続けると速く変わります。
- 3** を押す。

手順2で選択したモード番号2を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。
- 4** () を押す。

項目番号を5にします。
- 5** を押す。

現在時刻の設定項目になります。現在時刻(時)の入力待ちになり、前回設定したデータを表示します。
- 6** () を押す。

現在時刻(時)を変更します。
- 7** を押す。

現在時刻(時)を確定し、現在時刻(分)の入力待ちになります。
- 8** () を押す。

現在時刻(分)を変更します。
- 9** を押す。

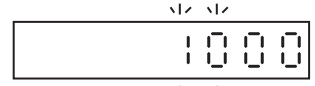
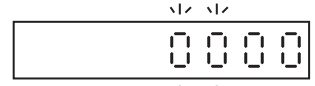
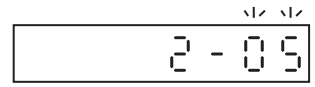
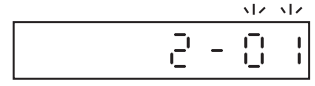
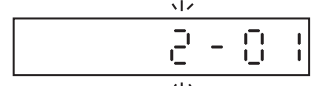
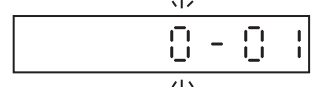
現在時刻の設定が完了します。もう一度【書込み】キーを押すと、手順5の状態に戻ります。
- 10** を押す。

待機状態に戻ります。

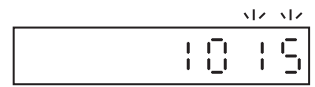
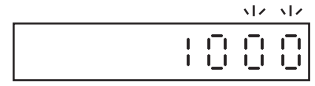
デジタル表示



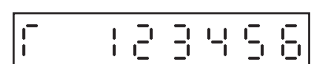
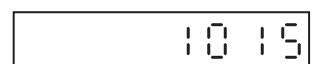
リモコン液晶表示



(例 1000:現在時刻(時)10時)



(例 1015:現在時刻(時・分) 10時15分)

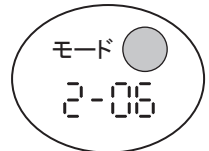


※：点滅表示

補 足

1. 設定範囲 00時00分～23時59分

現在月日の設定・確認



現在月日の設定をします。

- | | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|----|---|--------------------|----------|
| 1 | を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 2 | アップ (ダウン) を押す。
モード番号を2にします。押し続けると速く変わります。 | | |
| 3 | を押す。
手順2で選択したモード番号2を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 4 | アップ (ダウン) を押す。
項目番号を6にします。 | | |
| 5 | を押す。
現在月日の設定項目になります。現在月日(月)の入力待ちになり、前回設定したデータを表示します。 | | |
| 6 | アップ (ダウン) を押す。
現在月日(月)を変更します。 |
(例 0200:2月) | |
| 7 | を押す。
現在月日(月)を確定し、現在月日(日)の入力待ちになります。 | | |
| 8 | アップ (ダウン) を押す。
現在月日(日)を変更します。 |
(例 0215:2月15日) | |
| 9 | を押す。
現在月日の設定が完了します。もう一度【書込み】キーを押すと、手順5の状態に戻ります。 | | |
| 10 | を押す。
待機状態に戻ります。 | | |

※：点滅表示

補 足

1. 設定範囲 1月1日～12月31日

現在年の設定・確認



現在年の設定をします。

- | | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|---|---|--------|----------|
| 1 | を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 2 | アップ ダウン を押す。
モード番号を2にします。押し続けると速く変わります。 | | |
| 3 | を押す。
手順2で選択したモード番号2を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 4 | アップ ダウン を押す。
項目番号を7にします。 | | |
| 5 | を押す。
現在年の設定項目になります。現在年(下位2桁)の入力待ちになり、前回設定したデータを表示します。 | | |
| 6 | アップ ダウン を押す。
現在年を変更します。 | | |
| 7 | を押す。
現在年を確定します。 | | |
| 8 | を押す。
待機状態に戻ります。 | | |

(例 2015:2015年)

※：点滅表示

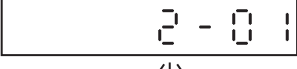
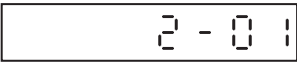
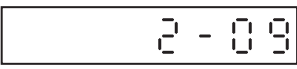
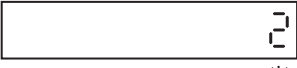
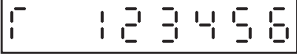
補 足

- 手順6で上位2桁は下位2桁の値によって自動的に変わります。
下位2桁：00～49 → 上位2桁：20
- 設定範囲 2000年～2049年

照明消灯条件の設定・確認



照明を消灯させる条件を設定します。

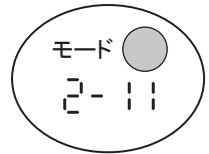
- | | |
|--|--|
| <p>1  を押す。</p> <p>モード番号入力待ちの状態になります。</p> | <p>デジタル表示 </p> <p>リモコン液晶表示 </p> |
| <p>2  () を押す。</p> <p>モード番号を2にします。押し続けると速く変わります。</p> | <p>デジタル表示 </p> <p>リモコン液晶表示 </p> |
| <p>3  を押す。</p> <p>手順2で選択したモード番号2を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。</p> | <p>デジタル表示 </p> <p>リモコン液晶表示 </p> |
| <p>4  () を押す。</p> <p>項目番号を9にします。</p> | <p>デジタル表示 </p> <p>リモコン液晶表示 </p> |
| <p>5  を押す。</p> <p>照明消灯条件の設定項目になり、現在設定の消灯条件を表示します。</p> | <p>デジタル表示 </p> <p>リモコン液晶表示 </p> <p>[例 0:照明自動点滅器, タイマの少なくとも一方OFFで照明消灯]</p> |
| <p>6  () を押す。</p> <p>照明消灯条件を変更します。</p> | <p>デジタル表示 </p> <p>リモコン液晶表示 </p> <p>[例 2:照明自動点滅器OFFで照明消灯]</p> |
| <p>7  を押す。</p> <p>照明消灯条件を確定します。</p> | <p>デジタル表示 </p> <p>リモコン液晶表示 </p> |
| <p>8  を押す。</p> <p>待機状態に戻ります。</p> | <p>デジタル表示 </p> <p>リモコン液晶表示 </p> |

※：点滅表示

補足

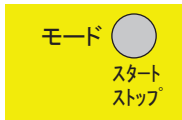
1. 設定範囲
- 0：照明自動点滅器, タイマの少なくとも一方OFFで照明消灯
 - 1：照明自動点滅器, タイマの両方ともOFFで照明消灯
 - 2：照明自動点滅器OFFで照明消灯
 - 3：タイマOFFで照明消灯
 - 4：照明自動点滅器ONで照明消灯（暗くなったら照明消灯）
 - 5：人感センサOFFで照明消灯

照明消灯曜日の設定・確認



照明を消灯させる曜日を設定します。

1



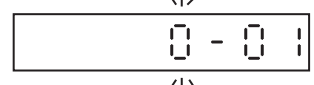
を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

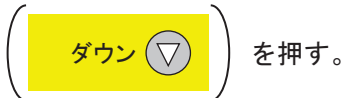
デジタル表示



リモコン液晶表示

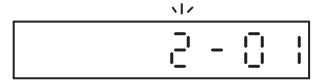


2



を押す。

モード番号を2にします。押し続けると速く変わります。

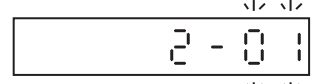


3

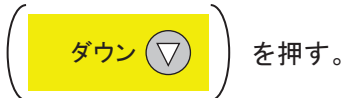


を押す。

手順2で選択したモード番号2を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。

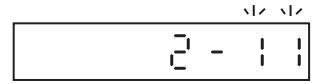


4



を押す。

項目番号を1にします。

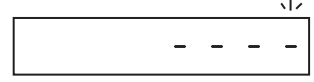


5



を押す。

照明消灯曜日の設定項目になり、照明を消灯する曜日1つ目の入力待ちとなります。



6



を押す。

照明消灯曜日を変更します。



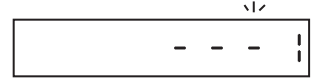
(例 1:日曜日)

7



を押す。

照明消灯曜日を確定し、次の入力待ちになります。

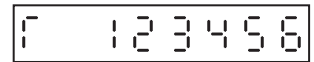


8



を押す。

待機状態に戻ります。



※：点滅表示

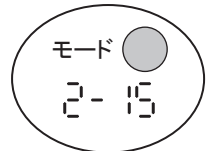
補足

- 続けて照明消灯曜日を設定するときは、手順6、7を繰り返して設定してください。
- 照明消灯曜日の設定が4曜日未満の場合は、余った部分に「-」（データなし）を表示します。

3. 設定範囲 最大4曜日まで

1：日曜日	4：水曜日	7：土曜日
2：月曜日	5：木曜日	－：データなし（空きスペース）
3：火曜日	6：金曜日	

調光時間帯の設定・確認



照明を調光する時間帯を設定・確認します。

- 1 を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。
- 2 () を押す。
モード番号を2にします。押し続けると速く変わります。
- 3 を押す。
手順2で選択したモード番号2を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。
- 4 () を押す。
項目番号を15にします。
- 5 を押す。
調光時間帯の設定項目になり、調光開始時刻(時)の入力待ちとなります。
- 6 () を押す。
調光開始時刻(時)を変更します。
- 7 を押す。
調光開始時刻(時)を確定し、調光終了時刻(時)の入力待ちになります。
- 8 () を押す。
調光終了時刻(時)を変更します。
- 9 を押す。
時刻を確定します。
- 10 を押す。
待機状態に戻ります。

デジタル表示 リモコン液晶表示

終了時刻
開始時刻

(例 2305:調光開始時刻 23時)

(例 2307:調光終了時刻 7時)

〔 例 2307:調光時間帯
23時～翌朝7時まで 〕

※：点滅表示

補 足

1. 設定範囲 0 0 時～2 3 時

2. 「0 0～0 0」以外の同一時刻設定（「0 1－0 1」等）をした場合は、終日調光します。

庫内温度レベルの設定・確認



庫内別に温度レベルを設定・確認します。

- | | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|----|--|---|----------|
| 1 | を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 2 | アップ ダウン を押す。
モード番号を3にします。押し続けると速く変わります。 | | |
| 3 | 書込み を押す。
手順2で選択したモード番号3を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 4 | アップ ダウン を押す。
項目番号を7にします。 | | |
| 5 | 書込み を押す。
庫内温度レベルの設定項目になり、現在設定されているデータを表示します。 |
↳ レベル(例:温度レベル5)
↳ 庫内No.(例:庫内1コ-ルト*)
↳ H/CE-ト* (例:コ-ルト*) | |
| 6 | アップ ダウン を押す。
庫内No.を変更します。 | | |
| 7 | 書込み を押す。
庫内No.を確定し、温度レベルの入力待ちになります。 | | |
| 8 | アップ ダウン を押す。
温度レベルを変更します。 | | |
| 9 | 書込み を押す。
温度レベルを確定し、次の庫内No.の現在設定されているデータを表示します。 | | |
| 10 | 終了 を押す。
待機状態に戻ります。 | | |

※ : 点滅表示

庫内温度レベルの設定・確認

補 足

1. 庫内No.C 1からH 4までの温度レベルを必要に応じて設定してください。
操作は手順6～手順9を繰り返してください。

2. 冷温区分と庫内No.の表示

表 示	C 1	C 2	C 3	C 4	H 1	H 2	H 3	H 4
意 味	庫内 1	庫内 2	庫内 3	庫内 4	庫内 1	庫内 2	庫内 3	庫内 4
	コールド温度				ホット温度			

庫内 1	庫内 2	庫内 3	庫内 4
1 番左の庫内	左から 2 番目の庫内	左から 3 番目の庫内	左から 4 番目の庫内

3. 設定表示の順

庫内の表示順は【アップ(ダウン)】キーを押した場合は、最後まで表示すると「E n d」を表示し、もう一度【アップ(ダウン)】キーを押すと最初(最後)に戻ります。

C 1 ⇄ C 2 ⇄ C 3 ⇄ C 4 ⇄ H 1 ⇄ H 2 ⇄ H 3 ⇄ H 4 ⇄ 「E n d」

4. 設定の範囲

■コールド庫内 (C 1～C 4)

温度レベル	0・1・2・3・4・⑤・6・7・8・9・10
庫内温度	低くなる 標準 高くなる

■ホット庫内 (H 1～H 4)

温度レベル	0・1・2・3・4・⑤・6・7・8・9
庫内温度	低くなる 標準 高くなる

温度レベルは、各庫内のホット／コールドの組み合わせ毎に設定します。

【例】コールド庫内

ホット／コールド切替スイッチ			庫内温度レベル		
左庫内	中庫内	右庫内	左庫内	中庫内	右庫内
コールド	コールド	コールド	⑤	6	5
コールド	コールド	ホット	⑦	6	—

- 【!】ホット運転状態の庫内のコールド温度レベル表示は、の表示をし、設定できません。【書込み】キーを押して飛ばしてください。

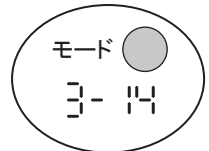
↓
庫内No.

コールド運転状態の庫内のホット温度レベル表示は、の表示をし、設定できません。【書込み】キーを押して飛ばしてください。

↓
庫内No.

5. 温度レベル設定中にホット／コールドスイッチの切換えを行った場合、レベル確定の【書込み】キーを押すとピピピッと受付不可音が鳴ります。

売上データクリア操作切換モードの設定・確認



コラム別に売上データクリアを可能にする設定です。

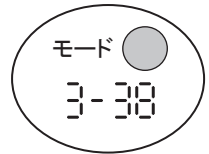
- | | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|---|--|--------|----------|
| 1 | モード
スタート
ストップ
を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 2 | アップ (ダウン) を押す。
モード番号を3にします。押し続けると速く変わります。 | | |
| 3 | 書込み を押す。
手順2で選択したモード番号3を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 4 | アップ (ダウン) を押す。
項目番号を14にします。 | | |
| 5 | 書込み を押す。
売上データクリア操作切換モードの設定項目になります。(例 0:コラム別売上クリア操作不可) | | |
| 6 | アップ (ダウン) を押す。
データを変更します。(例 1:コラム別売上クリア操作可能) | | |
| 7 | 書込み を押す。
データを確定します。 | | |
| 8 | 終了 を押す。
待機状態に戻ります。 | | |

※：点滅表示

補 足

1. 設定範囲 0：コラム別売上クリア操作不可
 1：コラム別売上クリア操作可能

コイン投入時照明点灯の設定・確認



本設置を行うと、照明が消灯していてもコイン投入時に照明が点灯します。

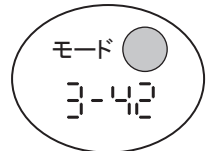
- | | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|---|--|---------------------|----------|
| 1 | を押す。
モード番号の入力待ちになります。 | | |
| 2 | () を押す。
モード番号を3にします。押し続けると速く変わります。 | | |
| 3 | を押す。
手順2で選択したモード番号3を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 4 | () を押す。
項目番号を38にします。 | | |
| 5 | を押す。
コイン投入時照明点灯の設定項目になり、前回設定したデータを表示します。 | | |
| | | (例 0: コイン投入時と連動しない) | |
| 6 | () を押す。
データを変更します。 | | |
| | | (例 1: コイン投入時と連動する) | |
| 7 | を押す。
データを確定します。 | | |
| 8 | を押す。
待機状態に戻ります。 | | |

※：点滅表示

補足

1. 設定範囲 0：コイン投入時と連動しない
 1：コイン投入時と連動する

価格自動切替えの顔文字表示の設定・確認



価格自動切替えに販売後、顔文字を2秒間表示することが設定で選択できます。

- 1**  を押す。
モード番号の入力待ちになります。

デジタル表示: 0-01 リモコン液晶表示: 0-01
- 2**  アップ ( ダウン) を押す。
モード番号を3にします。押し続けると速く変わります。

デジタル表示: 3-01 リモコン液晶表示: 3-01
- 3**  書込み を押す。
手順2で選択したモード番号3を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示: 3-01 リモコン液晶表示: 3-01
- 4**  アップ ( ダウン) を押す。
項目番号を42にします。

デジタル表示: 3-42 リモコン液晶表示: 3-42
- 5**  書込み を押す。
価格自動切替えの顔文字表示の設定項目になります。

デジタル表示: 0 リモコン液晶表示: 0
(例 0:顔文字表示しない)
- 6**  アップ ( ダウン) を押す。
データを設定します。

デジタル表示: 1 リモコン液晶表示: 1
- 7**  書込み を押す。
手順6で入力 of データを確定します。

デジタル表示: 1 リモコン液晶表示: 1
- 8**  終了 を押す。
待機状態に戻ります。

デジタル表示: 123456 リモコン液晶表示: 123456

※：点滅表示

補 足

1. 設定範囲 0：顔文字表示しない 1：顔文字表示する
2. 表示パターンは以下の4種類あり、ランダムに表示されます。

① 「にこ(笑う)」



② 「ウィンク」



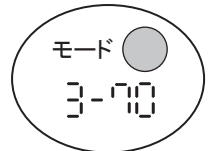
③ 「ほっ」



④ 「おはよう！」

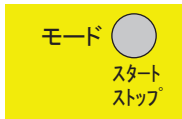


VTSビルバリ紙幣挿入枚数の設定・確認



紙幣挿入枚数の設定・確認を行います。

1



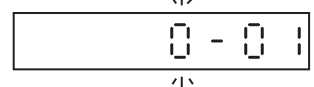
を押す。

モード番号の入力待ちになります。

デジタル表示



リモコン液晶表示

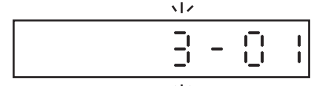


2



を押す。

モード番号を3にします。押し続けると速く変わります。

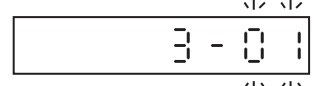


3



を押す。

手順2で選択したモード番号3を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。

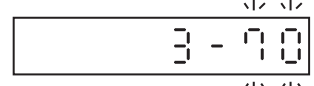


4



を押す。

項目番号を70にします。



5



を押す。

紙幣挿入枚数の設定項目になり、現在設定されているデータを表示します。



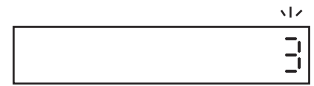
(例 2:2枚)

6



を押す。

データを変更します。



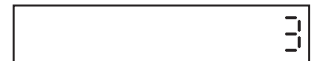
(例 3:3枚)

7



を押す。

データを確定します。

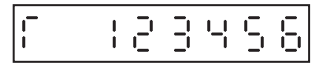


8



を押す。

待機状態に戻ります。



※：点滅表示

補足

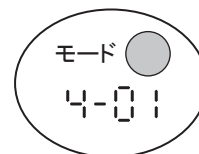
1. 設定範囲 1～4枚

7

モードキー操作(釣銭合わせモード)

ここでは、釣銭合わせモードについて操作の説明をします。

釣銭合わせの確認・払出し動作



コインメカニズム内の釣銭枚数を一定にします。釣銭合わせとは、コインメカニズム内の現金(釣銭)枚数を一定にすることをいいます。リモコン操作によって一定の枚数より超過した分はキャッシュボックスに払い出し、不足しているときは不足枚数をデジタル表示器およびリモコン液晶表示部に表示します。表示に従って不足分を補充します。

1



を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示

0-01

リモコン液晶表示

0-01

2



アップ



ダウン

を押す。

モード番号を4にします。押し続けると速く変わります。

4-01

4-01

3



書込み

を押す。

手順2で選択したモード番号4を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。

4-01

4-01

4



書込み

を押す。

釣銭合わせの確認・払出し動作項目になり、現在の
コインメカニズム内の釣銭枚数を表示します。

例1の表示のときは、釣銭合わせモードの設定が
されていないことを表わします。

(例1)

0

0

例2の表示のときは、全ての釣銭チューブの釣銭
枚数の過不足がないことを表わします。

(例2)

- - - -

- - - -

例3の表示のときは、いずれかの釣銭チューブで
設定枚数を超えた保留枚数となっていることを表
わします。

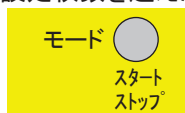
(例3)

- -

- -

■ 設定枚数を超えたとき

5



モード

スタート
ストップ

を押す。

設定枚数を超えた分の釣銭の払出しを開始します。
払出しを途中で止めるときは、もう一度【モード
／スタート・ストップ】キーを押します。

- -

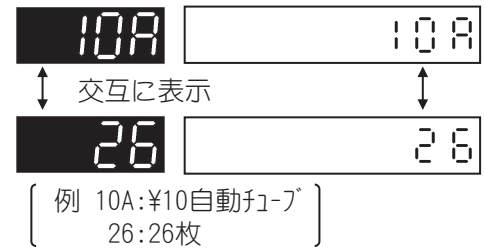
- -

※：点滅表示

釣銭合わせの確認・払出し動作

■ 超過がなく、いずれかのチューブで不足があるとき

超過がなく不足のチューブがあるとき、または払出しが終了すると、不足しているチューブの最初のチューブ番号と不足枚数を交互に表示します。



■ 不足枚数をクリアする

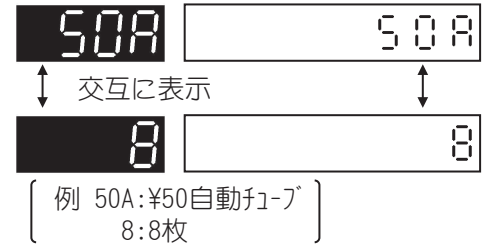
6 を2秒以上押し続ける。

不足枚数をクリアします。
表示は次のチューブ番号に変わります。

[!] クリア操作を行う前に、釣銭チューブに不足枚数を補充してください。

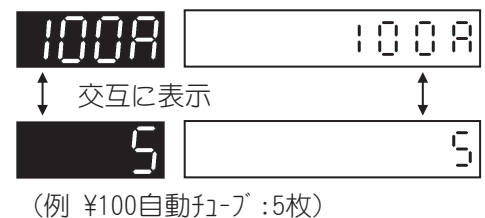
7 アップ ダウン を押す。

次のチューブ番号に変わります。



8 終了 を押す。

待機状態に戻ります。



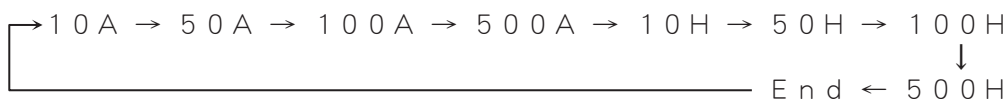
補 足

- 最後のチューブ番号まで表示すると「E n d」を表示し、もう一度【アップ(ダウン)】キーを押すと、最初のチューブ番号に戻ります。
- クリア操作を行う前に釣銭チューブに不足枚数を補充してください。
- チューブ番号が「E n d」を表示しているときに【点検/クリア】キーを2秒以上押し続けると、全てのチューブ枚数がクリアされます。全ての釣銭チューブの枚数がクリアされた後は、手順4の例2. 釣銭過不足なしを表示します。
- チューブ番号表示および内容
釣銭の不足のないチューブは表示せず、次の不足のあるチューブを表示します。

順

1	10A : ¥	10自動チューブ	5	10H : ¥	10手動チューブ
2	50A : ¥	50自動チューブ	6	50H : ¥	50手動チューブ
3	100A : ¥	100自動チューブ	7	100H : ¥	100手動チューブ
4	500A : ¥	500自動チューブ	8	500H : ¥	500手動チューブ
			9	E n d	

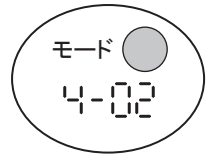
5. 表示順序



6. 設定範囲

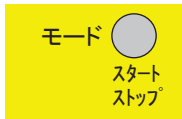
10A	} 0～レジスタの最大保有枚数 (ただし、最大限度 98枚) 99: 釣銭合わせなし	10H	} 0～レジスタの最大保有枚数 (ただし、最大限度 998枚) 999: 釣銭合わせなし
50A		50H	
100A		100H	
500A		500H	

釣銭合わせ枚数の設定・確認



コインメカニズムのチューブ（各金種）毎に保留する釣銭枚数の設定・確認をします。

1



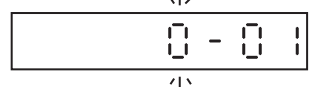
を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示



リモコン液晶表示

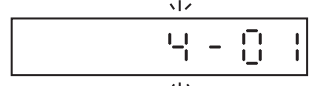


2



を押す。

モード番号を4にします。押し続けると速く変わります。

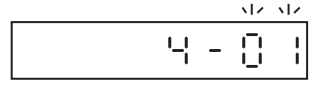


3



を押す。

手順2で選択したモード番号4を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。

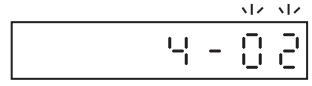


4



を押す。

項目番号を2にします。



5

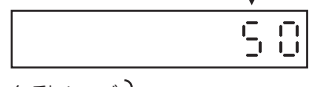


を押す。

釣銭枚数の設定モードになり、現在設定されている
データを表示します。



↑ ↓ 交互に表示



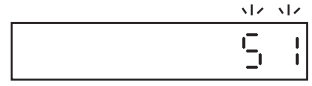
〔例 10A:¥10自動チューブ〕
50:50枚〕

6



を押す。

チューブの枚数を変更します。



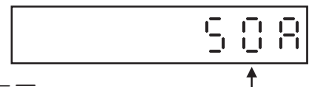
(例 51:51枚)

7

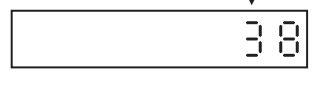


を押す。

チューブ枚数を確定し、次のチューブ番号を表示し
ます。



↑ ↓ 交互に表示

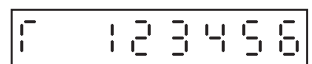


8



を押す。

待機状態に戻ります。



※：点滅表示

釣銭合わせ枚数の設定・確認

補 足

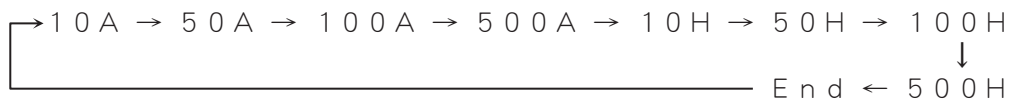
- 最後のチューブ番号まで表示すると「E n d」を表示し、もう一度【書込み】キーを押すと、最初のチューブ番号に戻ります。

- チューブ番号表示および内容

順

1	1 0 A : ¥ 1 0 自動チューブ	5	1 0 H : ¥ 1 0 手動チューブ
2	5 0 A : ¥ 5 0 自動チューブ	6	5 0 H : ¥ 5 0 手動チューブ
3	1 0 0 A : ¥ 1 0 0 自動チューブ	7	1 0 0 H : ¥ 1 0 0 手動チューブ
4	5 0 0 A : ¥ 5 0 0 自動チューブ	8	5 0 0 H : ¥ 5 0 0 手動チューブ
		9	E n d

- 表示順序



- 手順6, 7を繰り返して10A～500Hの釣銭チューブの釣銭保留枚数を設定してください。

- 設定範囲

1 0 A	} 0～コインメカニズムの最大保有枚数 (ただし, 最大限度 98枚)	1 0 H	} 0～コインメカニズムの最大保有枚数 (ただし, 最大限度 998枚)
5 0 A		5 0 H	
1 0 0 A		1 0 0 H	
5 0 0 A		5 0 0 H	
	99: 釣銭合わせなし		999: 釣銭合わせなし

【例】¥50手動チューブ(50H)を持たないコインメカニズムであれば、50Hの設定範囲は「0」となります。

釣銭合わせモードの設定・確認

自動釣銭合わせ機能の設定・確認をします。自動釣銭合わせ機能には2通りのモードがあります。



- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|---|------------------|----------|
| 1 を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 2 アップ (ダウン) を押す。
モード番号を4にします。 | | |
| 3 書込み を押す。
手順2で選択したモード番号4を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 4 アップ (ダウン) を押す。
項目番号を3にします。 | | |
| 5 書込み を押す。
釣銭合わせモードの設定項目になり、現在設定されているデータを表示します。 | | |
| | (例 0:釣銭合わせしない) | |
| 6 アップ (ダウン) を押す。
データを変更します。 | | |
| | (例 1:自動釣銭合わせモード) | |
| 7 書込み を押す。
データを確定します。 | | |
| 8 終了 を押す。
待機状態に戻ります。 | | |

※ : 点滅表示

補 足

1. 設定範囲

0 : 釣銭合わせしない

1 : 自動釣銭合わせモード(チューブインモード) : リモコン操作時に超過分を払い出します。

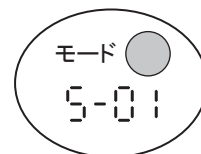
2 : 自動チューブ残量モード(チューブ残量モード) : 一定枚数を超えた時点で即座にキャッシュボックスに超過分を払い出します。

8

モードキー操作（ルーレットモード）

ここでは、ルーレットモードについて操作の説明をします。

ルーレット当たり確率／コラムの設定・確認



ルーレット動作時の当たり確率とコラムを設定・確認します。

1



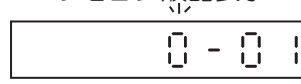
を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示



リモコン液晶表示

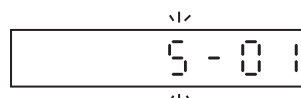


2



() を押す。

モード番号を5にします。押し続けると速く変わります。

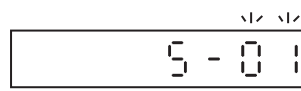


3



を押す。

手順2で選択したモード番号5を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。



4



を押す。

ルーレット当たり確率／コラムの設定項目になり、現在設定されているルーレットの当たり確率を表示します。



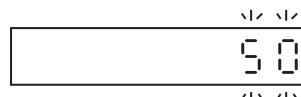
(例 999:ルーレットなし)

5



() を押す。

ルーレットの当たり確率を変更します。

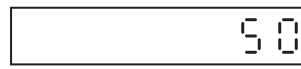


6



を押す。

ルーレットの当たり確率を確定します。

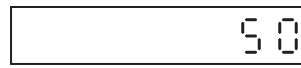


7



を押す。

販売可能ランプが消灯している選択ボタンを押すと、販売可能ランプが点灯し、対応するコラムがルーレット当たり対象コラムに設定されます。逆に販売可能ランプが点灯している選択ボタンを押すと、販売可能ランプが消灯し、設定を解除します。



: 点灯 (設定)



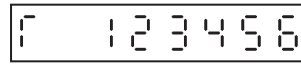
: 消灯 (設定解除)

8



を押す。

待機状態に戻ります。



※ : 点滅表示

補足

1. 設定範囲

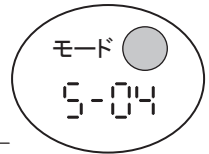
0 : 当たりなし

1 : 1/2 (テストモード)

10~990 : 1/10~1/990

999 : ルーレットなし

選択ボタンルーレットの設定・確認



ルーレット動作時のルーレット表示を、デジタル表示器の替わりに選択ボタンイルミネーションを行うように設定できます。

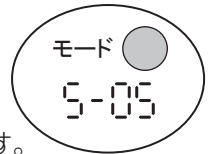
- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|---|--------|-------------------------|
| 1 を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 2 () を押す。
モード番号を5にします。押し続けると速く変わります。 | | |
| 3 を押す。
手順2で選択したモード番号5を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 4 () を押す。
項目番号を4にします。 | | |
| 5 を押す。
選択ボタンルーレットの設定項目になります。 | |
(例 0: 選択ボタンルーレットなし) |
| 6 () を押す。
データを変更します。 | |
(例 1: 横1段) |
| 7 を押す。
データを確定します。 | | |
| 8 を押す。
待機状態に戻ります。 | | |

※ : 点滅表示

補 足

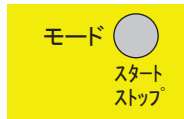
1. 設定範囲
- 0 : 選択ボタンルーレットなし (通常のルーレット動作)
 - 1 : 横1段
 - 2 : レベルメータ

トータル／コラム別ルーレット当たり個数の確認・クリア



トータルルーレット当たり個数、コラム別ルーレット当たり個数の確認・クリアをします。

1



を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

2



を押す。

モード番号を5にします。押し続けると速く変わります。

3



を押す。

手順2で選択したモード番号5を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。

4



を押す。

項目番号を5にします。

5



を押す。

トータル／コラム別ルーレット当たり個数の確認項目になり、トータルルーレット当たり個数を表示します。

デジタル表示

リモコン液晶表示

0-01

0-01

5-01

5-01

5-01

5-01

5-05

5-05

AC34

AC345678

交互に表示

5678

(例 345, 678個)

6



を押す。

選択ボタンを押すと、販売可能ランプが点灯し、該当するコラムのコラム番号と当たり個数を表示します。

CL 7

CL 7

コラム番号

C 12

C 123456

交互に表示

3456

(例 コラム7:123, 456個)

: 点灯

7



を押す。

該当するコラムのルーレット当たり個数を表示します。

CL 8

CL 8

コラム番号

C 23

C 234567

交互に表示

4567

(例 コラム8:234, 567個)

End

End

コラムが最後まで表示した場合「End」を表示します。

※ : 点滅表示

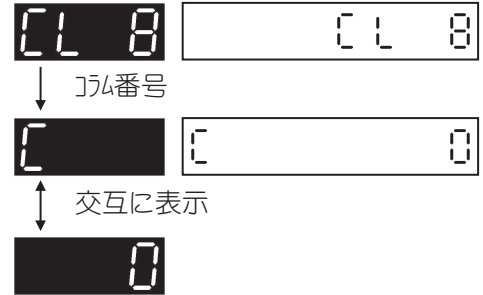
トータル／コラム別ルーレット当たり個数の確認・クリア

8



を2秒以上押し続ける。

データをクリアします。



9



を押す。

待機状態に戻ります。



補 足

1. 売上データをそのまま残すときは、手順7を飛ばしてください。
2. 最後のコラムまで表示すると「E n d」を表示し、もう一度【アップ(ダウン)】キーを押すと、最初(最後)のコラム番号に戻ります。
3. 表示範囲 0～999,999個 6桁
個数が6桁を超えた場合は、下6桁の個数を表示します。
4. クリア操作は、【点検／クリア】キーを2秒以上押すことでデータクリアが確定します。
5. クリア操作時の動作は以下となります。

モード3－14 売上データクリア操作切換えモードが「コラム別クリア不可」の時

- ・トータル／コラム別ルーレット当たり個数がペアクリアします。

モード3－14 売上データクリア操作切換えモードが「コラム別クリア可能」の時

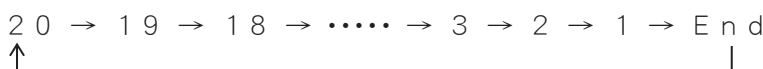
- ・トータルルーレット当たり個数のクリア操作ではトータルルーレット当たり個数のみクリアします。
- ・コラム別ルーレット当たり個数のクリア操作では対象のコラムのルーレット当たり個数のみがクリアします。
- ・「E n d」表示中のクリア操作では全コラムのコラム別ルーレット当たり個数をクリアします。

6. 手順7の状態で

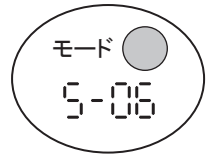
「アップ」キー操作時(例：コラム数が20のとき)



「ダウン」キー操作時(例：コラム数が20のとき)



ルーレット動作対象コラムの設定・確認



ルーレットの動作を実施するコラムの設定を行います。
ルーレット動作しないに設定されたコラムを販売しても、ルーレット動作を開始しません。

- 1** を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示: 0-01 リモコン液晶表示: 0-01
- 2** アップ (ダウン) を押す。

モード番号を5にします。押し続けると速く変わります。

デジタル表示: 5-01 リモコン液晶表示: 5-01
- 3** 書込み を押す。

手順2で選択したモード番号5を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示: 5-01 リモコン液晶表示: 5-01
- 4** アップ (ダウン) を押す。

項目番号を6にします。

デジタル表示: 5-06 リモコン液晶表示: 5-06
- 5** 書込み を押す。

ルーレット動作対象コラムの設定項目になり、対象コラムの販売可能ランプが点灯します。

デジタル表示: - リモコン液晶表示: -
- 6** 選択ボタン を押す。

販売可能ランプが消灯している選択ボタンを押すと、販売可能ランプが点灯し、そのコラムは対象コラムに設定されます。逆に販売可能ランプが点灯している選択ボタンを押すと、販売可能ランプが消灯し、設定を解除します。

デジタル表示: ! リモコン液晶表示: !

: 点灯 (設定)
 : 消灯 (設定解除)
- 7** 点検クリア を2秒以上押し続ける。

設定データはクリアされます。

デジタル表示: - リモコン液晶表示: -
- 8** 終了 を押す。

待機状態に戻ります。

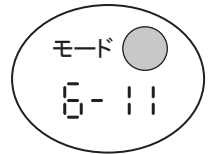
デジタル表示: 123456 リモコン液晶表示: 123456

※ : 点滅表示

補 足

1. 当たり時販売対象コラムと、ルーレット動作対象コラムは、それぞれ独立しています。

現金グループ別売上個数の確認・クリア



あらかじめコラムを指定したグループの現金グループ別売上個数の確認・クリアをします。

- 1** を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。
- 2** アップ ダウン を押す。

モード番号を6にします。押し続けると速く変わります。
- 3** 書込み を押す。

手順2で選択したモード番号6を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。
- 4** アップ ダウン を押す。

項目番号を1にします。
- 5** 書込み を押す。

現金グループ別売上個数の確認項目になり、現金グループ別売上個数を表示します。
グループ番号を表示後、上位2桁、下位4桁を交互に表示します。

デジタル表示

0-01

リモコン液晶表示

0-01

↓ グループ番号

12

↑ 交互に表示

3456

(例 グループ 1:123, 456個)
- 6** アップ ダウン を押す。

グループ番号が移ります。

デジタル表示

0d 2

リモコン液晶表示

0d 2

↓ グループ番号

23

↑ 交互に表示

4560

(例 グループ 2:234, 560個)
- 7** 点検 クリア を2秒以上押し続ける。

どのグループを表示していても全てのグループの現金グループ別売上個数をクリアします。

デジタル表示

0d 2

リモコン液晶表示

0d 2

↓ グループ番号

0

↑ 交互に表示

0

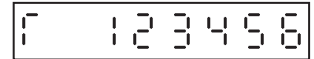
※：点滅表示

現金グループ別売上個数の確認・クリア

8



を押す。



待機状態に戻ります。

補 足

1. 表示範囲 0～999,999個
2. 売上データをそのまま残すときは、手順7を飛ばしてください。
3. 現金グループ別売上個数をクリアした場合、同時に現金グループ別売上金額もクリアします。
4. 手順6で最後または最初のグループまで表示すると「E n d」を表示し、もう一度【アップ(ダウン)】キーを押すと、最初または最後のグループ番号に戻ります。

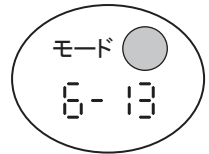
【アップ】キー操作時

1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 7 → 8 → 9 → 10 → E n d
 ↑

【ダウン】キー操作時

10 → 9 → 8 → 7 → 6 → 5 → 4 → 3 → 2 → 1 → E n d
 ↑

現金グループ別売上金額の確認・クリア



あらかじめコラムを指定したグループの現金グループ別売上金額の確認・クリアをします。

- 1** を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。
- 2** アップ ダウン を押す。

モード番号を6にします。押し続けると速く変わります。
- 3** 書込み を押す。

手順2で選択したモード番号6を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。
- 4** アップ ダウン を押す。

項目番号を13にします。
- 5** 書込み を押す。

現金グループ別売上金額の確認項目になり、現金グループ別売上金額を表示します。
グループ番号を表示後、上位2桁、下位4桁を交互に表示します。

デジタル表示: 0F 1
リモコン液晶表示: 0F 1

↓ グループ番号
12 123450

↑ 交互に表示
3450

(例 グループ 1:123,450円)
- 6** アップ ダウン を押す。

グループ番号が移ります。

デジタル表示: 0F 2
リモコン液晶表示: 0F 2

↓ グループ番号
23 234560

↑ 交互に表示
4560

(例 グループ 2:234,560円)
- 7** 点検クリア を2秒以上押し続ける。

どのグループを表示していても全てのグループの現金グループ別売上金額をクリアします。

デジタル表示: 0F 2
リモコン液晶表示: 0F 2

↓ グループ番号
0 0

※：点滅表示

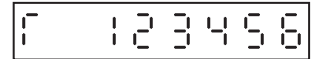
現金グループ別売上金額の確認・クリア

8



終了

を押す。



待機状態に戻ります。

補 足

1. 表示範囲 0～999,990円
2. 売上データをそのまま残すときは、手順7を飛ばしてください。
3. 現金グループ別売上金額をクリアした場合、同時に現金グループ別売上個数もクリアします。
4. 手順6で最後または最初のグループまで表示すると「E n d」を表示し、もう一度【アップ(ダウン)】キーを押すと、最初または最後のグループ番号に戻ります。

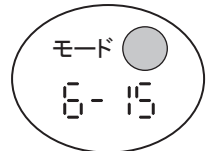
【アップ】キー操作時

1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 7 → 8 → 9 → 10 → E n d
 ↑

【ダウン】キー操作時

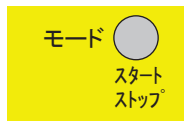
10 → 9 → 8 → 7 → 6 → 5 → 4 → 3 → 2 → 1 → E n d
 ↑

現金価格別売上個数の確認・クリア



あらかじめ設定した販売価格の現金価格別売上個数の確認・クリアをします。

1



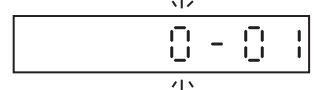
を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示



リモコン液晶表示

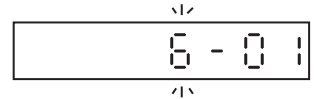


2



を押す。

モード番号を6にします。押し続けると速く変わります。

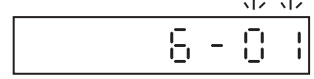


3



を押す。

手順2で選択したモード番号6を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。

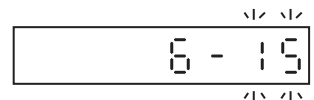


4



を押す。

項目番号を15にします。

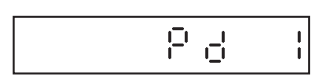


5

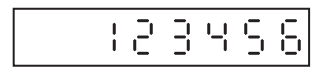


を押す。

現金価格別売上個数の確認項目になり、現金価格別売上個数を表示します。
価格番号を表示後、上位2桁、下位4桁を交互に表示します。



↓ プライス番号



↑ 交互に表示



(例 プライス1:123, 456個)

6

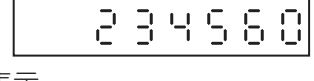


を押す。

価格番号が移ります。



↓ プライス番号

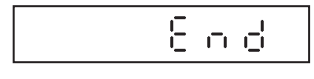


↑ 交互に表示



(例 プライス2:234, 560個)

価格帯が最後まで表示したことを示します。

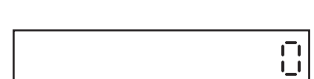
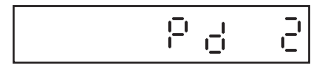


7



を2秒以上押し続ける。

どの価格を表示していても全ての価格の現金価格別売上個数をクリアします。



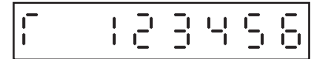
※：点滅表示

現金価格別売上個数の確認・クリア

8



を押す。

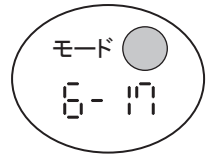


待機状態に戻ります。

補 足

1. 表示範囲 0～9 9 9, 9 9 9個
2. 売上データをそのまま残すときは、手順7を飛ばしてください。
3. 現金価格別売上個数がクリアされるとき、同時に現金価格別売上金額もクリアします。
4. 個数が6桁を超えた場合は、下6桁の個数を表示します。
5. 手順6で最後または最初のプライスまで表示すると「E n d」を表示し、もう一度【アップ(ダウン)】キーを押すと、最初または最後のプライス番号に戻ります。
6. プライス番号は高価格順となります。

現金価格別売上金額の確認・クリア



あらかじめ設定した販売価格の現金価格別売上金額の確認・クリアをします。

- 1**  を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。
 - 2**   を押す。

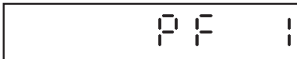
モード番号を6にします。押し続けると速く変わります。
 - 3**  を押す。

手順2で選択したモード番号6を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。
 - 4**   を押す。

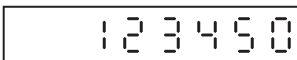
項目番号を17にします。
 - 5**  を押す。

現金価格別売上金額の確認項目になり、現金価格別売上金額を表示します。
価格番号を表示後、上位2桁、下位4桁を交互に表示します。

デジタル表示 リモコン液晶表示

↓ プライス番号

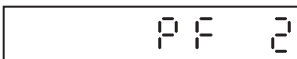
↑ 交互に表示

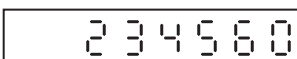
(例 プライス1:123,450円)
 - 6**   を押す。

価格番号が移ります。

デジタル表示 リモコン液晶表示

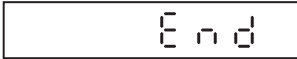
 

↓ プライス番号

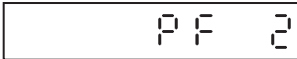
↑ 交互に表示

(例 プライス2:234,560円)
- 価格帯が最後まで表示したことを示します。
- デジタル表示 リモコン液晶表示
-  
- 7**  を2秒以上押し続ける。

どの価格を表示していても全ての価格の現金価格別売上金額をクリアします。

デジタル表示 リモコン液晶表示

↓ プライス番号

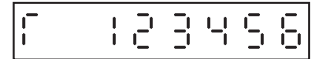
※：点滅表示

現金価格別売上金額の確認・クリア

8



を押す。



待機状態に戻ります。

補 足

1. 表示範囲 0～999,990円
2. 売上データをそのまま残すときは、手順7を飛ばしてください。
3. 現金価格別売上金額をクリアした場合、同時に現金価格別売上個数もクリアします。
4. 金額が6桁を超えた場合は、下6桁の金額を表示します。
5. 手順6で最後または最初のプライスまで表示すると「E n d」を表示し、もう一度 [アップ(ダウン)] キーを押すと、最初または最後のプライス番号に戻ります。
6. プライス番号は高価格順となります。

故障発生日時の確認



最新の故障発生日月日・時刻を表示します。

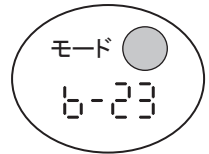
- | | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|----|---|--------|----------|
| 1 | モード スタートストップ を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 2 | アップ (ダウン) を押す。
モード番号を9にします。押し続けると速く変わります。 | | |
| 3 | 書込み を押す。
手順2で選択したモード番号9を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 4 | アップ (ダウン) を押す。
項目番号を8にします。 | | |
| 5 | 書込み を押す。
現在発生している故障コードを表示します。 | | |
| 6 | 書込み を押す。
その故障の発生年を表示します。 | | |
| 7 | 書込み を押す。
次にその故障の発生月日を表示します。 | | |
| 8 | 書込み を押す。
次にその故障の発生時刻を表示します。 | | |
| 9 | 点検 クリア を2秒以上押し続ける。
内部処理では、受付可音のみでクリア処理は行いません。
記憶データがない場合は「0」表示を行います。 | | |
| 10 | 終了 を押す。
待機状態に戻ります。 | | |
| | | | |

※：点滅表示

補 足

- 最新の故障データのため、新たに故障が発生した場合はデータを書き換えます。
- 故障がない場合には「0」を表示し、【書込み】キーを押してもデータは変更しません。

マルチラック棚交換テスト販売



マルチラックの棚ピッチの変更や交換を行う際に、ラックの棚を動作させます。

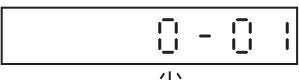
- 1**  を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示



リモコン液晶表示

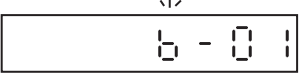

- 2**  アップ  ダウン を押す。

モードをbにします。

デジタル表示



リモコン液晶表示

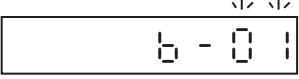

- 3**  書込み を押す。

手順2で選択したモードbを確認します。
項目番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示



リモコン液晶表示

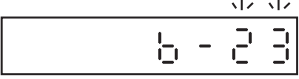

- 4**  アップ  ダウン を押す。

項目番号を23にします。

デジタル表示



リモコン液晶表示


- 5**  書込み を押す。

マルチラック棚交換テスト販売の項目になります。

デジタル表示



リモコン液晶表示

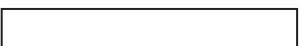

- 6**  選択ボタン を押す。

ブザー音(ピッ、ピッ、ピー)の後、該当コラムを約28秒間動作させます。

デジタル表示



リモコン液晶表示

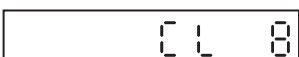

- 7**  アップ  ダウン を押す。

アップキー、ダウンキーでコラム番号を指定することが出来ます。但し、指定できるコラムは1つだけとなります。
デジタル表示N0.に対応するコラムのAPIが点灯します。
アップキーを押すとコラム番号が1増加
ダウンキーを押すとコラム番号が1減少します。
押し続けると早く変わります。

デジタル表示



リモコン液晶表示


- 8**  を押す。

モード・スタート/ストップキーを押すと、
ブザー音(ピッ、ピッ、ピー)の後、現在表示中の
コラムを約28秒間動作させます。

デジタル表示



リモコン液晶表示



マルチラック棚交換テスト販売

9



を押す。



モード・スタート/ストップキーでテスト販売を始めた場合、モード・スタート/ストップキーを押すと、ブザー音(ピッ)の後、テスト販売を停止します。

10



を押す。



モード・スタート/ストップキーを押すと、テスト販売を再開します。

11



を押す。

待機状態に戻ります。

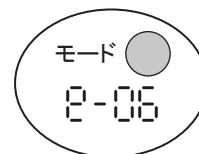
補 足

1. 一旦、アップキー、ダウンキーを押してコラム指定を行うと、押釦による販売はできなくなります。
2. テスト販売中に返却レバー操作することによって、テスト販売が停止され、操作手順No.2あるいは3に戻ります。

ここでは、環境モードについて操作の説明をします。

保温温度の設定・確認

保温運転を行う場合の保温する庫内温度を設定します。



1



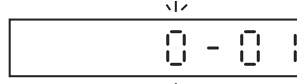
を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示



リモコン液晶表示

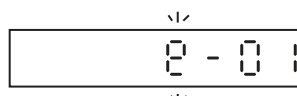


2



() を押す。

モード番号を e にします。押し続けると速く変わります。

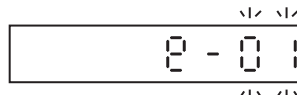


3



を押す。

手順2で選択したモード番号 e を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。

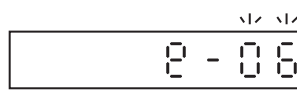


4



() を押す。

項目番号を 6 にします。

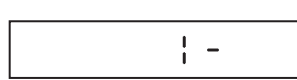


5



を押す。

保温温度の設定項目になり、庫内番号の選択となります。(例 1-:庫内1)

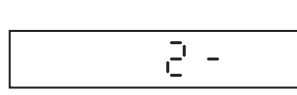


6



() を押す。

設定する庫内を選択します。



7



を押す。

選択された庫内の保温温度の設定となります。

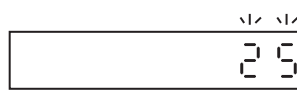


8



() を押す。

保温温度を変更します。

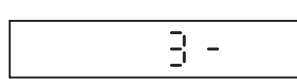


9



を押す。

選択された庫内の保温温度が確定し、庫内番号の選択に戻ります。(次の庫内番号を表示します)



※：点滅表示

保温温度の設定・確認

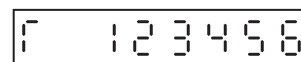
10



終了

を押す。

待機状態に戻ります。

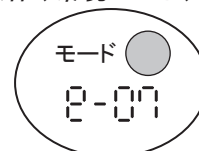


※：点滅表示

補 足

1. 設定範囲 10～30℃
庫内：1～4

保温制御の設定・確認



保温制御が動作可能な状態の場合に動作する／しないを設定します。

1



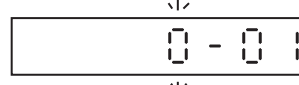
を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

デジタル表示



リモコン液晶表示

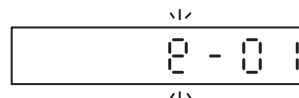


2



を押す。

モード番号をeにします。押し続けると速く変わります。

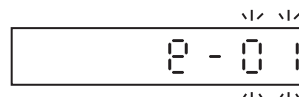


3



を押す。

手順2で選択したモード番号eを確認します。項目番号入力待ちの状態になります。

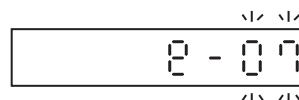


4



を押す。

項目番号を7にします。

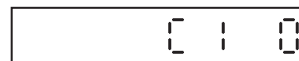


5



を押す。

保温制御の販売設定項目になり、前回設定したデータを表示します。



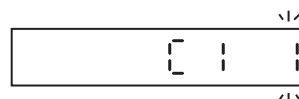
(例 C1 0: 庫内1 保温制御しない)

6



を押す。

データを変更します。



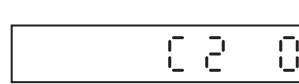
(例 C1 1: 庫内1 保温制御する)

7



を押す。

庫内1のデータを確定し、次の設定項目のデータを表示します。



(例 C2 0: 庫内2 保温制御しない)

8

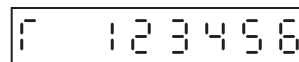
手順6, 7を繰り返して、各庫内の保温制御設定を設定してください。

9



を押す。

待機状態に戻ります。



※：点滅表示

補 足

- 設定範囲 0：保温制御しない
1：保温制御する
庫内：1～4
- 設定されているH/C状態にかかわらず、庫内4まで設定可能とします。(C専庫内は動作不可)
- 保温制御「する」と設定されている庫内は、冷却・加熱保温温度設定に設定されている温度帯で保温制御を行います。

17

故障コードとその内容

故障が発生すると、リモコンの点検ランプが点滅します。点検ランプが点滅したときは、〔点検／クリア〕キーを押してください。

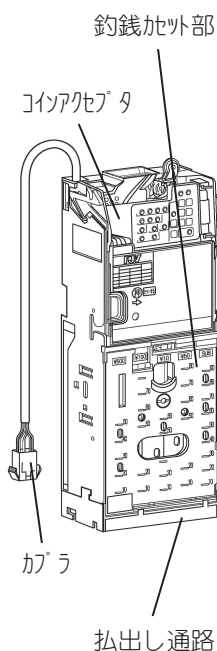
リモコンの液晶表示部と自動販売機メインドアにあるデジタル表示器に故障コードが表示されます。故障の内容を次の表で確認して対処してください。

⚠ 異常時の点検・修理をするときは、必ずELBボックスの電源スイッチをOFFにして対処してください。

● 機種によっては、表示されない故障コードがあります。

故障コード一覧表

故障コード	故障内容		対処方法
コインメカニズムに関する異常	10	コインメカニズム通信異常 メインコントロールボックスと コインメカニズムが正常に通信 を行わない。	・コインメカニズムのカプラが正しく接続されているか点検してください。 ・カプラが正しく接続されていて通信できないときは、コインメカニズムを交換してください。
	11	¥10コイン 信号放出し	・コインアクセプタ部のコイン詰まりを点検し、詰まっているコインを取り除いてください。 ・コイン詰まりがなく、信号が入力状態になったままのときは、コインアクセプタを交換してください。信号消滅後、自動復帰します。
	12	¥50コイン 信号放出し	
	13	¥100コイン 信号放出し	
	14	¥500コイン 信号放出し	
	15	返却スイッチ異常 コインの投入なしで30秒以上返 却スイッチが入力状態になって います。	コインメカニズムを点検し、尚異常があるときは交換してください。
	16	コイン払出し不良 モータが回らない、釣銭リフト ロックなどの原因でコイン払出 し機構でコイン詰まりが発生し ています。	・払出し通路にコインが詰まっていないか点検してください。 ・払出し通路のコイン詰まり確認後、リセットスイッチをOFF／ONして電源を再投入してください。
	17	セーフティスイッチ異常 釣銭カセット部が正しく装着さ れていません。	釣銭カセットを正しく装着しなおしてください。
	18	払出し確認スイッチ異常 コイン払出し確認スイッチの異 常です。	コインが詰まっていないか調べ、詰まっているコインを取り除いてください。
	19	アクセプタ異常 コインアクセプタに異常がある かまたはコインアクセプタが正 しく装着されていません。	コインアクセプタの装着状態を調べ、正しく装着してください。尚調子が悪いときはコインアクセプタを交換してください。



故障コード一覧表

故障コード		故障内容		対処方法
コインメカニズムに関する異常	20	¥10エンプティ スイッチ異常	コインメカニズム内にコインが20枚以上あるが、1回投入しても釣銭無しを表示しています。	コインメカニズムを交換してください。
	21	¥50エンプティ スイッチ異常		
	22	¥100エンプティ スイッチ異常		
	23	¥500エンプティ スイッチ異常		
	24	コインメカニズム金庫満杯信号出放し 金庫満杯信号がコイン詰まりで異常になっています。		コインの詰まりを取り除き、電源を再投入してください。
	25	¥10キャッシュオーバーフロー信号出放し ¥10オーバーフローセンサでコイン詰まりを検知しています。		
	26	¥50キャッシュオーバーフロー信号出放し ¥50オーバーフローセンサでコイン詰まりを検知しています。		
	27	¥100キャッシュオーバーフロー信号出放し ¥100オーバーフローセンサでコイン詰まりを検知しています。		
28	¥500キャッシュオーバーフロー信号出放し ¥500オーバーフローセンサでコイン詰まりを検知しています。			
商品搬出機構に関する異常	30	セレクションリレーONせず セレクションリレーに信号を受信してもセレクションがONにならず、商品が販売されません。		搬出スレーブボックスまたは搬出リレーボックスを点検して、調子が悪いときは交換してください。 交換後、電源を再投入してください。
	31	ベンドリレーONせず ベンドリレー（コモンリレー）に信号を送信してもベンドリレーがONにならず、商品が販売されません。		
	32	ベンドリレーOFFせず ベンドリレー（コモンリレー）が溶着し、ON状態になったままです。		
	34	選択ボタン故障 選択ボタンが押したままの状態になっています。		選択ボタンを点検し、交換してください。
	37	搬出モータ回らず（チェーンラック他） 搬出モータが始動しません。		搬出スレーブボックスまたは搬出リレーボックスを点検して、調子が悪いときは交換してください。
	38	搬出モータロック（チェーンラック他） 搬出モータがロックしています。		交換後、電源を再投入してください。
	42	低温食衛異常 庫内温度が10℃以上となってから1時間以上経過し、ヘルスコードが発生しています。		ヘルスコード発生庫内の商品を入替後、マスタースイッチのヘルスコードボタンを押下 または、扉開閉をしてください。
	50	時計データ異常 時計データが正しくありません。 （電源投入時、待機中）		現在時刻（年・月・日・時分）を再設定してください。

故障コード一覧表

故障コード	故障内容		対処方法
51	メモリデータ異常 停電時メモリデータのバックアップができません。		・設定データをチェックし、異常データがあれば再設定してください。 ・電池の電圧をチェックし、低いときは交換してください。
52	メカ指定モード未設定 搬出機構モードが全コラム未設定または正しく設定されていない。		搬出機構モードを正しく再設定してください。
54	選択ボタンクロス配線未設定 選択ボタンクロス配線の設定がされていない 選択ボタンがあります。		コラムセレクション配線を正しく再設定してください。
60	通信ラインショート メインコントロールボックス側送信ラインが 1秒以上「LOW」になります。		メインコントロールボックスを交換してください。 通信回復により自動復帰します。
61	扉スレーブボード通信異常 扉スレーブの通信が無応答または受信データ異常で正常に行われません。		VTS信号ライン（8Pカプラ）と扉スレーブの接続を点検し、尚異常がある場合は、扉スレーブボードを交換してください。
62	搬出スレーブボード通信異常 搬出スレーブの通信が無応答または受信データ異常で正常に行われません。		ISS信号ライン（8Pカプラ）と搬出スレーブの接続を点検し、尚異常がある場合は、搬出スレーブを交換してください。
63	ルーレットスレーブ異常 ルーレットスレーブの通信が無応答または受信データ異常で正常に行われません。		VTS信号ライン（8Pカプラ）とルーレットスレーブの接続を点検し、尚異常がある場合は、ルーレットスレーブを交換してください。
64	プリンタスレーブ異常 プリンタスレーブの通信が無応答または受信データ異常で正常に行われません。		VTS信号ライン（8Pカプラ）とプリンタスレーブの接続を点検し、尚異常がある場合は、プリンタスレーブを交換してください。
65	ACCSスレーブ通信異常 ACCSスレーブの通信が無応答または受信データ異常で正常に行われません。		VTS信号ライン（8Pカプラ）とACCSスレーブの接続を点検し、尚異常がある場合は、ACCSスレーブを交換してください。
67	リモコン部通信異常 リモコンの通信が無応答または受信データの異常で正常に行われません。		ISS信号ライン（5Pカプラ）XA赤とリモコンの接続を点検し、尚異常がある場合はリモコンを交換してください。
68	音声スレーブ通信異常 音声スレーブの通信が無応答または受信データ異常で正常に行われません。		VTS信号ライン（8Pカプラ）と音声スレーブの接続を点検し、尚異常がある場合は、音声スレーブを交換してください。
2433	待機位置異常 （シングル販売時及び ペアコラム販売時の 奇数No.コラム側）	ベンドメックが正常待機位置になっておらず 正逆モータ通電開始後、 100ms以内にリセット スイッチON及び停止 スイッチOFFになります。	・販売復帰スイッチにて正常待機位置に復帰します。 ・ベンドメックを点検交換してください。
2434 ※1	待機位置異常 （ペアコラム販売時偶 数No.コラム側）		
2435	販売モータ回らず （シングル販売時及び ペアコラム販売時の 奇数No.コラム側）	正逆モータ通電開始後、 リセットスイッチが ONの状態から3秒以 内にOFFしません。	・販売復帰スイッチにて正常待機位置に復帰します。 ・ベンドメックを点検交換してください。 ・本体スレーブを点検交換してください。
2436 ※1	販売モータ回らず （ペアコラム販売時偶 数No.コラム側）		

※1 ツインラック専用の故障コードです。

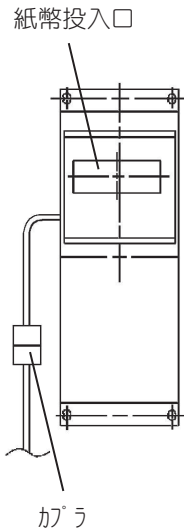
故障コード一覧表

故障コード		故障内容	対処方法
商品搬出機構に関する異常	2437	販売モータロック (シングル販売時及び ペアコラム販売時の 奇数No.コラム側)	正逆モータ通電開始してリセットスイッチがOFF後、3秒以内に停止スイッチがONしません。 ・販売復帰スイッチにて正常待機位置に復帰します。 ・ベンドメックを点検交換してください。
	2438 ※1	販売モータロック (ペアコラム販売時偶 数No.コラム側)	
	2439	販売モータロック (シングル販売時及び ペアコラム販売時の 奇数No.コラム側)	正逆モータが90°停止位置に停止して1秒後逆転動作開始後、3秒以内に停止スイッチがOFFしません。 ・商品詰まりが発生していないか確認してください。 ・販売復帰スイッチにて正常待機位置に復帰します。 ・ベンドメックを点検交換してください。
	2440 ※1	販売モータロック (ペアコラム販売時偶 数No.コラム側)	
	2441	販売モータロック (シングル販売時及び ペアコラム販売時の 奇数No.コラム側)	正逆モータが90°停止位置から逆転動作開始して停止スイッチがOFF後、3秒以内にリセットスイッチがONしません。 ・商品詰まりが発生していないか確認してください。 ・販売復帰スイッチにて正常待機位置に復帰します。 ・ベンドメックを点検交換してください。
	2442 ※1	販売モータロック (ペアコラム販売時偶 数No.コラム側)	
	2443	停止位置異常 (シングル販売時及び ペアコラム販売時の 奇数No.コラム側)	正逆モータが90°停止位置に停止後、リセットスイッチがOFF及び停止スイッチがONしません。 ・販売復帰スイッチにて正常待機位置に復帰します。 ・ベンドメックを点検交換してください。
	2444 ※1	停止位置異常 (ペアコラム販売時偶 数No.コラム側)	

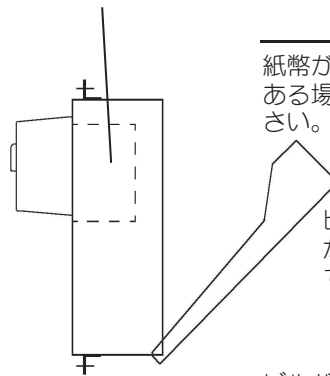
※1 ツインラック専用の故障コードです。

故障コード一覧表

故障コード	故障内容	対処方法
ビルバリデータに関する異常	71 ビルバリデータ部通信異常 ビルバリの通信が無応答または受信データの異常で正常に行われません。	VT S信号ライン（8 Pカブラ）とビルバリデータのカブラが正しく接続されているか点検し、尚異常がある場合はビルバリデータを交換してください。
	73 カード部通信異常 (NICE以外) カードスレーブの通信が無応答または受信データの異常で正常に行われません。	VT S信号ライン（8 Pカブラ）とカードスレーブが正しく接続されているか点検し、尚異常がある場合はカードスレーブを交換してください。
	77 冷却加温スレーブ通信異常 冷却加温スレーブの通信が無応答または受信データの異常で正常に行われません。	TS S信号ライン（8 Pカブラ）紫と冷却加温スレーブが正しく接続されているか点検し、尚異常がある場合は冷却加温スレーブを交換してください。
	78 ポイントカードリーダ通信異常 ポイントカードリーダの通信が無応答または受信データ異常で正常に行われません。	VT S信号ライン（8 Pカブラ）とポイントカードリーダが正しく接続されているか点検し、尚異常がある場合はポイントカードリーダを交換してください。
	80 紙幣詰まり 紙幣詰まりが発生しています。	紙幣投入口で紙幣が詰まっているか点検してください。
	81 紙幣払い出し異常 紙幣払出機構で紙幣が詰まっているか、異常があります。	紙幣が詰まっているか点検し、電源を再投入してください。
	82 紙幣金庫満杯 紙幣収納金庫が満杯になっています。	紙幣収納金庫の紙幣を回収してください。
	83 スタッカ異常 紙幣詰まり等でスタッカ部の収金動作ができません。	スタッカ部に紙幣が詰まっているか点検し、電源を再投入してください。
	84 識別部異常（ビルバリデータ） 紙幣が詰まっているかまたは紙幣識別部が故障しています。	紙幣が詰まっているか点検し、尚異常がある場合はビルバリデータを交換してください。
	85 セーフティスイッチ異常（ビルバリデータ） ビルバリデータ内部に故障があります。	ビルバリデータ内部を点検し、尚異常がある場合はビルバリデータを交換してください。
	86 紙幣金庫開きっ放し（ビルバリデータ） ビルバリデータの紙幣収納金庫のフタが開きっ放しになっています。	ビルバリデータの紙幣収納金庫のフタを閉じてください。
	87 紙幣引き抜き異常 紙幣引き抜きが発生したことをビルバリデータが検知しています。	電源を再投入してください。



識別部



故障コード一覧表

故障コード	故障内容	対処方法
カードに関する異常	100 カード部異常 カードスレーブ内に異常が発生しています。	カードスレーブを点検し、尚異常がある場合はカードスレーブを交換してください。
	101 カード詰まり カードリーダ内部でカードが詰まっています。	カードが詰まっていないか点検してください。
	102 カードリーダ異常 カードリーダ部のヘッドが汚れているかまたはカードリーダ部に異常が発生しています。	クリーニングカードを使ってヘッドクリーニングを行ってください。尚異常がある場合はカードリーダを交換してください。
	104 カード返却スイッチ異常 カード返却スイッチが押したままの状態になっています。	カード返却スイッチを点検し、尚異常がある場合は交換してください。
	106 カード引き抜き異常 カード引き抜きが発生したことをカードリーダが検知しています。	電源を再投入してください。
	1000 カード部代表異常 カードリーダライタの異常です。	カードリーダライタを点検し、尚異常がある場合はカードリーダライタを交換してください。
	1020 ポイントカード詰まり ポイントカードがカードリーダの搬送ユニットで詰まっています。	カードリーダの搬送ユニットで詰まっているポイントカードを取り除いてください。
	1021 ポイントカード書込み不良 ポイントカードの汚れや折れ等でカードにポイント数が書き込めません。	カードを交換してください。
	1022 ポイントカードパンチ機構不良 ポイント数を示すパンチ機構に異常があります。	・ポイントカードのパンチ機構部の汚れを清掃してください。 ・ポイントカードリーダライタを交換してください。
	1023 ポイントカード加算不良 ポイントカードにポイント数が加算されません。	カードリーダの清掃を行ってください。
	1025 ポイントカード発行ユニットカード詰まり ポイントカードが発行ユニットで詰まっています。	発行ユニットに詰まっているポイントカードを取り除いてください。
制御ユニットに関する異常	130 プリンタ異常 プリンタ機構に異常が発生しています。	プリンタスレーブを点検し、尚異常がある場合はプリンタスレーブを交換してください。
	131 プリンタ紙詰まり プリンタ用紙が詰まっています。	詰まっているプリンタ用紙を取り除いてください。
	132 プリンタ紙切れ プリンタ用紙がありません。	プリンタ用紙を補給してください。
	150 I C選択ボタン未設定 I S S選択ボタンが設定されていません。	I S S選択ボタンの設定を行ってください。
	151 I C選択ボタン異常 I S S選択ボタンに異常が発生しています。	I S S選択ボタンを点検し、尚異常がある場合は交換してください。交換後再設定をしてください。
	290 エレベータモータロック エレベータモータがロックしています。	・モータロックの原因を取り除いた後、電源を再投入して扉を閉じてください。 ・搬出スレーブボックスを点検し、異常がある場合は搬出スレーブボックスを交換してください。 その後、電源を再投入し、扉を閉じてください。
	291 ベンドリレーOFFせず（コンベア） ベンドリレー（コモンリレー）が溶着し、ON状態になったままです。	搬出スレーブボックスを点検し、異常がある場合は搬出スレーブボックスを交換してください。その後、電源を再投入し、扉を閉じてください。

故障コード一覧表

故障コード	故障内容	対処方法
292	ベンドリレーONせず（コンベア） ベンドリレー（コモンリレー）に信号を送信してもベンドリレーがONにならず商品が販売されません。	搬出スレーブボックスを点検し、異常がある場合は搬出スレーブボックスを交換してください。その後、電源を再投入し、扉を閉じてください。
293	エレベータ停止スイッチ不良 エレベータ停止スイッチが複数個同時にONするか、または順番にONせず該当コラムが売切れとなっています。	- 停止スイッチ及び停止スイッチ配線を点検し、異常がある場合は交換してください。その後電源を再投入してください。 - 搬出スレーブボックスを点検し、尚異常がある場合は搬出スレーブボックスを交換してください。その後、電源を再投入し、扉を閉じてください。
294	落下検知スイッチONしたまま エレベータが動作していないのに落下検知スイッチがONしたまま、コンベア全コラム売切れとなっています。	- 落下検知スイッチ及び落下検知スイッチ配線を点検し、異常がある場合は交換してください。その後、電源を再投入してください。 - 搬出スレーブボックスを点検し、尚異常がある場合は搬出スレーブボックスを交換してください。その後、電源を再投入し、扉を閉じてください。
295	エレベータ動作リレーONせず ベンドリレー（コモンリレー）がONしても、エレベータ動作リレーがONせずコンベア全コラムが売切れとなります。	搬出スレーブボックスを点検し、尚異常がある場合は搬出スレーブボックスを交換してください。その後、電源を再投入し、扉を閉じてください。
296	コンベア異常 コンベア動作時に、コンベアモータがロックしたか、または落下検知スイッチ、売切スイッチが正常に動作せず、全コラム売切れとなっています。	- モータロックの原因を取り除いた後、電源を再投入し、扉を閉じてください。 - 落下スイッチ及び落下検知スイッチ配線を点検し、異常がある場合は交換してください。その後、電源を再投入し、扉を閉じてください。 - 売切スイッチ及び売切スイッチ配線を点検し、異常がある場合は交換してください。その後、電源を再投入し、扉を閉じてください。 - 搬出スレーブボックスを点検し、異常がある場合は電源を再投入して扉を閉じてください。
297	ブレーキ故障 エレベータが所定の位置で止まらない、または停止スイッチの故障でコンベア全コラム売切れになります。	- エレベータモータを点検し、異常がある場合は交換してください。その後、電源を再投入し扉を閉じてください。 - 停止スイッチを点検し、異常がある場合は交換してください。その後、電源を再投入し扉を閉じてください。
298	搬送用コンベア停止スイッチ異常 商品がエレベータに載った後、エレベータが搬送用コンベアの位置で止まらず、全コラム売切れとなっています。	- 搬送用コンベア停止スイッチ、搬送用コンベア停止スイッチ配線を点検し、異常がある場合は交換してください。その後、電源を再投入し扉を閉じてください。 - 搬出スレーブボックスを点検し、異常がある場合は電源を再投入して扉を閉じてください。
299	下限スイッチ異常 下限スイッチと最上段の停止スイッチが同時にONしたか、またはエレベータ上昇時に下限スイッチといずれかの停止スイッチが同時にONになり、コンベア全コラム売切れとなっています。	- 下限スイッチ及び下限スイッチ配線を点検し、異常がある場合は交換してください。その後、電源を再投入し、扉を閉じてください。 - 搬出スレーブボックスを点検し、異常がある場合は電源を再投入して扉を閉じてください。

制御ユニットに関する異常

故障コード一覧表

故障コード	故障内容	対処方法
2330	構造データ異常 構造データと接続ユニットが異なります。 ・接続ユニットとの通信が正常に行われません。 ・構造データと接続ユニットの組	・本体スレーブと接続ユニットの接続を確認してください。 ・接続ユニットを点検交換してください。
2331	ラック# 1 通信異常 左から 1 番目のラックの接続ユニットの通信異常です。	・本体スレーブと左から 1 番目のラック接続ユニットの接続を確認してください。 ・左から 1 番目のラック接続ユニットを点検交換してください。
2332	ラック# 2 通信異常 左から 2 番目のラックの接続ユニットの通信異常です。	・本体スレーブと左から 2 番目のラック接続ユニットの接続を確認してください。 ・左から 2 番目のラック接続ユニットを点検交換してください。
2333	ラック# 3 通信異常 左から 3 番目のラックの接続ユニットの通信異常です。	・本体スレーブと左から 3 番目のラック接続ユニットの接続を確認してください。 ・左から 3 番目のラック接続ユニットを点検交換してください。
2334	ラック# 4 通信異常 左から 4 番目のラックの接続ユニットの通信異常です。	・本体スレーブと左から 4 番目のラック接続ユニットの接続を確認してください。 ・左から 4 番目のラック接続ユニットを点検交換してください。
2335	ラック# 5 通信異常 左から 5 番目のラックの接続ユニットの通信異常です。	・本体スレーブと左から 5 番目のラック接続ユニットの接続を確認してください。 ・左から 5 番目のラック接続ユニットを点検交換してください。
2336	ラック# 6 通信異常 左から 6 番目のラックの接続ユニットの通信異常です。	・本体スレーブと左から 6 番目のラック接続ユニットの接続を確認してください。 ・左から 6 番目のラック接続ユニットを点検交換してください。
2337	ラック# 7 通信異常 左から 7 番目のラックの接続ユニットの通信異常です。	・本体スレーブと左から 7 番目のラック接続ユニットの接続を確認してください。 ・左から 7 番目のラック接続ユニットを点検交換してください。
2338	ラック# 8 通信異常 左から 8 番目のラックの接続ユニットの通信異常です。	・本体スレーブと左から 8 番目のラック接続ユニットの接続を確認してください。 ・左から 8 番目のラック接続ユニットを点検交換してください。
2339	ラック# 9 通信異常 左から 9 番目のラックの接続ユニットの通信異常です。	・本体スレーブと左から 9 番目のラック接続ユニットの接続を確認してください。 ・左から 9 番目のラック接続ユニットを点検交換してください。
2340	ラックユニット接続異常 ラックユニットのアドレスが重複・歯抜けになっています。	・ラックへの接続ケーブルの接続と配線を確認してください。 ・ラックユニットの接続ケーブルを確認してください。 ・接続ユニットを点検交換してください。
2342	室外ファンモータロック 室外ファンモータがロックしています。	凝縮器用ファンモータロックの原因を取り除いてください。
2362	構造モード異常 正しい構造モードが設定されていません。	正しい構造モードを設定してください。
2448	搬出モータ異常 モータ A メックの自走スイッチが ON しています。	連続テスト販売（チェック販売）を行ってください。
2827	コンベアユニット接続異常	・コンベアへの接続ケーブルの接続と配線を確認してください。 ・コンベアユニットの接続ケーブルを確認してください。 ・接続ユニットを点検交換してください。

制御ユニットに関する異常

故障コード一覧表

	故障コード	故 障 内 容		対 処 方 法
リフトに関する異常	230	商品出ず（商品リフト） 商品すり抜けが発生し、リトライ動作を3回行っても商品が取出口に搬出されない現象が2回続けて起きました。		・詰まっている商品を取り除いた後、電源を再投入し扉を閉じてください。 ・商品リフトを点検し、尚異常がある場合は商品リフトを交換してください。
	231	商品出ず全停止（商品リフト） 商品出ず故障（230）が3回連続して発生しました。		・詰まった商品を取り除いた後、電源を再投入し扉を閉じてください。 ・商品リフトを点検し、尚異常がある場合は商品リフトを交換してください。
	232	商品リフトロック 商品リフトモータが動作しない、または途中でロックして途中で停止します。		モータロックの原因を取り除いた後、電源を再投入して扉を閉じてください。
	2449	上昇開始スイッチONせず 上昇開始スイッチONしません。		上昇開始スイッチ部を点検してください。
	2450	内扉フラップースイッチ異常 内扉フラップースイッチがONしません。		内扉フラップースイッチ部を点検してください。
	2451	取出口位置スイッチONせず 取出口位置スイッチがONしません。		取出口位置スイッチ部を点検してください。
	2452	搬出検出スイッチONせず 搬出検出スイッチがONしません。		搬出検出スイッチ部を点検してください。
冷却・加熱機構に関する異常	250	冷却／加温設定異常 庫内の冷却／加温組合せモードで禁止のパターンが設定されています。		冷却／加温組合せパターンの確認をして冷却／加温切替えスイッチを正しい組合せに再設定してください。
	251	温度サーミスタ1異常 （左庫内）	庫内温度サーミスタがショート／オープンしているか、または庫内温度が異常（80℃以上または－20℃以下）になっています。	左庫内の温度を確認し、異常がある場合は、その庫内の温度サーミスタを交換してください。
	252	温度サーミスタ2異常 （左から2番目の庫内）		左から2番目の庫内の温度を確認し、異常がある場合は、その庫内の温度サーミスタを交換してください。
	253	温度サーミスタ3異常 （左から3番目の庫内）		左から3番目の庫内の温度を確認し、異常がある場合は、その庫内の温度サーミスタを交換してください。
	254	温度サーミスタ4異常 （左から4番目の庫内）		左から4番目の庫内の温度を確認し、異常がある場合は、その庫内の温度サーミスタを交換してください。
	255	温度サーミスタ5異常 （左蒸発器）	蒸発器の温度サーミスタがショートしている、または蒸発器部の温度が異常（80℃以上）になっています。	左蒸発器部の温度を確認し、異常がある場合は、その庫内の温度サーミスタを交換してください。
	256	温度サーミスタ6異常 （左から2番目の蒸発器）		左から2番目の蒸発器部の温度を確認し、異常がある場合は、その蒸発器部の温度サーミスタを交換してください。
	257	温度サーミスタ7異常 （左から3番目の蒸発器）		左から3番目の蒸発器部の温度を確認し、異常がある場合は、その蒸発器部の温度サーミスタを交換してください。
	258	温度サーミスタ8異常 （左から4番目の蒸発器）		左から4番目の蒸発器部の温度を確認し、異常がある場合は、その蒸発器部の温度サーミスタを交換してください。
808	温度サーミスタ17異常（外気温） 外気温サーミスタがショート／オープンしています。		外気温サーミスタを交換してください。	

故障コード一覧表

	故障コード	故障内容	対処方法
冷却・加熱機構に関する異常	3528	冷却庫内高温異常	・庫内ファンモータを確認してください。 ・凝縮器用ファンモータを確認してください。 ・電磁弁を確認してください。 ・庫内の各温度サーミスタの取り付けを点検してください。 ・冷却ユニットを交換してください。
	3576	吸入温度センサー異常	・吸入温度サーミスタの接続を確認してください。 ・吸入温度サーミスタを交換してください。
冷媒ユニット・制御に関する異常	807	温度サーミスタ16 (ガス温度センサ) 異常 (CO ₂ ヒートポンプ機のみ)	・ガス温度サーミスタの接続を確認してください。 ・ガス温度サーミスタを交換してください。
	1260	補助ガスクーラ出口温度異常 (CO ₂ ヒートポンプ機のみ)	・補助ガスクーラ出口温度サーミスタの取り付けを確認してください。 ・補助ガスクーラ出口温度サーミスタを交換してください。
	1265	補助ガスクーラ出口温度センサ異常 (CO ₂ ヒートポンプ機のみ)	・補助ガスクーラ出口温度サーミスタの接続を確認してください。 ・補助ガスクーラ出口温度サーミスタを交換してください。
	1266	庫内1エバ温度異常 (CO ₂ ヒートポンプ機, R1234yfヒートポンプ機のみ)	・左から1番目の蒸発器部の温度サーミスタを確認し、異常がある場合は交換してください。 ・左から1番目の庫内の温度サーミスタを確認し、異常がある場合は交換してください。
	1267	庫内2エバ温度異常 (CO ₂ ヒートポンプ機, R1234yfヒートポンプ機のみ)	・左から2番目の蒸発器部の温度サーミスタを確認し、異常がある場合は交換してください。 ・左から2番目の庫内の温度サーミスタを確認し、異常がある場合は交換してください。
	1268	庫内3エバ温度異常 (CO ₂ ヒートポンプ機のみ)	・左から3番目の蒸発器部の温度サーミスタを確認し、異常がある場合は交換してください。 ・左から3番目の庫内の温度サーミスタを確認し、異常がある場合は交換してください。
	1269	庫内4エバ温度異常	・左から4番目の蒸発器部の温度サーミスタを確認し、異常がある場合は交換してください。 ・左から4番目の庫内の温度サーミスタを確認し、異常がある場合は交換してください。
	2701	インバータ回路異常	・サブコントローラ～インバータ間の通信線を点検してください。 ・コネクタの接続を確認してください。 ・電磁弁の動作を確認してください。 ・インバータの点検をしてください。 ・インバータの交換をしてください。 ・ユニットを交換してください。
	2705	インバータ始動エラー	・電磁弁の動作を確認してください。 ・インバータの点検をしてください。 ・インバータの交換をしてください。 ・冷却ユニットの点検をしてください。 ・冷却ユニットの交換をしてください。

故障コード一覧表

	故障コード	故障内容	対処方法
冷媒ユニット・制御に関する異常	27107	ヒートポンプ基板通信異常2 通信が正常に行われていません。 (ヒートポンプコントローラ別ボックス対応のみ)	・電装ボックスを交換してください。 ・ヒートポンプコントローラを交換してください。
	27111	インバータスレーブ通信異常	・サブコントローラ～インバータ間の通信線を点検してください。 ・コネクタの接続を確認してください。 ・インバータの点検をしてください。 ・インバータの交換をしてください。
	27116	吐出温度異常 圧縮機の吐出温度が高温になりました。 (CO ₂ ヒートポンプ機, CO ₂ 標準機のみ)	・庫内ファンモータを確認してください。 ・凝縮器用ファンモータを確認してください。 ・電磁弁を確認してください。 ・庫内の各温度サーミスタの取り付けを点検してください。 ・冷却ユニットを交換してください。
	27119	ガス温度異常 ガスクーラが高温になりました。 (CO ₂ ヒートポンプ機のみ)	・ガスクーラの目詰まりがないか確認してください。 ・冷却ユニットを交換してください。
	27200	吐出温度センサ異常 吐出温度センサの故障です。 (CO ₂ ヒートポンプ機, CO ₂ 標準機のみ)	・吐出温度サーミスタの接続を確認してください。 ・吐出温度サーミスタを交換してください。
	27227	圧縮機吐出異常 圧縮機の吐出温度が上昇しません。 (CO ₂ ヒートポンプ機, CO ₂ 標準機のみ)	・吐出温度サーミスタの取り付けを点検してください。 ・吐出温度サーミスタを交換してください。 ・冷却ユニットを交換してください。
価格自動切替えに関する異常	27771	価格自動切替ボックス（上段 左）通信異常 価格自動切替えの通信が無応答または受信データの異常で正常に行われません。	・I S S 信号ライン（2 P カプラ）P H 白と電源ライン（3 P カプラ）P H 白を確認してください。 - 確認して異常がない場合は、価格自動切替ボックスを交換してください。
	27772	価格自動切替ボックス（上段 右）通信異常 価格自動切替えの通信が無応答または受信データの異常で正常に行われません。	・I S S 信号ライン（2 P カプラ）P H 白と電源ライン（3 P カプラ）P H 白を確認してください。 - また、搭載設定カプラ（3 P カプラ）赤を確認してください。 - 確認して異常がない場合は、価格自動切替ボックスを交換してください。
	27774	価格自動切替ボックス（中段 左）通信異常 価格自動切替えの通信が無応答または受信データの異常で正常に行われません。	・I S S 信号ライン（2 P カプラ）P H 白と電源ライン（3 P カプラ）P H 白を確認してください。 - また、搭載設定カプラ（3 P カプラ）白を確認してください。 - 確認して異常がない場合は、価格自動切替ボックスを交換してください。
	27775	価格自動切替ボックス（中段 右）通信異常 価格自動切替えの通信が無応答または受信データの異常で正常に行われません。	・I S S 信号ライン（2 P カプラ）P H 白と電源ライン（3 P カプラ）P H 白を確認してください。 - また、搭載設定カプラ（3 P カプラ）白と赤を確認してください。 - 確認して異常がない場合は、価格自動切替ボックスを交換してください。

故障コード一覧表

	故障コード	故障内容	対処方法
価格自動切替えに関する異常	2777	価格自動切替ボックス（下段 左）通信異常 価格自動切替えの通信が無応答または受信データの異常で正常に行われません。	ＩＳＳ信号ライン（２Ｐカプラ）ＰＨ白と電源ライン（３Ｐカプラ）ＰＨ白を確認してください。 また、搭載設定カプラ（３Ｐカプラ）白を確認してください。 確認して異常がない場合は、価格自動切替ボックスを交換してください。
	2778	価格自動切替ボックス（下段 右）通信異常 価格自動切替えの通信が無応答または受信データの異常で正常に行われません。	ＩＳＳ信号ライン（２Ｐカプラ）ＰＨ白と電源ライン（３Ｐカプラ）ＰＨ白を確認してください。 また、搭載設定カプラ（３Ｐカプラ）白と赤を確認してください。 確認して異常がない場合は、価格自動切替ボックスを交換してください。
人感センサ関連	152	人感センサ通信異常	デジタル表示器に接続されているＩＳＳ信号ライン（５Ｐカプラ）、ＡＣＳ信号ライン（８Ｐカプラ）の接続を確認してください。
	2869	デジタル表示器人感センサ異常	人感センサ動作確認項目で、人感センサの動作を確認してください。尚異常がある場合は、人感センサの設定の確認、デジタル表示器の清掃、センサの信号をさえるものを取り除いてください。
	2881	人感センサ検知無し異常	人感センサ動作確認項目で、人感センサの動作を確認してください。尚異常がある場合は、人感センサの設定、デジタル表示器に接続されているＡＣＳ信号ライン（８Ｐカプラ）の接続を確認してください。
バッテリー関連	2876	バッテリー駆動信号不良	電装ボックスからバッテリーへ接続されている配線を確認してください。
	2879	バッテリー８０Ｖ出力中信号不良	電装ボックスからバッテリーへ接続されている配線を確認してください。

温度サーミスタ（庫内温度サーミスタ、外気温度サーミスタ、蒸発器サーミスタ）			
温度	抵抗値	温度	抵抗値
０℃	１７．０ｋΩ	４０℃	２．６ｋΩ
１０℃	１０．１ｋΩ	５０℃	１．８ｋΩ
２０℃	６．２ｋΩ	６０℃	１．２ｋΩ
３０℃	４．０ｋΩ		